

区政モニターアンケート

平成14年度

(第1回) 21世紀の商店街のあり方について

(第2回) 足立の観光

(第3回) 地域の国際化に向けて

(第4回) 住民基本台帳事務及び戸籍事務

の改善に向けて

(第5回) これからの生涯スポーツ振興に向けて

足立区

目 次

第1回アンケート「21世紀の商店街のあり方について」

1	調査の概要	7
2	要 旨	9
3	調査項目	10
	(問 1) 日用品の買い物に行く時間	10
	(問 2) 区内商店街の利用度	10
	(問 3) 区内商店街の満足度	10
	(問 4) 区内商店街の満足している点	11
	(問 5) 区内商店街の不満な点	12
	(問 6) 利用してみたい商店街	13
	(問 7) 「よろず相談所」の周知度	13
	(問 8) 商店街にあればよい施設	14
	(問 9) マイバック運動（買い物袋持参推進運動）の周知度	14
	(問 10) 宅配制度の利用意向	15
	(問 11-1) 適当だと思ふ宅配料金	15
	(問 11-2) 必要な配達サービス	15
	(問 12) これからの商店街のあり方（自由回答）	16
4	調査表	20
5	集計表	25
6	アンケート集計結果の活用・説明	28

第2回アンケート「足立の観光」

1	調査の概要	35
2	要 旨	37

3	調査項目	38
	(問 1)観光の目的	38
	(問 2)観光情報の入手先	38
	(問 3)観光地の工夫や取り組み	39
	(問 4)足立区の魅力	41
	(問 5)足立区内で案内したいところ	41
	(問 6)観光地としてPRしたい区内の場所、もの、催し	42
	(問 7)観光資源の活用、創造	43
	(問 8)足立区観光協会事業の周知度	44
	(問 9)知りたい近場の観光情報	44
	(問 10)足立の観光について (自由意見)	45
4	調査表	48
5	集計表	53
6	アンケート集計結果の活用・説明	56

第3回アンケート「地域の国際化に向けて」

1	調査の概要	63
2	要 旨	65
3	調査項目	66
	(問 1)地域の国際化が進んでいると感じること	66
	(問 2)地域の国際化の進展について	66
	(問 3)地域の国際化が好ましいと考える理由	67
	(問 4)地域の国際化が好ましくないと考える理由	68
	(問 5)国際化に対応するために個人で身に付けること	68
	(問 6)国際化に対応して地域に必要なこと	69
	(問 7)日常生活の中で外国人から尋ねられたこと	69
	(問 8)足立区の外国籍区民や国際ボランティアなどに関する周知度	70
	(問 9)やってみたい国際ボランティア活動	70
	(問 10)外国籍区民の声を区政に反映させるために必要なこと	71
	(問 11)地域の国際化について (自由意見)	71
4	調査表	76
5	集計表	81

6 アンケート集計結果の活用・説明	84
-------------------	----

第4回アンケート「住民基本台帳事務及び戸籍事務の改善に向けて」

1 調査の概要	91
2 要 旨	93
3 調査項目	94
(問 1)住基ネット制度の周知度	94
(問 2)住基ネットの内容の周知度	94
(問 3)住基ネットの利便性の周知度	95
(問 4)住基カードの申し込み意向	95
(問 5)住基ネットについての意見(記述)	96
(問 6)本人確認が義務付けでないことの周知度	98
(問 7)本人確認のあり方	98
(問 8)住民票閲覧制度の周知度	100
(問 9)住民票閲覧制度のあり方	100
(問 10)戸籍、住民記録、印鑑登録等の事務について(自由回答)	102
4 調査表	105
5 集計表	110
6 アンケート集計結果の活用・説明	112

第5回アンケート「これからの生涯スポーツ振興に向けて」

1 調査の概要	121
2 要 旨	123
3 調査項目	124
(問 1)行った運動・スポーツの頻度	124
(問 2)行った運動・スポーツの種類	124
(問 3)運動・スポーツを行わなかった理由	125
(問 4)今後行いたい運動・スポーツ	126

(問 5) 地域活動・行事への参加頻度	127
(問 6) 総合型地域スポーツクラブの周知度	127
(問 7) 総合型地域スポーツクラブを知った媒体	128
(問 8) 魅力を感じる総合型地域スポーツクラブの特徴	128
(問 9) 適当な総合型地域スポーツクラブの会費	129
(問 10) K I Tクラブ21の周知度	129
(問 11) 総合型地域スポーツクラブへの参加意向	130
(問 12) 総合型地域スポーツクラブ育成の必要度	130
(問 13) 地域スポーツの効果	131
(問 14) 生涯スポーツ振興の力点	132
(問 15) 生涯スポーツ振興について	133
4 調査表	136
5 集計表	143
6 アンケート集計結果の活用・説明	148
区政モニター設置要綱	157

第1回アンケート

21世紀の商店街のあり方
について

1 調査の概要

この報告書は、平成14年度第1回区政モニターアンケート「21世紀の商店街のあり方について」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

21世紀の商店街のあり方について、区政モニターの意見を聞き、今後の商店街振興施策を展開する上で参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

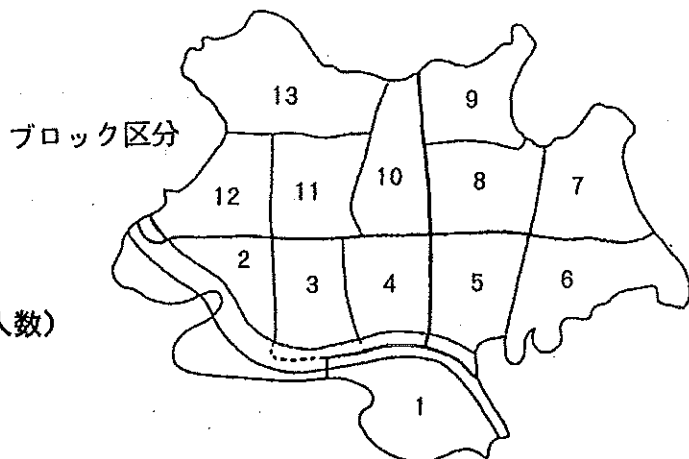
平成14年6月7日～6月14日

4 対象者数、回答者数

対象者 200人 回答者 198人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

- ・郵便 144人
- ・ファクス 9人
- ・インターネット 45人



6 回答者の構成（H14.6.1現在）

※ 調査方法は今回調査実施時の数

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	11	16	2	6	8	3	8	11	3	8	11	7	10	17
ファクス	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
インターネット	2	7	9	1	2	3	0	3	3	1	1	2	1	2	3
合計	7	19	26	3	9	12	3	11	14	4	9	13	9	12	21

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	14	16	4	6	10	2	9	11	3	4	7	6	8	14
ファクス	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
インターネット	5	3	8	0	1	1	0	3	3	1	2	3	2	4	6
合計	8	17	25	4	8	12	2	12	14	4	7	11	8	13	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	6	11	1	4	5	2	5	7	45	99	144
ファクス	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	7	9
インターネット	2	1	3	0	0	0	0	1	1	15	30	45
合計	7	7	14	1	5	6	2	7	9	62	136	198

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	14	15	7	44	51	5	11	16	4	11	15	19	15	34
ファクス	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	2	1	3
インターネット	3	7	10	3	14	17	5	4	9	2	3	5	2	2	4
合計	4	22	26	10	62	72	10	16	26	6	14	20	23	18	41

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	3	12	0	1	1	45	99	144
ファクス	0	0	0	0	0	0	2	7	9
インターネット	0	0	0	0	0	0	15	30	45
合計	9	3	12	0	1	1	62	136	198

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	7	10	0	1	1	8	9	17	0	66	66	14	10	24
ファクス	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0
インターネット	0	6	6	0	0	0	2	2	4	0	16	16	12	5	17
合計	3	14	17	0	1	1	10	12	22	0	87	87	26	15	41

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	20	6	26	45	99	144
ファクス	2	0	2	2	7	9
インターネット	1	1	2	15	30	45
合計	23	7	30	62	136	198

7 調査結果・分析の見方

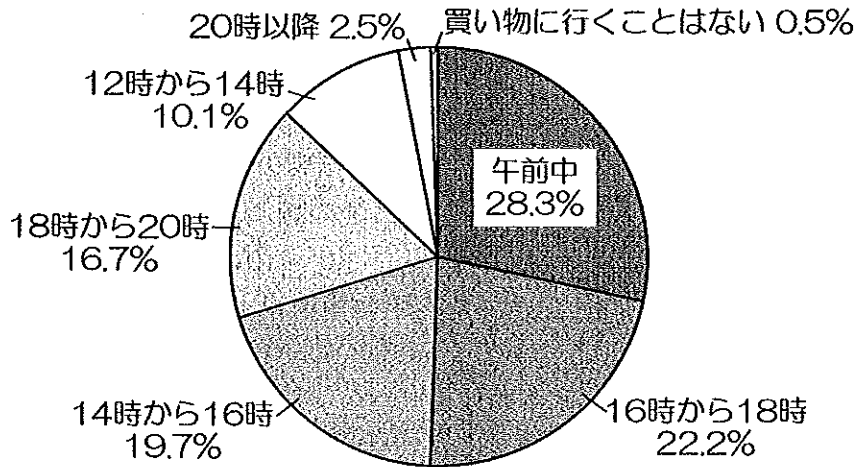
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要 旨

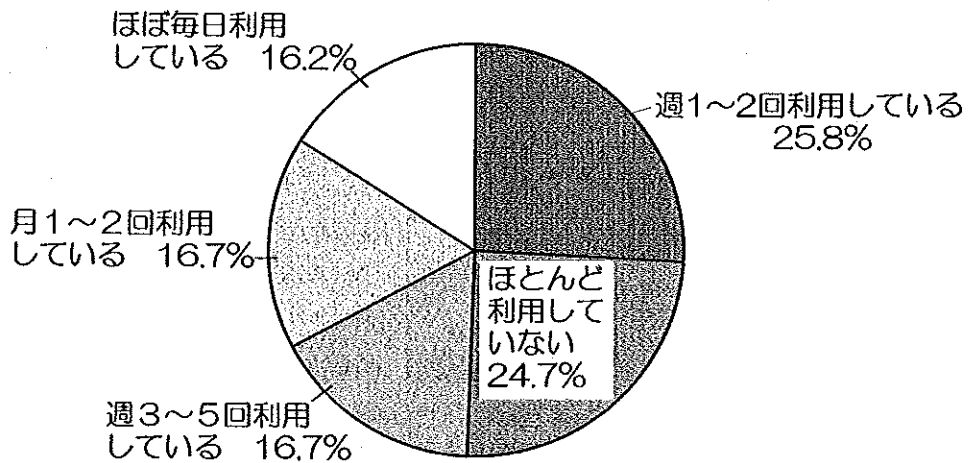
問 1	日用品の買い物に行く時間	「午前中」	28.3% (56人)
		「16時から18時」	22.2% (44人)
問 2	区内商店街の利用度	「週1～2回利用している」	25.8% (51人)
		「ほとんど利用していない」	24.7% (49人)
問 3	区内商店街の満足度	「やや不満である」	35.9% (71人)
		「まあ満足している」	28.3% (56人)
		「不満である」	21.7% (43人)
問 4	区内商店街の満足している点 (62人中、複数回答)	「気楽に品選びができる」	45.2% (28人)
		「価格が安い」	43.5% (27人)
問 5	区内商店街の不満な点 (114人中、複数回答)	「品揃えが少ない」	56.1% (64人)
		「価格が高い」	46.5% (53人)
		「お買い得情報など積極的な情報の提供がない」	39.5% (45人)
問 6	利用してみたい商店街 (複数回答)	「ひとつの商店街で必要なものがほとんど揃う」	62.6% (124人)
		「朝市や夕市、福引などの楽しいイベントをやっている」	46.0% (91人)
		「特売日が多い」	39.9% (79人)
問 7	「よろず相談所」の周知度	「知らない」	91.9% (182人)
問 8	商店街にあればよい施設 (複数回答)	「休憩所・お休み処」	47.5% (94人)
		「子どもが遊べるスペース」	43.9% (87人)
		「銀行」	38.4% (76人)
問 9	マイバック運動 (買い物袋持参推進運動) の周知度	「行われていることは知っているが、 買い物袋は持参していない」	41.9% (83人)
		「行われていることを知っているし、 買い物袋も持参している」	38.4% (76人)
問10	宅配制度の利用意向	「条件次第で利用する」	65.7% (130人)
		「利用しない」	29.8% (59人)
問11-1	適当だと思う宅配料金 (139人中)	「101～200円」	38人
		「201～300円」	38人
		「1～100円」	36人
問11-2	必要な配達サービス (139人中、複数回答)	「配達の日指定」	78.4% (109人)
		「いろいろな店の商品の一括宅配」	66.9% (93人)

※ 問12は記述回答のため割愛

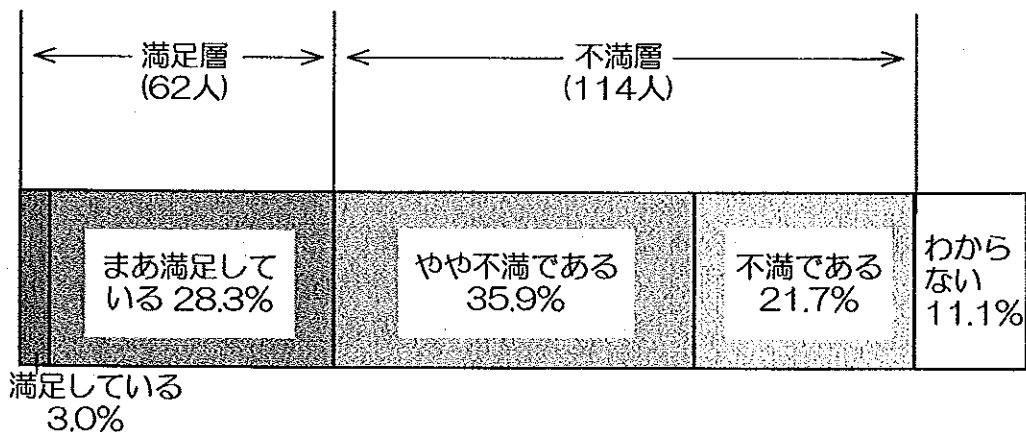
問1 あなたは、何時頃、日用品の買い物（食料品、生活雑貨など）に行くことが多いですか。最も多い時間帯を次の中から1つ選んでください（○は1つ）。



問2 あなたは、日頃、区内の商店街をどの程度利用していますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。



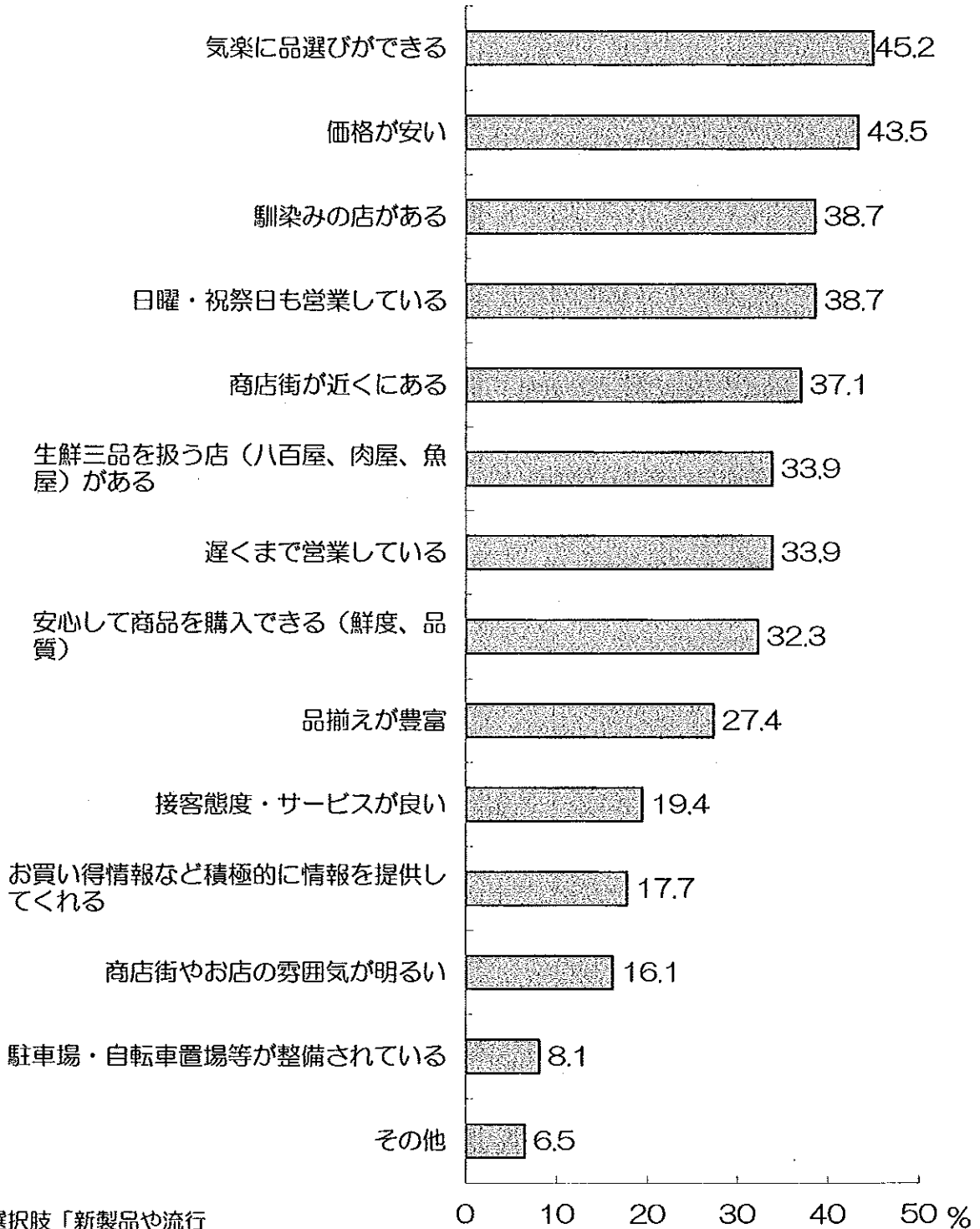
問3 あなたは、現在ある区内の商店街について、満足していますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。



問4 問3で(1)もしくは(2)を選んだ方のみお答えください。

どのような点に満足していますか。次の中からいくつでも選んでください(〇はいくつでも)。

62人中

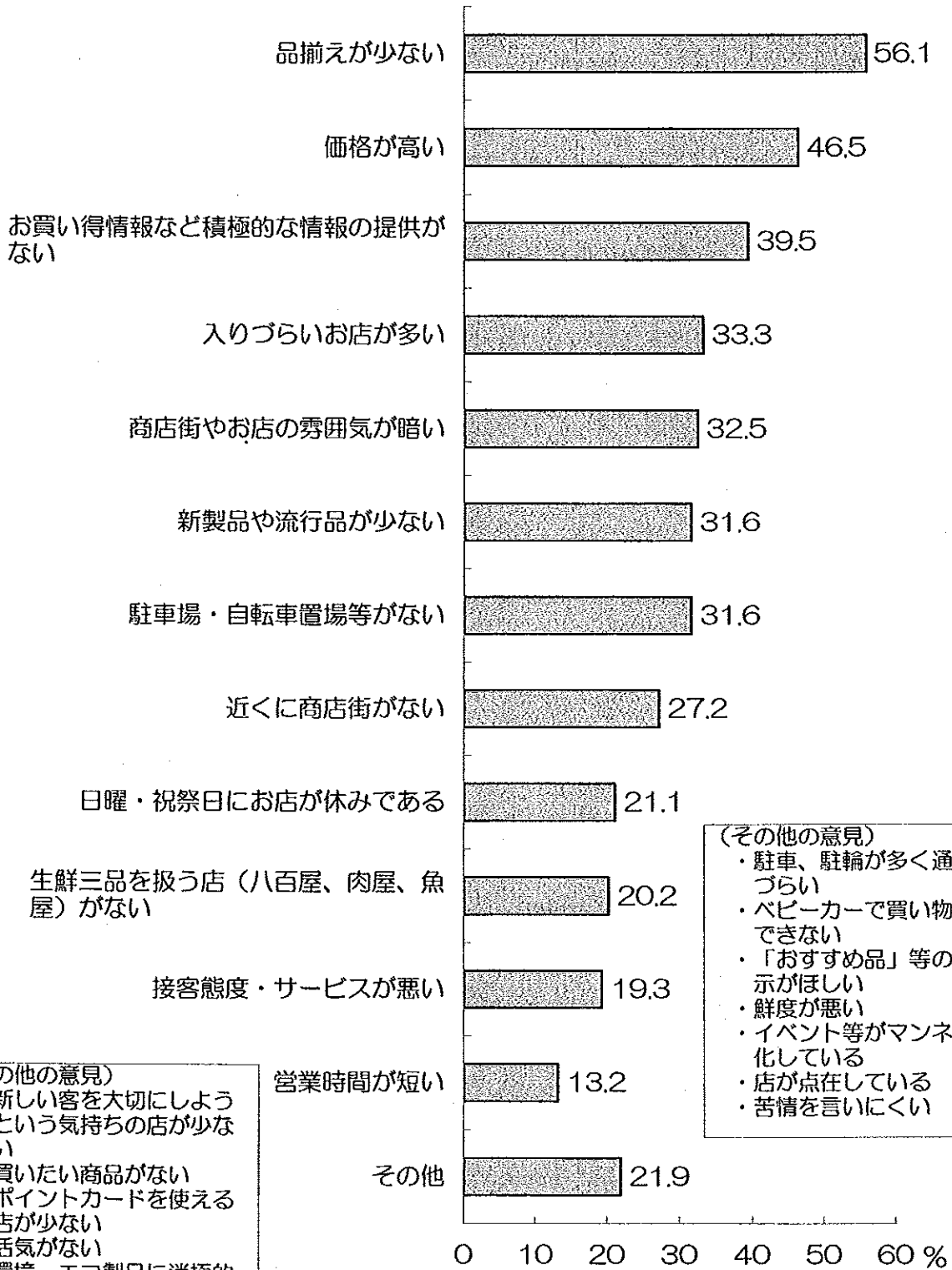


*選択肢「新製品や流行品が購入しやすい」は回答者なし

問5 問3で(3)もしくは(4)を選んだ方のみお答えください。

どのような点が不満ですか。次の中からいくつでも選んでください(〇はいくつでも)。

114人中

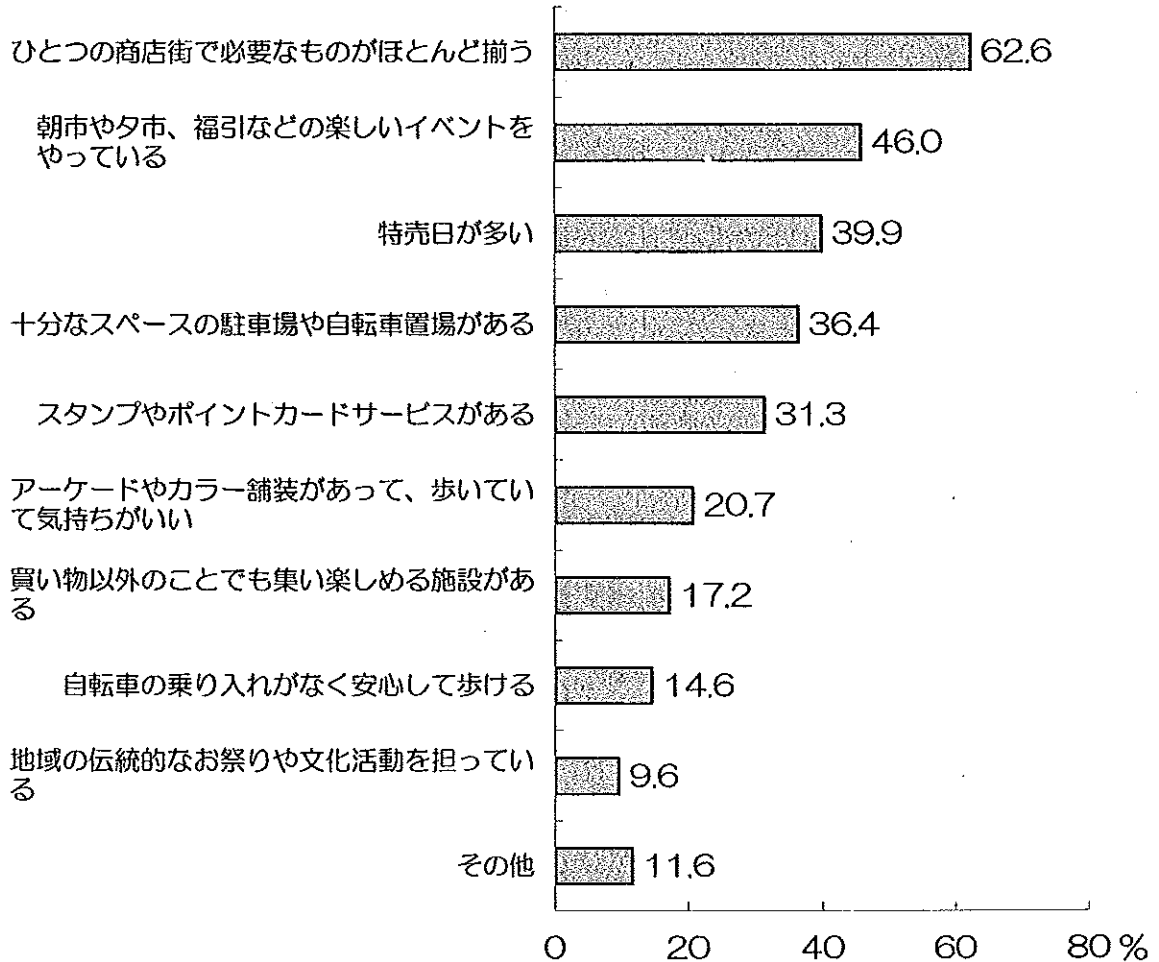


(その他の意見)
 ・新しい客を大切にしようという気持ちの店が少ない
 ・買いたい商品がない
 ・ポイントカードを使える店が少ない
 ・活気がない
 ・環境、エコ製品に消極的だ等

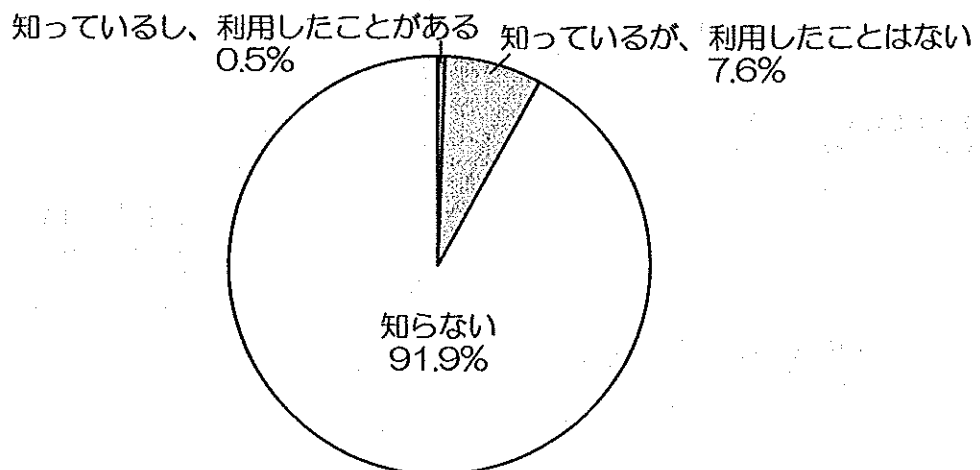
(その他の意見)
 ・駐車、駐輪が多く通りづらい
 ・ベビーカーで買い物ができない
 ・「おすすめ品」等の表示がほしい
 ・鮮度が悪い
 ・イベント等がマンネリ化している
 ・店が点在している
 ・苦情を言いにくい

問6 全員の方にお聞きします。

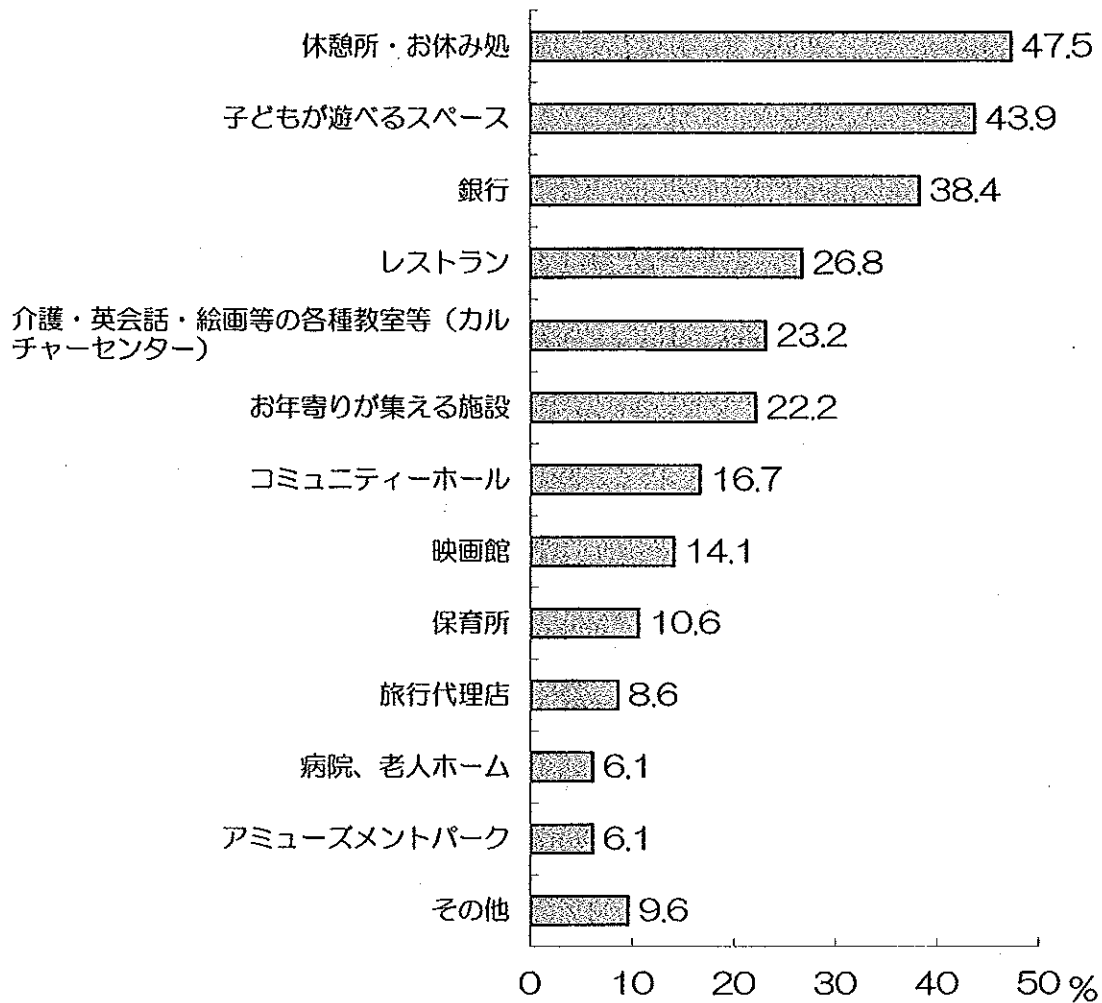
次のような商店街のうち、あなたが利用してみたいと思う商店街はどれですか。次の中から3つまで選んでください（〇は3つまで）。



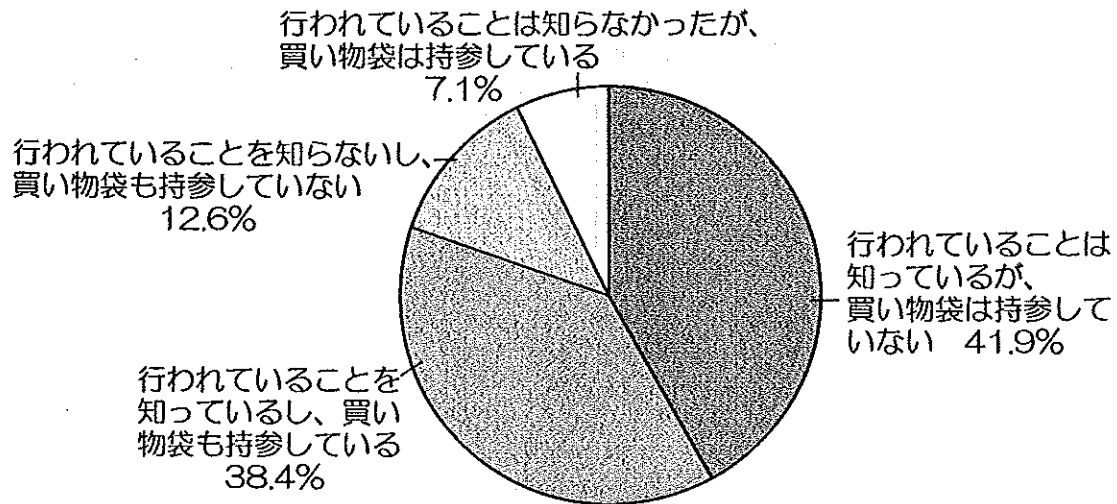
問7 区内のいくつかの商店街には、何でも気軽に相談できる「よろず相談所」が開設されています。あなたは、このことを知っていますか。次の中から1つ選んでください（〇は1つ）。



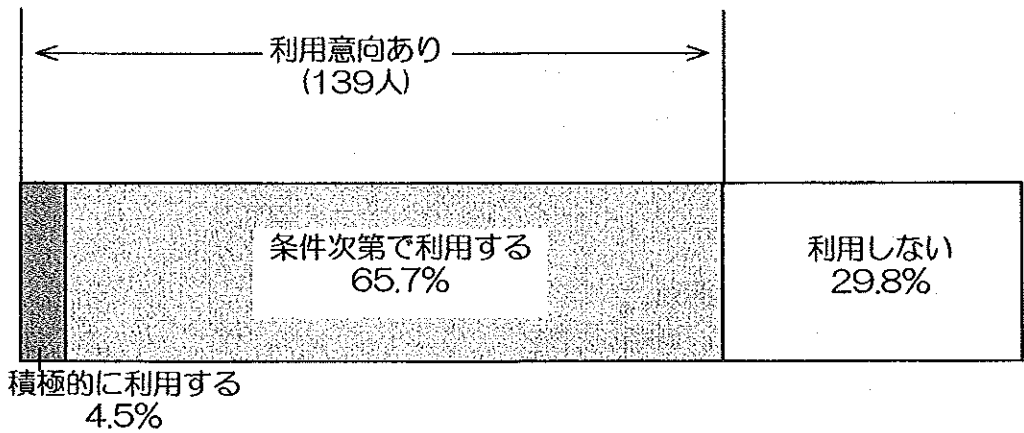
問8 あなたは、商店街にどのような施設があればよいとお考えになりますか。次の中から3つまで選んでください（〇は3つまで）。



問9 あなたは、区でマイバック運動（買い物袋持参推進運動）を行っていることを知っていますか。次の中から1つ選んでください（〇は1つ）



問10 あなたは、商店街のサービスとして宅配制度があった場合、この制度を利用したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）



問11-1 問10で (1)もしくは(2) を選んだ方のみお答えください。
 物品の宅配料金はいくらぐらいが適当だとお考えになりますか。

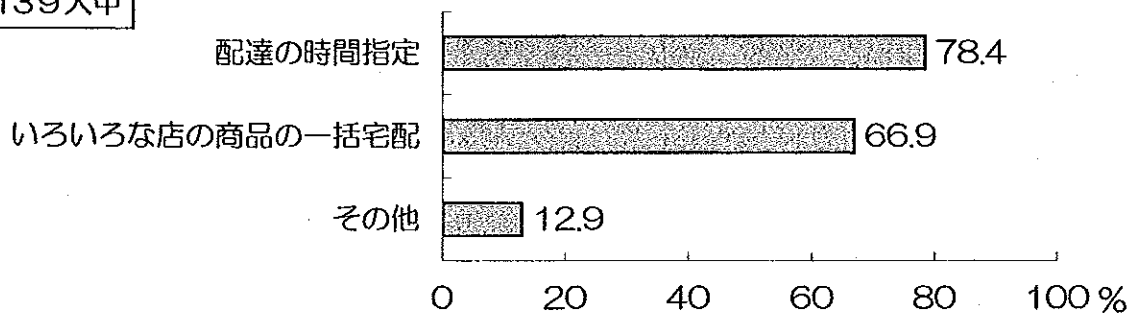
139人中

金額	人数
無料	7人
1～100円	36人
101～200円	38人
201～300円	38人
301～500円	13人
501～1,000円	2人
1,001～5,000円	4人
その他	2人
無回答	7人

※例えば100～300円など、幅を持たせた回答については、該当するそれぞれの金額でカウントしました。よって、表の人数の合計は139人を超過しています。

問11-2 問10で (1)もしくは(2) を選んだ方のみお答えください。
 利用する際、最低限必要だと考える配達サービスはどのようなことですか。次の中からいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

139人中



— 問11-2 次ページへ続く —

一 問11-2 前ページから続き 一

(問11-2 その他の意見)

- ・高齢者、妊婦、車椅子利用者などの優遇サービス
- ・雨の日のサービス
- ・会員番号または電話番号ですぐ住所が確認できる
- ・面倒な手続きなしに申し込める、安価、確實
- ・商品別による梱包、特になまものは冷気のある状態で配達
- ・配達料金表の作成
- ・金額に応じて割引制度
- ・数回利用すれば、1回分無料
- ・生鮮三品の新鮮度を守る、時間内に宅配
- ・購入額により配達料無料サービス
- ・ポイントカードを作り、特典を設定 等

問12 これからの商店街のあり方について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください
(自由回答)。

主な意見・要望

- ・ 最近、食品に対する不安を感じているので、国産品を多く置いてほしい。安く提供するのでも大切だが、「安心」を提供するべきだ。マイバック運動は、主婦では行っている人も多いかもしれないが、それ以外にも周知徹底するべきである。(20代 女性)
- ・ 商品が一つの所に集結されていない商店街は買い物をする時に面倒だし、店の人とのやりとりをするのもたまたま面倒と感じる時がある。大体の食料品や日用品が狭い範囲で揃い、精算が一つのところで済むようにできるとだいぶ客層も変わる。(20代 女性)
- ・ 客が自転車や車で大勢やって来るのはわかっている事なのだから、駐輪・駐車スペースを十分に確保してほしい。車等の移動媒体で来る人の快適さに加え、徒歩やベビーカー利用者、高齢者の通行の確保にもなる。(20代 女性)
- ・ 店には入りたいが、「高値だったら」「おいしくなかったら」と思うので、値札をわかりやすく、また味見ができるようになっていけばよい。(20代 女性)
- ・ 空き店舗を積極的に何かに利用するか、若い店舗経営者を育てるつもりで安く貸してはどうか。若い人達が共同で幾種類かの店を出したり、にぎやかな商店街になればおもしろい。(20代 女性)
- ・ 専門店ならではの信頼性や鮮度があるので、スーパーより多少高くても商店街を利用する。しかし、自宅近くに商店街がない。気軽に行ける距離に商店街がある家のほうが少ないのではないか。商店街は従来どおりにぎやかで、各専門店は活気のある姿であってほしい。(20代 女性)

- ・ 現在は買い物に出る時間が取れず、個人宅配を利用している。この制度は、共働き、子育て中、介護をしている家庭等に大変便利だ。商店街でも宅配サービスを積極的に行い、例えば新鮮な野菜・肉・魚等の宅配、簡単な相談やコミュニケーションに力を入れる等、新しい企画が大切だ。
(30代 女性)
- ・ マイバック運動など、環境を考えた運動を連携して進めてほしい。ポイントなどで客に利点を与えれば必ず普及する。
(30代 女性)
- ・ 食品などはスーパーで間に合ってしまう。もし商店街で買い物をしようとするなら、1時間200~300円で（できれば無料で）子どもを預かってくれて、身軽になって買い物ができるれば行く。
(30代 女性)
- ・ スーパーでほとんど必要な物が揃えられ、価格も安くなっているのでも、個人商店では買わなくなった。入ったら買わないと出てこられない雰囲気と、価格が高いのが理由だ。バーゲンの時のように、定期的に「20%OFF!」のような張り紙等、目に付くような演出をすると客が増えるのではないか。
(30代 女性)
- ・ 1カ所でほとんど揃い、休憩もできるスーパーを利用している。商店街の店は広告を出している店が少なく情報がない。歩行者天国や駐輪場の確保、リサイクル容器の回収、子どもやペット同伴でも安心して買い物ができるようにする。
(30代 女性)
- ・ 昔は肉・野菜・魚のおいしい調理方法を店のおじさんが教えてくれた。若い人にも商店街の良さが伝わるよう、どんどん店の人が積極的に会話し、お客とのコミュニケーションをとることが大事だ。
(30代 女性)
- ・ 量り売りの形態は買う方も便利でトレーのリサイクルの手間やごみの削減になる。欧州の市場のような感じであったら利用したい。
(30代 女性)
- ・ 自宅近くに商店街がありよく利用している。スーパーとは違い、お店の人と実際話をして買い物ができるので安心して買うことができる。時には安くしてもらったり、サービス(おまけ)してもらったりでとても楽しい。
(30代 女性)
- ・ 商店街は店の雰囲気等で入りづらいため利用していない。しかし、スーパーにない専門性の高い店があれば利用する。時代の流れを見据えて商品企画、サービス等の努力をしてほしい。
(30代 女性)
- ・ 商店街では、顔なじみになるとかえって気を使うことがあり利用しない。スーパーの方が気楽に買い物ができる。古い体質が残り、今の買い手のニーズに合っていないことが多いのではないか。大型スーパーでは対応しにくい宅配を行ってほしい。商店街のメリットを時代に合わせたらよい。
(30代 女性)

- 子どもを自転車に乗せて買い物に行くと、一軒一軒降ろすのが大変だ。気軽に店員が見てくれたり、買い物をサポートしてくれるとありがたい。素敵な雑貨屋、花屋、子連れOKの喫茶店など若者や若い主婦達が集まるようにしてもらいたい。 (30代 女性)
- 商店街の存在をアピールすることが大切だ。利用したくても、どこにどの程度の商店街が存在しているのかわからない。スーパーや大型店ではできないサービスを考えてほしい。 (30代 女性)
- 買い物だけでなく、みんながいろいろな目的（カルチャーセンター、子どもの遊び場、高齢者が集まれる場など）で商店街へ足を向ける形が望ましい。 (30代 女性)
- そこだけで全ての日常に必要な買い物が可能な商店街になってほしい。駅前付近の路上駐車・駐輪が多すぎ、商店街を通らず生活するのも商店街衰退の原因ではないか。 (30代 女性)
- 個人商店は入りづらい雰囲気がある。買い物も考えながら選んでいるが、商店街では大型店のように気軽に変更できない気がする。コミュニティーの場としても商店街は適しているし必要だと思うが、そこに新しく入っていける雰囲気が必要だ。“買わなくてもまずは来てもらう”ということを考えてほしい。 (30代 女性)
- 大型店にはないきめ細かいサービス、顔なじみ・人情味などとは異なる発想が必要だ。商品情報満載のHPは不可欠である。専門家群による「商店街」戦略の構築に関するアドバイザーの手も借りるべき局面もあるだろう。 (40代 男性)
- 広い駐車場があり、1回の買い物で何でも揃うスーパーに行くことが多い。商店1店だけでなく、商店街全体で自然食品を扱っているなど、商店街としての取り組みの特色があれば足が向くかもしれない。 (40代 男性)
- 商店街の宣伝活動に、掲示板の提供等で区が支援すべきだ。また、区と商店街を結ぶコーディネーターをつくり、各地区のコーディネーターの交流で情報等の共有をする。商店街はアンケート等で客の意見を最重視する。地域も積極的に交流し商店街をサポートする。 (40代 女性)
- 1人暮らしの高齢者はこれからも増える。高齢者にやさしい宅配サービスを設けたらどうか。システムが難しいと受け入れにくいので、簡単に受けられる宅配制度を設ける。 (40代 女性)
- 亀有を境に足立区と葛飾区両方の商店街を利用しているが、足立区のほうは活気がない。葛飾区のほうはスーパーに負けず、薄利多売で日々努力している。危機感を持って価格への挑戦と広報が必要だ（チラシなどほとんど入ってこない）。 (50代 女性)

- 区画毎にある商店名を1軒毎に絵地図に表し、店の休業日も併せて住民に配布したらよい。営業時間がまちまちなので、朝早くから夜遅くまでの時間帯が知りたい。(60代 男性)
- 自転車の往来が買い物客を遠ざけている。昼休み、夕方等時間を区切って乗り入れ禁止時間帯を設けることが大事だ。(60代 男性)
- 大型スーパーやコンビニにない商品、情緒・人情・対話等を含めた「よろず相談」機能、商店街の後継者に夢を持たせる施策等を検討すべきだ。(60代 男性)
- 商店街は地域コミュニティーの核であり、町全体の活気に繋がるので活性化が必要だ。(1)高齢化・核家族化がすすむ中、宅配制度の推進。(2)駐輪場を設置し安心して歩行できる商店街づくり。(3)「商店街と駐輪」について区民からアイデアを募りモデル地区で実践など。(60代 男性)
- 高齢者対象のサービスが多くある商店街があるとよい。車や自転車の乗り入れがなく、ゆったり商品を見て歩き、所々に休める椅子等を置き、買い物した品を商店街の宅配所でまとめ一括宅配してくれるなど。(60代 女性)
- スーパーのような店も必要だが、八百屋、肉屋、魚屋等スーパーにはできないバラ売りをしてくれる店が必要だ。小人数だと少量買えればよいのだが、スーパーではそれができない。自分たちには小さい店が必要だ。頑張っ欲しい。(60代 女性)
- 店内の商品をアピールできるような、斬新で人目をひき、「入ってみよう」と思うような装飾がほしい。常に新しいものを求めているニーズに応じてほしい。(60代 女性)
- 全店まちまちな宣伝が目立つ。どこでどのような品物が販売されているかとの小冊子が各戸へ配布されると便利だ。(60代 女性)
- 商店街にスマートさが欠けている。若者の集まる演出が必要だ。環境に強い商店街をアピールする、地域通貨を導入し活性化を図る等全店がまとまってソフト面に力を注ぎ、特色を出すべきだ。(70代 男性)
- その店の特性をつくりアピールしてほしい。竹の塚の商店街で里芋、じゃが芋、さつま芋をふかして一盛り100円で売っている八百屋がある。おいしいので自転車で20分かけても買いに行く。(70代 女性)

平成14年度 第1回区政モニターアンケート

《 21世紀の商店街のあり方について 》

モニター番号 _____ 番

今日、空き店舗が増加するなど商店街の空洞化が目立ってきています。その結果、これまで地域コミュニティの核としてその役割を果たしてきた足立区の商店街の多くが活力を失う傾向にあります。

一方、商店街が地域にとって無くてはならない存在であるためには、何よりもまず自らが現在の厳しい状況を認識し、新たな発想のもと、自主的・自立的に問題解決に取り組んでいくことが求められています。また、区もこのような問題解決に立ち向かう意欲ある商店街を支援していくことが重要であると考えております。

このようなことから、21世紀の商店街のあり方について区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、今後の商店街振興施策を展開する上での参考にさせていただきたいと思っております。よろしくご協力をお願いします。

問1 あなたは、何時頃、日常用品の買い物（食料品、生活雑貨など）に行くことが多いですか。最も多い時間帯を次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

- (1) 午前中
- (2) 12時から14時
- (3) 14時から16時
- (4) 16時から18時
- (5) 18時から20時
- (6) 20時以降
- (7) 買い物に行くことはない

問2 あなたは、日頃、区内の商店街をどの程度利用していますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

- (1) ほぼ毎日利用している

〔問2、次ページへ続く〕

〔問2、前ページから続き〕

- (2) 週3～5回利用している
- (3) 週1～2回利用している
- (4) 月1～2回利用している
- (5) ほとんど利用していない

問3 あなたは、現在ある区内の商店街について、満足していますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

- (1) 満足している →問4へ
- (2) まあ満足している →問4へ
- (3) やや不満である →問5へ
- (4) 不満である →問5へ
- (5) わからない →問6へ

問4 問3で(1)もしくは(2)を選んだ方のみお答えください。

どのような点に満足していますか。次の中からいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- (1) 価格が安い
- (2) 品揃えが豊富
- (3) 遅くまで営業している
- (4) 日曜・祝祭日も営業している
- (5) 駐車場・自転車置場等が整備されている
- (6) 商店街が近くにある
- (7) 馴染みの店がある
- (8) 安心して商品を購入できる（鮮度、品質）
- (9) 商店街やお店の雰囲気明るい
- (10) お買い得情報など積極的に情報を提供してくれる
- (11) 接客態度・サービスが良い
- (12) 気楽に品選びができる
- (13) 新製品や流行品が購入しやすい
- (14) 生鮮三品を扱う店（八百屋、肉屋、魚屋）がある

(15) その他（具体的に－)

問5 問3で(3)もしくは(4)を選んだ方のみお答えください。

どのような点が不満ですか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。

- (1) 価格が高い
- (2) 品揃えが少ない
- (3) 営業時間が短い
- (4) 日曜・祝祭日にお店が休みである
- (5) 駐車場・自転車置場等がない
- (6) 近くに商店街がない
- (7) 商店街やお店の雰囲気が悪い
- (8) お買い得情報などの積極的な情報の提供がない
- (9) 接客態度・サービスが悪い
- (10) 入りづらいお店が多い
- (11) 新製品や流行品が少ない
- (12) 生鮮三品を扱う店（八百屋、肉屋、魚屋）がない
- (13) その他（具体的に－)

問6 全員の方にお聞きします。

次のような商店街のうち、あなたが利用してみたいと思う商店街はどれですか。次の中から3つまで選んでください（〇は3つまで）。

- (1) 朝市や夕市、福引などの楽しいイベントをやっている
- (2) アーケードやカラー舗装があつて、歩いていて気持ちがいい
- (3) スタンプやポイントカードサービスがある
- (4) 買い物以外のことでも集い、楽しめる施設がある
- (5) 自転車の乗り入れがなく安心して歩ける
- (6) 十分なスペースの駐車場や自転車置場がある
- (7) ひとつの商店街で必要なものがほとんど揃う
- (8) 特売日が多い
- (9) 地域の伝統的なお祭りや文化活動を担っている
- (10) その他（具体的に－)

問7 区内のいくつかの商店街には、何でも気軽に相談できる「よろず相談所」が開設されてい

ます。あなたは、このことを知っていますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

〔問7, 前ページから続き〕

〔問7, 次ページへ続く〕

- (1) 知っているし、利用したことがある
- (2) 知っているが、利用したことはない
- (3) 知らない

問8 あなたは、商店街にどのような施設があればよいとお考えになりますか。次の中から3つまで選んでください（○は3つまで）。

- (1) 保育所
- (2) 子どもが遊べるスペース
- (3) お年寄りが集える施設
- (4) 介護・英会話・絵画等の各種教室等（カルチャーセンター）
- (5) 休憩所・お休み処
- (6) コミュニティーホール
- (7) 旅行代理店
- (8) アミューズメントパーク
- (9) 病院、老人ホーム
- (10) レストラン
- (11) 映画館
- (12) 銀行
- (13) その他（具体的にー)

問9 あなたは、区でマイバック運動（買い物袋持参推進運動）を行っていることを知っていますか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

- (1) 行われていることを知っているし、買い物袋も持参している
- (2) 行われていることは知っているが、買い物袋は持参していない
- (3) 行われていることは知らなかったが、買い物袋は持参している
- (4) 行われていることを知らないし、買い物袋も持参していない

問10 あなたは、商店街のサービスとして宅配制度【※】があった場合、この制度を利用したいとお考えですか。次の中から1つ選んでください（○は1つ）。

【※】 宅配制度

電話やファクスの注文で商品を配達したり、買い物で持ち帰れなくなった商品を配達するサービス。

〔問10, 前ページから続き〕

- (1) 積極的に利用する →問11へ
- (2) 条件次第で利用する →問11へ
- (3) 利用しない →問12へ

〔問 10, 次ページへ続く〕

問11 問10で (1)もしくは(2) を選んだ方のみお答えください。

【11-1】 物品の宅配料金はいくぐらいが適当だとお考えになりますか。

(1回 _____円程度)

【11-2】 利用する際、最低限必要だと考える配達サービスはどのようなことですか。
次の中からいくつでも選んでください (〇はいくつでも)。

- (1) 配達の時間指定
- (2) いろいろな店の商品の一括宅配
- (3) その他 (具体的に _____)

問12 全員の方にお聞きします。

これからの商店街のあり方について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい
(自由回答)。

ありがとうございました。

集 計 表

(%)

21世紀の商店街のあり方について	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	198	62	136	98	100
問1 日用品の買い物に行く時間 N=198					
1 午前中	28.3	24.2	30.1	38.8	18.0
2 12時から14時	10.1	8.1	11.0	11.2	9.0
3 14時から16時	19.7	17.7	20.6	14.3	25.0
4 16時から18時	22.2	19.4	23.5	12.2	32.0
5 18時から20時	16.7	25.8	12.5	18.4	15.0
6 20時以降	2.5	3.2	2.2	4.1	1.0
7 買い物に行くことはない	0.5	1.6	-	1.0	-
問2 区内商店街の利用度 N=198					
1 ほぼ毎日利用している	16.2	17.7	15.4	8.2	24.0
2 週3～5回利用している	16.7	12.9	18.4	12.2	21.0
3 週1～2回利用している	25.8	37.1	20.6	25.5	26.0
4 月1～2回利用している	16.7	12.9	18.4	18.4	15.0
5 ほとんど利用していない	24.7	19.4	27.2	35.7	14.0
問3 区内商店街の満足度 N=198					
1 満足している	3.0	3.2	2.9	3.1	3.0
2 まあ満足している	28.3	32.3	26.5	16.3	40.0
3 やや不満である	35.9	38.7	34.6	39.8	32.0
4 不満である	21.7	16.1	24.3	26.5	17.0
5 わからない	11.1	9.7	11.8	14.3	8.0
回答者数(人)	62	22	40	19	43
問4 区内商店街の満足している点(複数回答) N=62					
1 価格が安い	43.5	59.1	35.0	47.4	41.9
2 品揃えが豊富	27.4	31.8	25.0	21.1	30.2
3 遅くまで営業している	33.9	45.5	27.5	26.3	37.2
4 日曜・祝祭日も営業している	38.7	45.5	35.0	31.6	41.9
5 駐車場・自転車置場等が整備されている	8.1	13.6	5.0	5.3	9.3
6 商店街が近くにある	37.1	27.3	42.5	52.6	30.2
7 馴染みの店がある	38.7	50.0	32.5	26.3	44.2
8 安心して商品を購入できる(鮮度、品質)	32.3	31.8	32.5	31.6	32.6
9 商店街やお店の雰囲気が明るい	16.1	18.2	15.0	15.8	16.3
10 お買い得情報など積極的に情報を提供してくれる	17.7	22.7	15.0	15.8	18.6

集 計 表

(%)

21世紀の商店街のあり方について	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
11 接客態度・サービスが良い	19.4	18.2	20.0	10.5	23.3
12 気楽に品選びができる	45.2	40.9	47.5	26.3	53.5
13 新製品や流行品が購入しやすい	-	-	-	-	-
14 生鮮三品を扱う店（八百屋、肉屋、魚屋）がある	33.9	40.9	30.0	31.6	34.9
15 その他	6.5	9.1	5.0	5.3	7.0
回 答 者 数 (人)	114	34	80	65	49
問5 区内商店街の不満な点（複数回答） N=114					
1 価格が高い	46.5	35.3	51.3	53.8	36.7
2 品揃えが少ない	56.1	47.1	60.0	52.3	61.2
3 営業時間が短い	13.2	29.4	6.3	13.8	12.2
4 日曜・祝祭日にお店が休みである	21.1	29.4	17.5	18.5	24.5
5 駐車場・自転車置場等がない	31.6	32.4	31.3	41.5	18.4
6 近くに商店街がない	27.2	26.5	27.5	26.2	28.6
7 商店街やお店の雰囲気が悪い	32.5	35.3	31.3	40.0	22.4
8 お買い得情報など積極的な情報の提供がない	39.5	44.1	37.5	33.8	46.9
9 接客態度・サービスが悪い	19.3	11.8	22.5	23.1	14.3
10 入りづらいお店が多い	33.3	23.5	37.5	35.2	42.3
11 新製品や流行品が少ない	31.6	35.3	30.0	30.8	32.7
12 生鮮三品を扱う店（八百屋、肉屋、魚屋）がない	20.2	20.6	20.0	9.1	26.1
13 その他	21.9	11.8	26.3	23.1	20.4
回 答 者 数 (人)	198	62	136	98	100
問6 利用してみたい商店街（複数回答） N=198					
1 朝市や夕市、福引などの楽しいイベントをやっている	46.0	43.5	47.1	50.0	42.0
2 アーケードやカー舗装があって、歩いていて気持ちがいい	20.7	30.6	16.2	17.3	24.0
3 スタンプやポイントカードサービスがある	31.3	30.6	31.6	37.8	25.0
4 買い物以外のことでも集い、楽しめる施設がある	17.2	24.2	14.0	18.4	16.0
5 自転車の乗り入れがなく安心して歩ける	14.6	17.7	13.2	12.2	17.0
6 十分なスペースの駐車場や自転車置場がある	36.4	38.7	35.3	43.9	29.0
7 ひとつの商店街で必要なものがほとんど揃う	62.6	62.9	62.5	57.1	68.0
8 特売日が多い	39.9	25.8	46.3	42.9	37.0
9 地域の伝統的なお祭りや文化活動を担っている	9.6	11.3	8.8	9.2	10.0
10 その他	11.6	9.7	12.5	9.2	14.0
問7 「よろず相談所」の周知度 N=198					
1 知っているし、利用したことがある	0.5	-	0.7	-	1.0

集 計 表

(%)

21世紀の商店街のあり方について	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
		2 知っているが、利用したことはない	7.6	11.3	5.9
3 知らない	91.9	88.7	93.4	96.9	87.0
問8 商店街にあればよい施設（複数回答） N=198					
1 保育所	10.6	9.7	11.0	14.3	7.0
2 子どもが遊べるスペース	43.9	33.9	48.5	60.2	28.0
3 お年寄りが集える施設	22.2	29.0	19.1	9.2	35.0
4 介護・英会話・絵画等の各種教室等（カキヤセンター）	23.2	12.9	27.9	28.6	18.0
5 休憩所・お休み処	47.5	50.0	46.3	41.8	53.0
6 コミュニティホール	16.7	24.2	13.2	11.2	22.0
7 旅行代理店	8.6	11.3	7.4	7.1	10.0
8 アミューズメントパーク	6.1	6.5	5.9	9.2	3.0
9 病院、老人ホーム	6.1	3.2	7.4	7.1	5.0
10 レストラン	26.8	32.3	24.3	15.3	38.0
11 映画館	14.1	11.3	15.4	16.3	12.0
12 銀行	38.4	32.3	41.2	44.9	32.0
13 その他	9.6	14.5	7.4	7.1	12.0
問9 マイバック運動（買い物袋持参推進運動）の周知度 N=198					
1 行われていることを知っているし、買い物袋も持参している	38.4	24.2	44.9	35.7	41.0
2 行われていることは知っているが、買い物袋は持参していない	41.9	43.5	41.2	43.9	40.0
3 行われていることは知らなかったが、買い物袋は持参している	7.1	8.1	6.6	7.1	8.3
4 行われていることを知らないし、買い物袋も持参していない	12.6	24.2	7.4	12.2	13.0
問10 宅配制度の利用意向 N=198					
1 積極的に利用する	4.5	6.5	3.7	3.1	6.0
2 条件次第で利用する	65.7	59.7	68.4	71.4	60.0
3 利用しない	29.8	33.9	27.9	25.5	34.0
回 答 者 数 (人)	139	41	98	73	66
問11-2 必要な配達サービス（複数回答） N=139					
1 配達的时间指定	78.4	80.5	77.6	79.5	77.3
2 いろいろな店の商品の一括宅配	66.9	61.0	69.4	68.5	65.2
3 その他	12.9	17.1	11.2	15.1	10.6

1 アンケート集計結果の今後の活用

【産業振興課の説明】 今年度、策定を予定しています、「足立区商店街振興プラン」に反映させていただくなど、今後、商店街の活性化支援事業をより一層充実した内容にしていくために、今回のアンケートのご意見・ご提案を参考として活用させていただきます。また、足立区商店街振興組合連合会、及び、区内商店街に対しては、今回のアンケート結果を活用していただけるように積極的に周知していきます。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

商店街への不満について

・本アンケート設問5の集計結果をふまえて

【産業振興課の説明】 特に品揃えの少なさ、価格の高さが不満として多いようです。個店が大型店に対抗するためには、専門性を高めたり、より良い品を揃えるなど個店ならではの特性を十二分に発揮することが大切です。区では、個店の「強み」や「特徴」を生かして、オリジナル性の高い製品やサービスの開発を支援する「一店逸品創出事業」などで個店及び商店街の活性化を積極的に支援していきます。

「よろず相談」について

・本アンケート設問7の集計結果をふまえて

【産業振興課の説明】 「よろず相談所」は、足立区商店街振興組合連合会が会員の商店街に設置を働きかけて実施しているものです。主に生活に関する相談をお受けし、①その場で処理可能なもの、②足立区商店街振興組合連合会事務局に依頼が必要なもの、③行政など他に依頼するものの3つに種分けして対応しています。区では、商店街の地域コミュニティーの核としての役割を重視し、今後も積極的にその活動を支援していきます。詳しくは、下記事務局までお問い合わせください。

◎お問い合わせ 「足立区商店街振興組合連合会事務局」

電話 3881-9121

商店街の施設について

・本アンケート設問8の集計結果をふまえて

【産業振興課の説明】 区では、今後、空き店舗を休憩所や子どもが遊べるスペースなどのコミュニティー施設として活用していこうと考えています。そうするこ

とで、空き店舗の解消と少子高齢化社会への対応を図り、商店街の活性化につなげていきます。そのために、積極的に国や都の補助制度なども活用していきます。

マイバッグ運動について

- ・本アンケート設問9の集計結果をふまえて

【リサイクル推進課の説明】 マイバッグ運動（買い物袋持参推進運動）は、生活に身近なレジ袋問題を通して、ごみの減量、資源の節約など、生活習慣を環境にやさしいライフスタイルに転換していく契機になることを目指して推進されてきました。今後も、全区的な運動として拡充を図っていく予定です。

宅配制度について

- ・本アンケート設問 10～11 の集計結果をふまえて

【産業振興課の説明】 少子・高齢化社会が進展し、人々の価値観も多様化してきています。いま、商店街には利用者の方々の多様な要望に応えるような、きめ細かなサービスが求められており、宅配制度などはまさにそういったサービスの1つであると考えます。これからは、きめ細かなサービスを積極的に取り入れ、個店の活性化、商店街の活性化へとつなげていくことが重要であると考えます。

～問 12 自由回答の集計結果をふまえて～

広報・PRについて（主な意見）

- ・商店街の店は広告を出している店が少なく情報がない（30代 女性）
- ・どこでどのような品物が販売されているかの小冊子が配布されると便利だ（60代 男性）

【産業振興課の説明】 多くの方々に周知され、利用されてこそ良いサービスも生きてきます。商店街の活性化には、サービス情報を積極的に発信する広報・PR活動が欠かせません。個店単位では難しくても、商店街全体で小冊子などの製作と配布を行うことは十分可能と思われます。区では、商店街のIT化推進の一環として、商店街のホームページ開設支援のために、都の補助制度などを積極的に活用していきます。

地域とのかかわりについて（主な意見）

- ・コミュニティの場として商店街は適しているし必要だ（30代 女性）
- ・商店街は地域コミュニティの核であり、町全体の活気につながる（60代 男性）

【産業振興課の説明】 これまでも地域の商店街は、地域コミュニティの核として重要な役割を果たしてきました。本格的な少子・高齢化社会を迎え、その役割はますます重要となっています。区では、商店街の活性化のみならず、周辺地域のまちづくりをも視野に入れたまちの活性化のため、今後も積極的に商店街を支援していきます。

商店街の特色について（主な意見）

- ・スーパーにない専門性の高い店があれば利用する（30代 女性）
- ・商店街全体で自然食品を扱っているなど、商店街としての取り組みの特色があれば足も向く（40代 男性）
- ・「商店街」戦略の構築に関するアドバイザーの手も借りる（40代 男性）
- ・区と商店街を結ぶコーディネーターをつくり、コーディネーターの交流で情報の共有をする（40代 女性）

【産業振興課の説明】 零細企業である個店にとって大量仕入れで薄利多売を得意とする大型店と同じ土俵で競うのは非常に困難です。しかし、大型店の苦手とする小回りの効く性質を生かし、専門性などの特色を打ち出していくことは十分可能です。区では、中小企業診断士、及び商業施設士といった専門家を「元気な店づくりのアドバイザー」として派遣する事業を通して、個店や商店街の活性化を積極的に支援していきます。

駐車場・駐輪場・自転車の乗り入れについて（主な意見）

- ・駐車、駐輪スペースを十分に確保してほしい（20代 女性）
- ・自転車の往来が買い物客を遠ざけている（60代 男性）

【産業振興課の説明】 商店街に来る方々が、快適に、安心して商店街を利用するために、駐輪場などの環境整備を行うことは重要です。しかし、依然として厳しい経済状況下で、商店街が整備費用の全てを負担することは非常に困難です。区は、商店街の環境整備事業に対する補助や利子補給などの助成制度を通して商店街を積極的に支援していきます。

空き店舗の利用について（主な意見）

- ・空き店舗を積極的に利用したらどうか（20代 女性）

【産業振興課の説明】 大型店の進出や個店主の高齢化などに伴い、空き店舗の問題は年々深刻になってきています。区では、空き店舗の店と起業予定者を仲介し、空き店舗の解消と起業機会の創出を図ることで商店街の活性化を積極的に支援していきます。

経営者（リーダー）の育成について（主な意見）

- ・若い人達が共同で幾種類かの店を出したり、にぎやかな商店街になればおもしろい（20代 女性）
- ・リーダー（若年齢者）の育成から始めたらよい（60代 男性）

【産業振興課の説明】 区は、次のような講習会を行うことで、商店街及び個店の活性化を図っていきます。

- ①個店のおかみさんを対象とした、おかみさん塾を開催。
- ②全区内の商店主を対象に、商業全般に関する商業指導講習会を開催。
- ③商店街単位に、商店街の活性化に関するまちづくり勉強会の開催。
- ④全区内の商店の後継者を対象に、経営などの勉強を行う商店街若人塾。
- ⑤夏休みを利用して、小学生に「あきない体験」を行う、こどもあきない体験塾。

以 上

第2回アンケート
足立の観光

1 調査の概要

この報告書は、平成14年度第2回区政モニターアンケート「足立の観光」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

足立の観光について、区政モニターの意見を聞き、今後の足立の観光施策を検討する上での参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

平成14年8月2日～8月13日

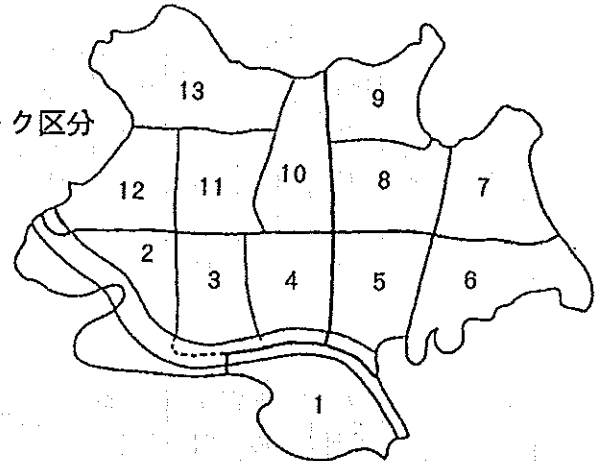
4 対象者数、回答者数

対象者 200人 回答者 200人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

- ・郵便 147人
- ・ファクス 9人
- ・インターネット 44人

ブロック区分



6 回答者の構成（H14.6.1現在）

※ 調査方法は今回調査実施時の数

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	11	16	2	6	8	3	8	11	3	8	11	7	11	18
ファクス	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
インターネット	2	7	9	1	2	3	0	3	3	1	1	2	1	1	2
合計	7	19	26	3	9	12	3	11	14	4	9	13	9	12	21

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	15	17	5	6	11	2	9	11	3	4	7	6	8	14
ファクス	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
インターネット	5	3	8	0	1	1	0	3	3	1	2	3	2	4	6
合計	8	18	26	5	8	13	2	12	14	4	7	11	8	13	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	6	11	1	4	5	2	5	7	46	101	147
ファクス	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	7	9
インターネット	2	1	3	0	0	0	0	1	1	15	29	44
合計	7	7	14	1	5	6	2	7	9	63	137	200

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	14	15	7	44	51	6	13	19	4	11	15	19	15	34
ファクス	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	2	1	3
インターネット	3	7	10	3	14	17	5	3	8	2	3	5	2	2	4
合計	4	22	26	10	62	72	11	17	28	6	14	20	23	18	41

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	3	12	0	1	1	46	101	147
ファクス	0	0	0	0	0	0	2	7	9
インターネット	0	0	0	0	0	0	15	29	44
合計	9	3	12	0	1	1	63	137	200

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	7	10	0	1	1	8	10	18	0	67	67	15	10	25
ファクス	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0
インターネット	0	6	6	0	0	0	2	2	4	0	15	15	12	5	17
合計	3	14	17	0	1	1	10	13	23	0	87	87	27	15	42

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	20	6	26	46	101	147
ファクス	2	0	2	2	7	9
インターネット	1	1	2	15	29	44
合計	23	7	30	63	137	200

7 調査結果・分析の見方

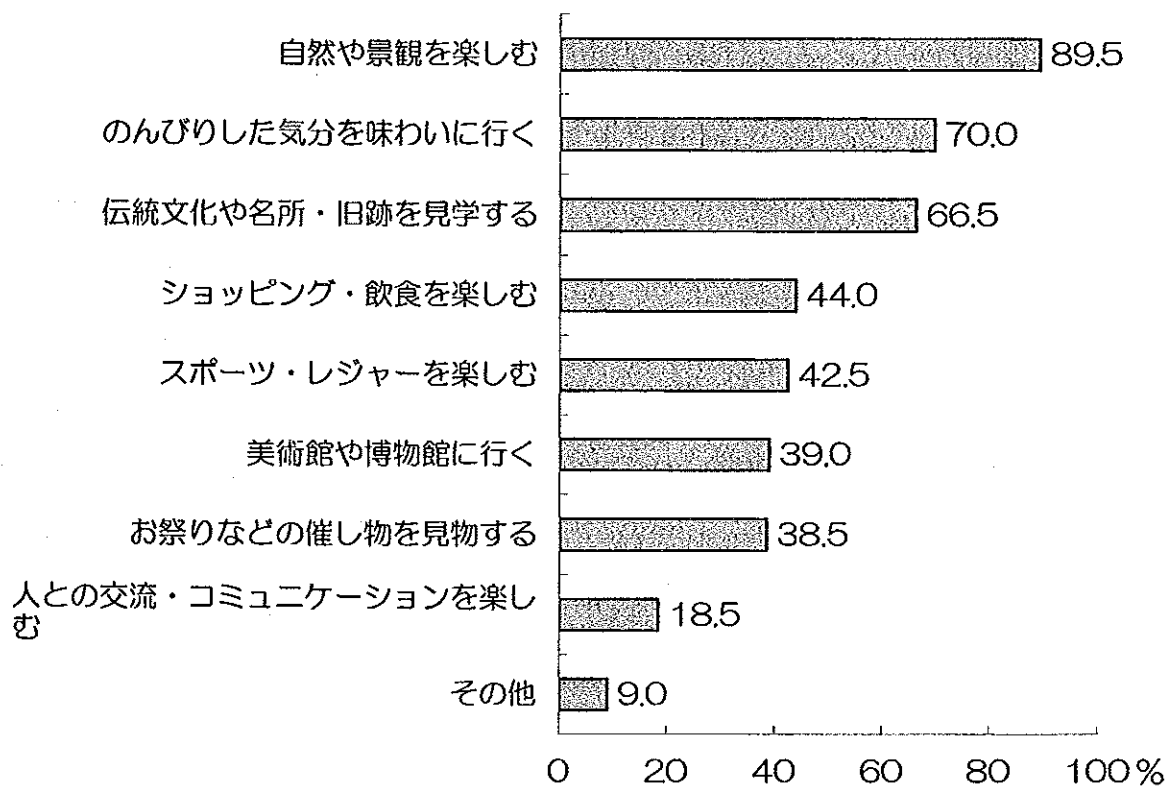
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要 旨

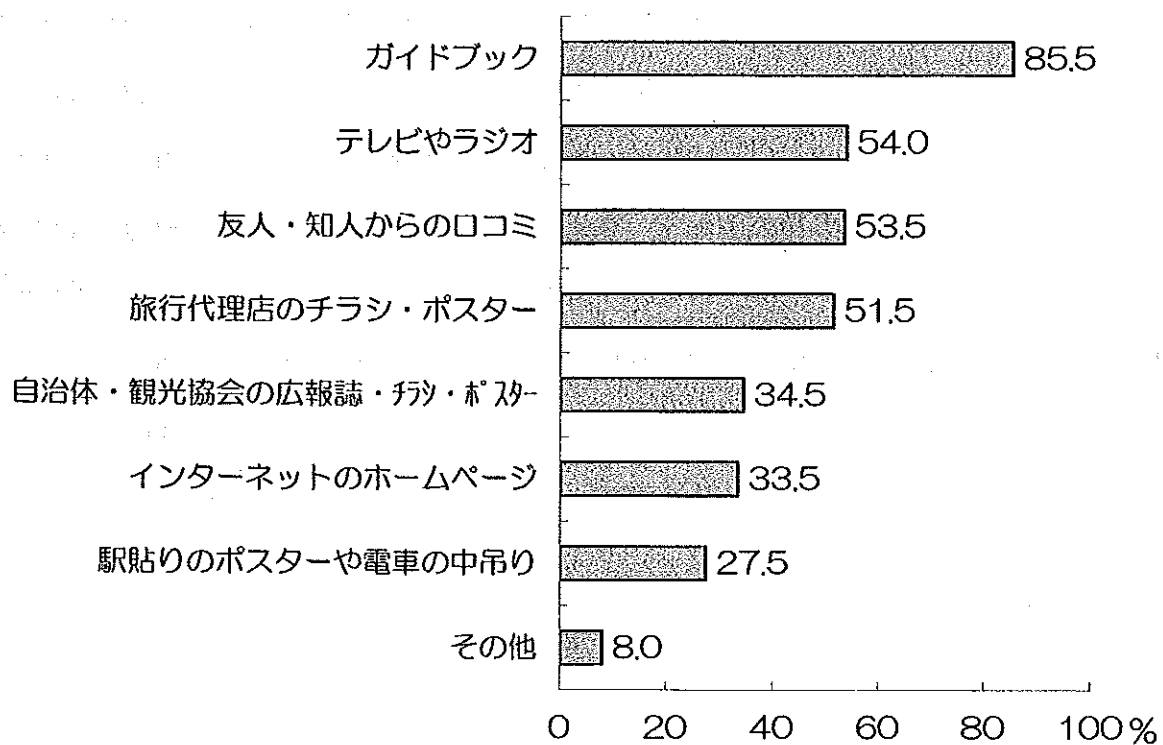
問 1 観光の目的 (複数回答)	「自然や景観を楽しむ」	89.5% (179人)
	「のんびりした気分を味わいに行く」	70.0% (140人)
	「伝統文化や名所・旧跡を見学する」	66.5% (133人)
問 2 観光情報の入手先 (複数回答)	「ガイドブック」	85.5% (171人)
	「テレビやラジオ」	54.0% (108人)
	「友人・知人からの口コミ」	53.5% (107人)
	「旅行代理店のチラシ・ポスター」	51.5% (103人)
問 4 足立区の魅力 (複数回答)	「下町らしい人情味」	47.0% (94人)
	「豊かな水と緑の自然」	45.5% (91人)
	「歴史的な文化財や名所・旧跡」	41.0% (82人)
問 5 足立区内で案内したいところ (複数回答)	「イベント行事(花火大会、足立まつり、千住ギザチックフェアなど)」	60.5% (121人)
	「神社仏閣 (西新井大師、炎天寺など)」	56.0% (112人)
問 7 観光資源の活用、創造 (複数回答)	「各駅ごとに新しい散歩グルコースなど観光ルートの設置」	53.5% (107人)
	「花火大会のような規模の新しいイベントの開始」	51.0% (102人)
	「名所・旧跡など歴史街道の紹介」	46.5% (93人)
問 8 足立区観光協会事業の周知度 (複数回答)	「足立の花火大会」	96.0% (192人)
	「あだちスタンプラリー」	56.5% (113人)
問 9 知りたい近場の観光情報 (複数回答)	「花の名所や見頃の情報」	69.5% (139人)
	「果物狩りなどの情報」	60.0% (120人)
	「遊歩道やハイキングコースの情報」	58.5% (117人)

※ 問3、問6、問10は記述回答のため割愛

問1 あなたは、どのようなことを目的に観光に行くことが多いですか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。



問2 あなたは、観光に行く時、どこから情報を得ていますか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。



問3 観光地では、観光客がより楽しめるように、ガイドや美化活動などいろいろな工夫や取り組みが行われています。今まで観光した中で、あなたの印象に残っている工夫や取り組みがあればお書きください（記述）。

（123人の方から回答をいただきました。その中から主なものを掲載します。）

景観

- ・京都は、昔の寺や仏閣の景観を守るため、あまり高い建物はつくらない（20代、男性）。
- ・神戸は、道案内・街灯・歩道などすべてが雰囲気合うよう統一されていた（30代、女性）。
- ・那須高原では、景観を損ねないために道路沿いの建物は茶系色で建ち、看板も木目調の板を使っている。自然にとってもマッチしていて、気持ちのよい光景だ（30代、女性）。
- ・新潟県柏崎市では、駅前から花壇が整備されていて街に統一感があった（30代、女性）。
- ・上高地では、自然保護のため車の乗り入れや観光バスを規制し、長い間そのままの自然景観を残している（40代、女性）。
- ・湯布院は街全体を民家も含めて統一感をもたせて町並みをつくっている（50代、男性）。

ボランティア、ガイド

- ・鹿児島県を旅行した時、市（もしくは県）のボランティアが西郷隆盛についての説明をしてくれ、町の案内をしてくれた（20代、男性）。
- ・京都市内の観光ボランティアの存在。親切に教えてくれて助かった（30代、女性）。
- ・山形県の山寺では、有料だが、地元の人と一緒に登りながら案内と説明をしてくれた（50代、男性）。

案内、情報

- ・熱海で冬の海上花火を見た。駅や町内放送での案内が見るきっかけになった（20代、女性）。
- ・茨城県や栃木県に行った時、それぞれの施設で県内の遊べる場所や観光地などのパンフレットが豊富に揃えてあり、助かった（30代、女性）。
- ・クーポン券やチラシなどが旅館等にあり、いろいろな情報を得ることができる（30代、女性）。
- ・月島：もんじゃ街の地図の一覧がある。浅草：お店の一覧の地図がある（40代、女性）。
- ・駅前の観光案内所がとても役に立った（希望の飲食店の紹介や観光スポットの割引券をくれた）（40代、女性）。
- ・観光名所の道中で、何か所かに、ボタンを押すと人物や歴史等音声の流れ、説明してくれる（50代、女性）。
- ・出雲に行った時、乗り降りする人が数人の駅にも観光案内所があった（60代、男性）。
- ・うちわに周辺の名所案内がいろいろと書かれていて大変役に立った（70代、女性）。

子ども向け、親子で

- ・その土地の産物を利用した親子体験コーナー（そば打ちなど）が楽しかった（30代、女性）。
- ・魚のつかみ取り、虫取り、野菜の収穫体験、自然工作など子ども向けのプログラムが充実していた（30代、女性）。

－ 問3、次ページにつづく －

－ 問3、前ページからつづき －

ごみ、環境

- ・ドイツ、ツガホルムの観光地のごみ箱の設置方法が印象的であった。ドイツは駅のごみ箱でさえ4分類されており、ツガホルムは数メートルおきに吸殻入れやごみ箱が置かれていた(20代、女性)。
- ・埼玉県日高市の巾着田。トイレは環境に配慮して、木のチップを使った浄化システムを取っている(20代、女性)。
- ・ごみ箱がどこにもなく、ごみは持ち返りくださいとのガイドがあった場所。周囲はごみひとつなく、清潔で、今でも印象に残っている(60代、男性)。
- ・ごみ持ち帰り運動(丹沢では駅でビニール袋を渡された)(60代、女性)。

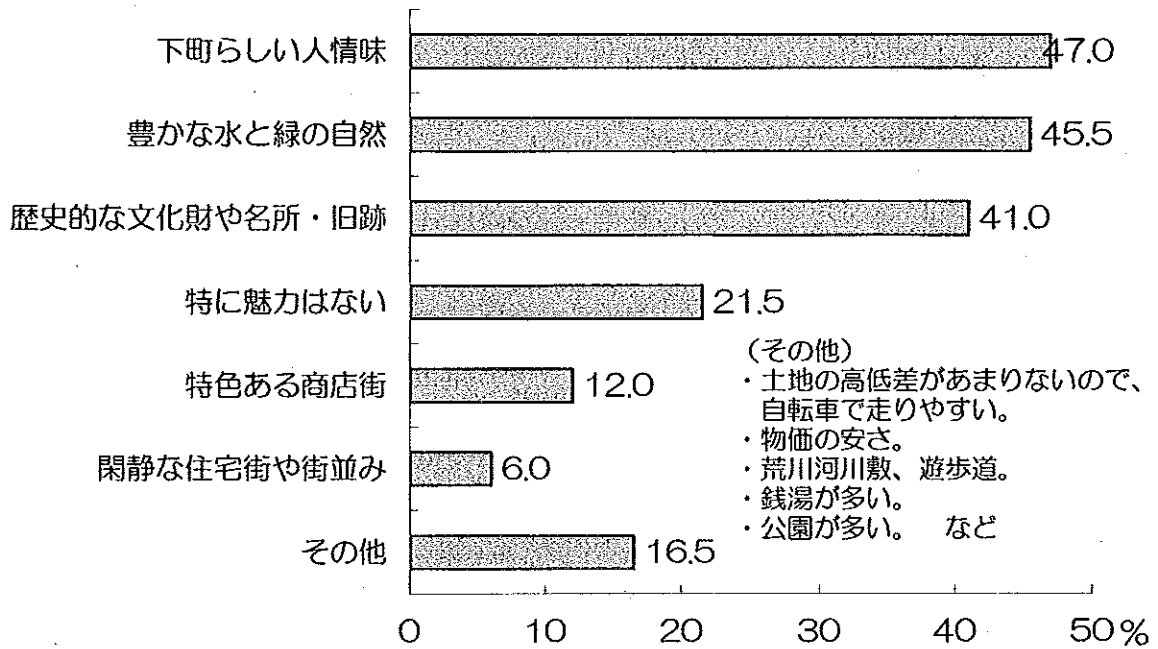
名産品、販売

- ・埼玉県の小川町と花園(どちらも観光地としては有名ではない)で、JAが中心となって地元野菜の販売をしている。多くの客を集めているとのこと(40代、女性)。
- ・町ぐるみで観光客に町の物産品を紹介していた。その町は旧家の屋敷を買い上げ、帰省する人に懐かしいものを提供してくれる(60代、女性)。
- ・新潟県の燕市では土地の名産品の販売宣伝を行っていた(70代、男性)。

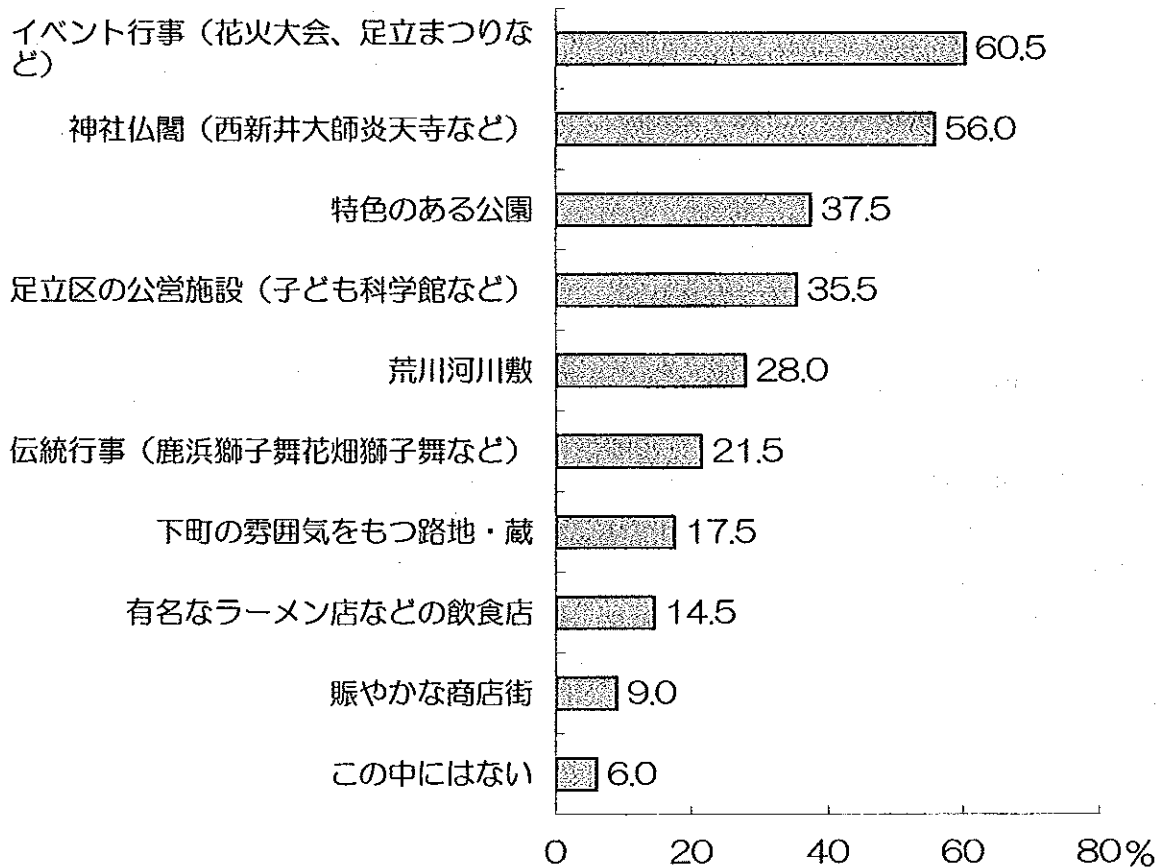
サービス、その他

- ・土、日曜日や連休などで明らかに混雑するような日は、空き地などを利用して臨時駐車場を増設していた(有料で)(20代、女性)。
- ・歴史上の有名人を宣伝材料にして、観光客にアピールしていた(30代、男性)。
- ・スタンプラリーをしながら、コースに沿って名所を回り、地元の人とふれあうことができた(30代、男性)。
- ・車道と歩道を区別するのに花壇があり、オレンジ色と黄色い花を植えてあるところがあった。ドライバーには目立つ色だし、なるほどと思った(30代、女性)。
- ・貸し自転車があり、どこに行くにも交通手段が記されていた(30代、女性)。
- ・高山、木曾路、津和野など古い街並みをもっているところの人達の「自分達の街への愛情」の精神に学ぶべきところがある。文化施設のあるなしではなく、そこに住む人達の心意気が大切だ(40代、男性)。
- ・川越に行った時、地元のバス会社と市の提携によるマイクロバスを利用した。団体であれば「川越ー東京」間を送迎してくれ、地元のガイドがそのバスに添乗してくれるなど、観光に必要な足と案内と観光名所を結びつけた参考になる取り組みだ(60代、男性)。
- ・福井市一乗谷の「朝倉氏遺跡」に行った時、下車駅(無人駅)で無料の貸し自転車が用意されていた。整備されたコースや風景は快適であった(70代、女性)。

問4 あなたは、区外に向かってアピールできる足立区の魅力はどのようなことだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。



問5 区外から親戚や友人・知人が来た時、あなたは、足立区内のどのようなところを案内したいですか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。



問6 問5の選択肢に挙げたもの以外で、あなたが観光地としてPRしたい、もしくは観光客を誘致できると思う区内の場所・もの・催しなどがあれば、下記の各テーマごとに具体的にあげてください。また、その理由もあげてください。

◎自然・景観、名所・旧跡、伝統文化（93人の方が回答。主なものを掲載。）

名 称	主 な 理 由
(1)西新井大師（14人）	(1)知名度がある。四季の花が咲いて楽しませてくれる。牡丹・藤がきれい。
(2)都市農業公園（12人）	(2)子連れで軽めの運動ができ、川や花も楽しめる上、カルチャースクールもある。心が和む。
(3)舎人公園（7人）	(3)広くて静かで自然が多い。水遊びやバーベキューなどができる。大人や子どもが1日楽しめる。
(4)桜花亭・花畑記念公園（7人）	(4)静かで落ち着ける。回遊庭園が素晴らしい。日常を忘れさせてくれる公園。交通の便もよい。
(5)五色桜など桜の名所（4人）	(5)区内のあちこちにあり、満開時は素晴らしい。
(6)菖蒲沼公園（4人）	(6)4月の桜、6月の菖蒲がきれいだ。
(7)千住界限（4人）	(7)芭蕉ゆかりの地。七福神めぐり。旧宿場町。
(8)区役所（4人）	(8)最上階から区内を一望できる。
(9)ベルモント公園（3人）	(9)モダンでおしゃれな公園。黒鳥を観察できる。
(10)生物園（3人）	(10)蝶の温室、蛍のタベがよい。
(11)大鷲神社（3人）	(11)歴史が古い。酉の市発祥の地。
(12)東綾瀬公園（3人）	(12)自然豊か。子どもを遊ばせるのに絶好の場所。
(その他)	葛西用水親水水路、郷土博物館、荒川、スーパー堤防、千住の銭湯 千草園、北綾瀬公園、飯塚橋から見る景観 など

◎飲食、ショッピング（62人の方が回答。主なものを掲載。なお、個人商店名等は掲載できませんので、「安売り店」、「焼肉店」のようにまとめました。）

名 称	主 な 理 由
(1)北千住駅周辺（12人）	(1)昔ながらの店も新しい店も蔵も入り混じっている。下町らしいショッピングアーケードがある。
(2)北千住駅ビル（9人）	(2)便利で買い物がか所で済む。広さがちょうどよい。
(3)スーパー（5人）	(3)品揃えが豊富。安いものがある。
(4)安売り店（5人）	(4)テレビでも紹介していた激安のお店がある。
(5)関原商店街（4人）	(5)野菜・果物が安い。生鮮食料品の安い店が並ぶ。
(6)西新井大師（3人）	(6)下町の情緒溢れる場所。昔の懐かしさを味わえる。
(7)焼肉店（3人）	(7)安くて新鮮でおいしい。味も本格的。
(その他)	お好み焼き屋、フランス料理店、居酒屋、朝市、綾瀬駅ガード下 綾瀬飲食店街、衣料品店、ラーメン屋、カバン工房、ケーキ屋など

— 問6、次ページにつづく —

－ 問6、前ページからつづき －

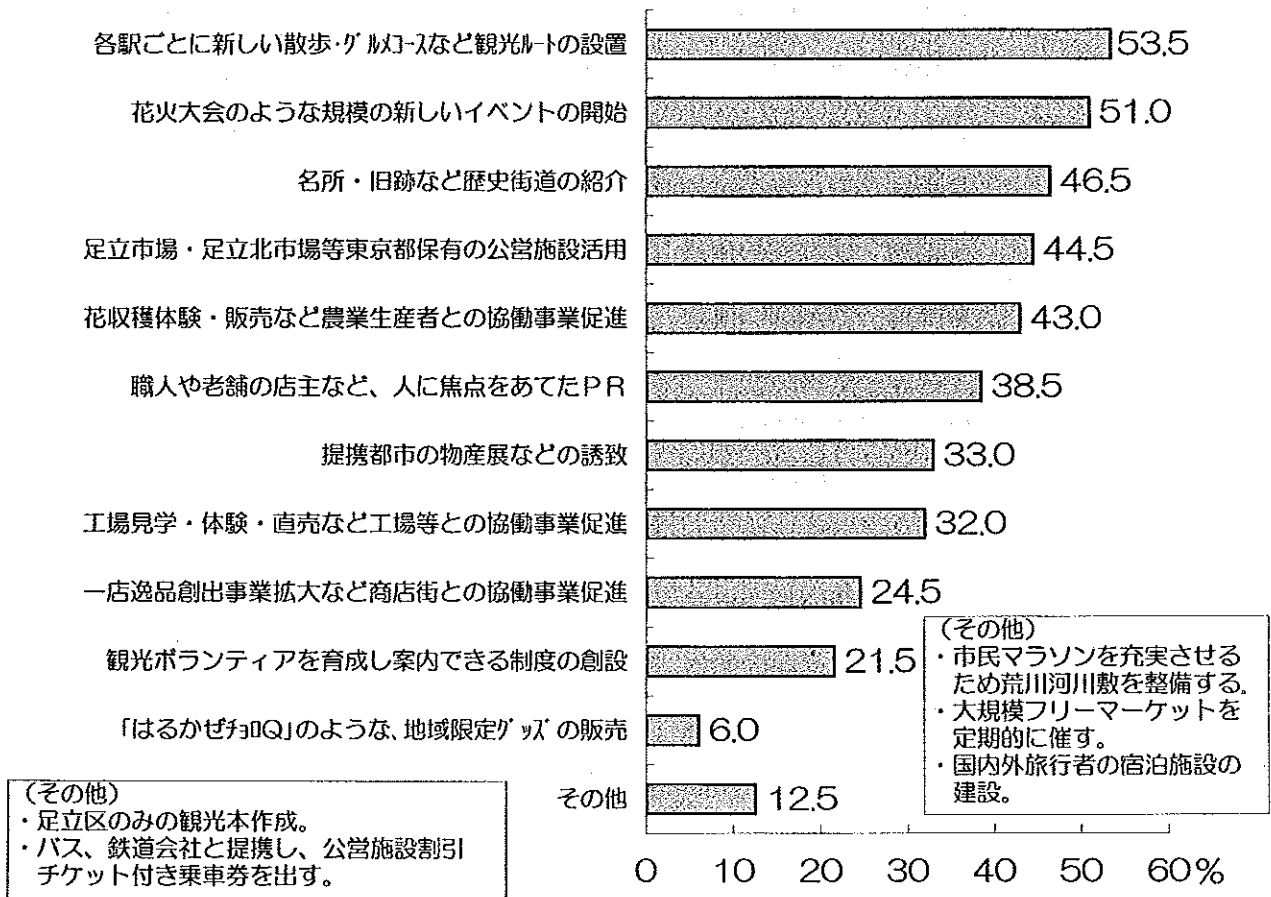
◎レジャー、催し物（59の方が回答。主なものを掲載。）

名 称	主 な 理 由
(1)足立の花火大会（22人） (2)ギャラクシティ（7人） (3)足立まつり（4人） (4)西新井大師（3人）	(1)花火の量も質もよい。河川敷の花火は気持ちがよい。 (2)設備が整った会場でコンサートなどが見られる。 (3)圧倒的な人々を参集させる規模のイベント。 (4)縁日、骨董市。楽しく過ごすことができる。
(その他) 盆おどり、ごぼう市、大鷲神社の獅子舞、ラモス選手によるサッカー教室 舎人公園でのフリーマーケット・バザーの開催、足立七福神めぐり など	

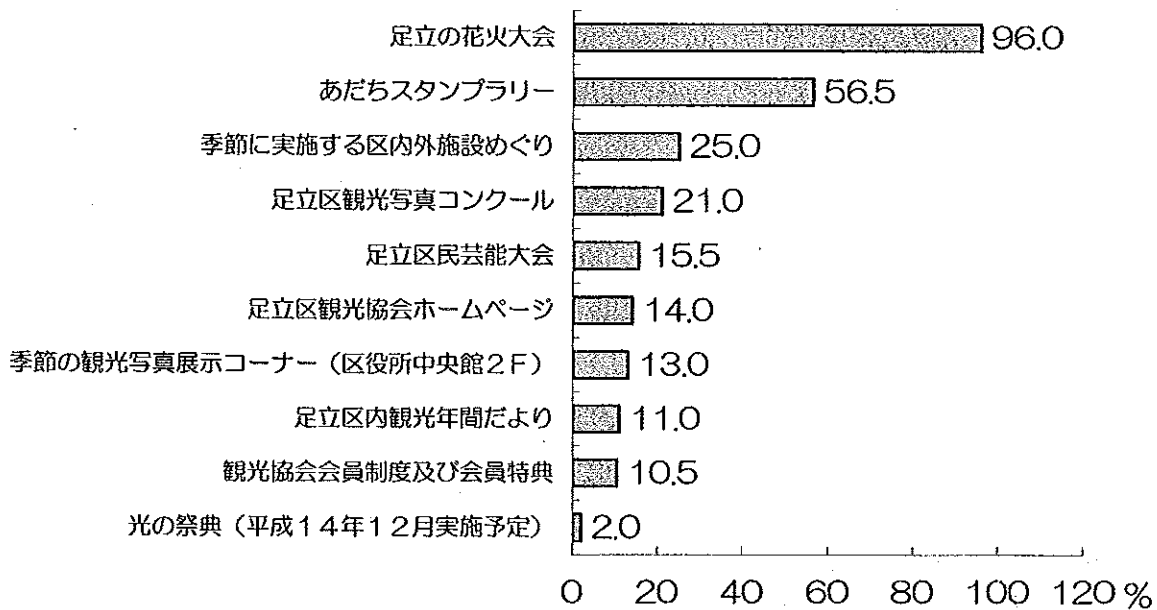
◎その他（39の方が回答。主なものを掲載。）

名 称	主 な 理 由
(1)舎人公園（8人） (2)区内の温泉（2人） (3)都市農業公園（2人） (4)東京武道館（2人）	(1)広くて、大人も子どもものんびりできる。 (2)区内の温泉ということでみんな珍しく喜んでいる。 (3)花の咲く頃は見事だ。散策して楽しめる。 (4)有名選手と出会うことができる。
(その他) 足立スタンプラリー、花畑界隈の桜と紅葉、荒川土手、親水公園が多い 北野武や尾崎豊のゆかりの場所、長屋門 など	

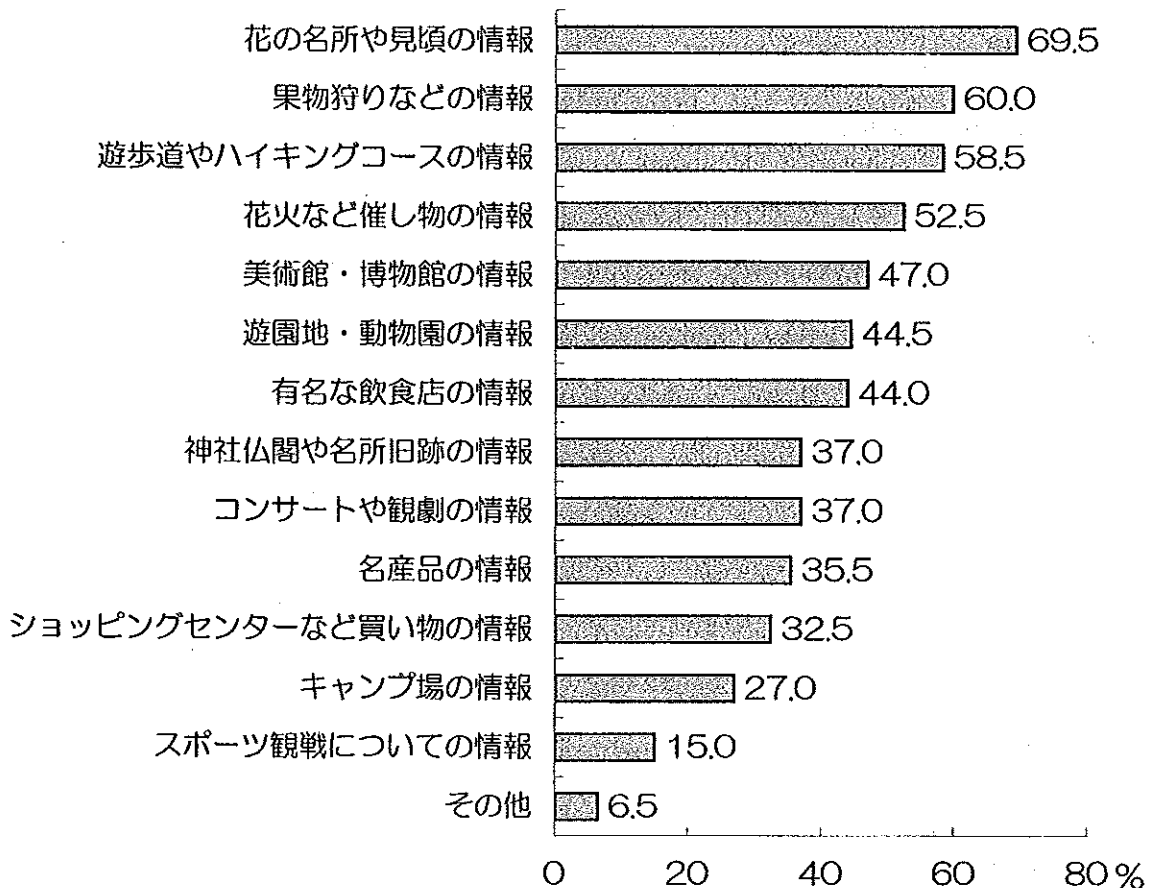
問7 足立区を全国的に紹介し、観光客を誘致するためには、今後、どのように足立の観光資源を活用・創造してゆけばよいとお考えになりますか。次の中から5つまで選んでください（〇は5つまで）。



問8 足立区観光協会では次のような事業を行っています。あなたが知っている、もしくは参加した（見た・やった）ことがあるものをいくつでもあげてください（〇はいくつでも）。



問9 足立区観光協会では、常磐線や東武線などの鉄道沿線の自治体や観光協会と相互情報収集事業を始めています。あなたは、日帰りで行けるような近場の観光情報では、特にどのようなことが知りたいですか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。



問10 足立区の観光について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください(自由回答)。

主な意見・要望

- ・ 改めて「足立の観光」を考えた時、すぐには思い浮かばなかった。横浜なら「みなとみらい」等、他の所はすぐに思い浮かんだのだが。それを考えると、足立区の交通アクセスと広報の弱さが問題ではないかと考える。例えば、各駅にイベント情報・名所旧跡ガイドの設置や大型店舗での物産展を開いてはどうか。また、スーパーに買い物に行く際に、目の触れるところに足立区の何かがあればよいのではないかと。(20代 女性)
- ・ 北千住駅が大幅に変わるのを機会に、北千住駅を中心とした観光案内施設ができれば、いろいろな人達にアピールできるのではないかと。また、名所と言われる所はどこも交通の便が悪い。名所を巡るバス(はるかぜ名所版、のような)を日曜毎に走らせれば、区外だけでなく区内の人にも利用してもらえるのではないかと。(20代 女性)
- ・ 今から新たに観光名所をつくらうとしても無理がある。既存の名所をもっと活性化した方がよい。存在は知っていても、どんな所でどんな事しているのか分からない、という施設も多い。特色のあるイベントを行い、気軽に利用できるような宣伝もほしい。北千住の蔵めぐりのイベントなどがよい例だ。もっと大々的に宣伝してもよい。(20代 女性)
- ・ 足立区内のみでは無理があるので、周辺の川口市、草加市、荒川区、葛飾区などといっしょに地域としてPRしてはどうか。(30代 男性)
- ・ 西新井大師は有名なので、その付近の散歩コースなどをPRする。大師付近の店は、雰囲気合った街並みをつくるよう努力する。荒川でのイベントを増やす。各神社仏閣での祭り情報を駅ポスターなどで知らせる。「観光年間だより」を駅で配布する。(30代 女性)
- ・ 観光に力を入れるなら、もっと情報を配信する事が大切だ。観光年間だよりに載っている行事さえ知らない人が多い。花火大会や足立まつりでさえ、直前になっても日時を知らない人が多くいる。地元の人さえよく分からない情報では、区外の人にアピールするのは難しい。例えば、ポスターなどを区内外各所に貼り出すのもよい。(30代 女性)
- ・ 宿泊施設も目立った観光施設もないので、遠方からわざわざ来る魅力に欠けている。足立区全体を通して、「観光地」と呼べるような工夫が必要ではないのか。公園や緑が多いので、自然保護に力を入れて、「のんびり過ごせる足立区」をPRするのもよい。(30代 女性)
- ・ 足立区が観光を考えているというのに驚いた。というのも、そういう姿勢が政策や広報に見えてこなかったから。花(特に桜)を植えるなど長期的に見ていく必要もある。高齢者もこれから増えるので、観光とバリアフリーの問題は表裏の関係だ。(30代 女性)

- ・ 資料の「観光だより」をはじめて手に取ったが、がっかりした。もっと情報量を多くし、眺めているだけでも楽しく、行きたいと思わせるものになければならない。すばらしい行事や施設は多いので、あとはケーブルテレビやPR紙などでの情報の広め方だ。(30代 女性)
- ・ “足立区=下町”に関して、そのイメージは強いし、限定されたイメージだからこそ魅力的であれば十分に観光スポットとなりうる。駅にも近く、再開発されるメリットをもっと生かすべきだ。今は中途半端でもったいない。旧道辺りをもっと特色付けたらよい。(30代 女性)
- ・ マスコミを継続して活用すべきだ。観光企画のプロの助言も必要だ。足立区と同タイプの自治体の成功している活動実績を研究することも不可欠だ。区出身の著名人を区の「顔」として活用すべきだ。実質も大事だが、イメージづくりももっと大切だ。(40代 男性)
- ・ 大きなイベントに付随して、その前後に、神戸や丸の内イルミネーションのように何かアピールできるものをつくる。例えば、荒川の花火大会の前後に千住新橋や近辺の橋をライトアップやイルミネーションで飾るなど。(40代 男性)
- ・ 既存の意味における観光という視点では、現状の足立区では大変弱い。観光という概念を打ち破る新たな視点で「足立の観光」を確立していく必要がある。夏休みや土・日曜日など休日の小中学校の校舎を、地方の親子連れのための宿泊施設として提供するなど、都心に近く人情味のある土地柄を地方の人達に知ってもらう方策はいろいろとある。(40代 男性)
- ・ 小中学校でもっと区の事を勉強させ、遠足もなるべく区の施設を利用するようにすれば、観光資源の利用者増につながるのではないか。全国的に紹介する事も大切だが、まず地元で観光客増加に努めてはどうか。(40代 女性)
- ・ 足立の花火大会は、子どもから高齢者まで楽しめる、素晴らしいイベントに定着している。「足立といえば西新井大師」というイメージでは、青年層には遠い存在になってしまう。青年層が集まるショッピングセンター、飲食街、イベントなどを考えてほしい。(40代 女性)
- ・ 北千住に安価の宿泊施設がほしい。そこから区内観光の新コースを回れるとよい。バスを利用する方法がもっとあると、気軽に、安く遊びに来てもらえる。観光協会に新コースプロジェクトはできないのか。(40代 女性)
- ・ 1人でも多くの友人、知人を呼べるよう、区内に安価な宿泊施設の設置を考えてほしい。また、区が大きい割にコンサートなどのできるホールが少なすぎる。文化の興隆は区のパロメーターだと思う。歴史からいっても、力的にいってもそれができる区だ。(40代 女性)
- ・ 公園が多い足立区はこの事も観光資源である。海外でもエコ・ツアーが流行っており、都内の身近なところにあってもよい。これがもとになり、環境意識の高まりにつながる事を示すことが大切だ。(50代 男性)

- ・ 1つ1つの公園はよいが、その周辺が未整備のため美しいとは言えない。散歩コースとして周りを美化していけばよい。公営施設をもっとPRし、観光の1つにすればよい。
(50代 女性)
- ・ 他区から橋を渡って帰って来た時、「私は自然に恵まれて暮らしている」とほっとする。また、人から荒川河川敷のこともよく聞かれる。もっと、水上観光や伝統技術の紹介、お寺めぐりに力を入れるとよい。
(50代 女性)
- ・ 足立区には誇れる名所旧跡はない。それだけに観光客を集めるのは難しい。安い宿泊施設をつくるとか、商店街を思いきって木曾路のような昔の宿場町風につくり変えてはどうか。ここでは買い物もでき、宿泊もできる。そういう地域をつくるような工夫が必要だ。千住も昔は宿場町なので、それを再現すれば面白くなる。
(50代 女性)
- ・ 全国的に紹介する前に区民に周知させることが大事だ。ほとんどの人が区内の観光施設・名所に行ったことがないのではないか。「区内観光地めぐり」を実施し、区民に「ふるさと足立」をもっと知ってもらうことが先決だ。そこから大きな広がりが期待できる。(60代 男性)
- ・ 観光ボランティア制度の創設を望む。私案だが、その際、あしだち大学の卒業生を観光ボランティアとして育成したらよいのではないか。
(60代 男性)
- ・ 世界各国の料理店を集めてグルメタウンを開発する。また、舎人公園という広大な場所があるのだから、フリーマーケットやバザー、古本市、骨董市、地場の花や野菜の販売などいろいろな活用策を検討したい。
(60代 男性)
- ・ 足立区は従来型の観光資源の掘り起こしより、次の2点の充実に目を向けるべきと考える。
1. 大道芸広場(大道芸人の芸が観られる所)。都が大道芸人の認証を行い大道芸が公になってきた。この機会に下町北千住に大道芸を定着させたらどうか。他区より先に手がけるのが大切だ。
2. サイクリングロードの充実。荒川の豊かな水・緑の自然を中心に、区内にサイクリングロードの充実を図る。
(60代 男性)
- ・ なぜ、今、観光事業なのか。どこへ行っても特色がなく、目新しさがない。また、区外から来訪者があっても、区内にはシティホテルなどがいないので、区外で宿泊することになり収益につながらない。
(60代 女性)
- ・ PRの方法として、各駅(JR、東武鉄道)に略図入りのパンフレット、小冊子を置くようにしてはどうか。
(60代 女性)
- ・ 現在の最大の課題は、地球の温暖化を防ぎ、都心のヒートアイランド現象を緩和するため、「みどり」を増やし、省エネに努めることである。観光協会もこの点に視座を移して「みどり」の観光資源を発掘・創出し、区の環境行動指針、都の温暖化阻止の一翼を担うべきだ。
(70代 男性)

平成14年度 第2回区政モニターアンケート

《 足立の観光 》

モニター番号 _____ 番

足立区は、東京都の中でも漠然とした「下町」のイメージしかありません。しかし、実際に下町的な雰囲気を持しているのは、北千住を中心とした地域に限定されています。また、観光資源としても西新井大師などはあるものの、足立区を今後、どのように全国的に紹介し、観光客を誘致していくかが大きな課題となっています。

このようなことから、「足立の観光」について区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、今後の足立の観光施策を検討する上での参考にさせていただきたいと思っております。

よろしくご協力をお願いいたします。

問1 あなたは、どのようなことを目的に観光に行くことが多いですか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。

- (1) 自然や景観を楽しむ
- (2) スポーツ・レジャーを楽しむ
- (3) 伝統文化や名所・旧跡を見学する
- (4) ショッピング・飲食を楽しむ
- (5) 人との交流・コミュニケーションを楽しむ
- (6) お祭りなどの催し物を見物する
- (7) 美術館や博物館に行く
- (8) のんびりした気分を味わいに行く
- (9) その他（具体的に_____）

問2 あなたは、観光に行く時、どこから情報を得ていますか。次の中からいくつでも選んでください（〇はいくつでも）。

- (1) ガイドブック
- (2) テレビやラジオ

— 問2、次ページに続く —

－ 問2、次ページから続き －

- (3) 駅貼りのポスターや電車の中吊り
- (4) 旅行代理店のチラシ・ポスター
- (5) 自治体・観光協会の広報誌・チラシ・ポスター
- (6) インターネットのホームページ
- (7) 友人・知人からの口コミ
- (8) その他（具体的に－

問3 観光地では、観光客がより楽しめるように、ガイドや美化活動などいろいろな工夫や取り組みが行われています。今まで観光した中で、あなたの印象に残っている工夫や取り組みがあればお書きください（記述）。

問4 あなたは、区外に向かってアピールできる足立区の魅力はどのようなことだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- (1) 下町らしい人情味
- (2) 豊かな水と緑の自然
- (3) 閑静な住宅街や街並み
- (4) 特色のある商店街
- (5) 歴史的な文化財や名所・旧跡
- (6) 特に魅力はない
- (7) その他（具体的に－

問5 区外から親戚や友人・知人が来た時、あなたは、足立区内のどのようなところを案内したいですか。次の中からいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- (1) 荒川河川敷
- (2) 特色のある公園
- (3) 有名なラーメン店などの飲食店

－ 問5、次ページに続く －

— 問5、次ページから続き —

- (4) 賑やかな商店街
- (5) 下町の雰囲気をもつ路地・蔵
- (6) 神社仏閣（西新井大師、炎天寺など）
- (7) 足立区の公営施設（子ども科学館、郷土博物館、生物園など）
- (8) イベント行事（花火大会、足立まつり、千住エキゾチックフェアなど）
- (9) 伝統行事（鹿浜獅子舞、花畑獅子舞、酉の市、一茶まつり、千住七福神めぐりなど）
- (10) この中にはない

問6 問5の選択肢に挙げたもの以外で、あなたが観光地としてPRしたい、もしくは観光客を誘致できると思う区内の場所・もの・催しなどがあれば、下記の各テーマごとに具体的にあげてください。また、その理由もあげてください（記述）。

◎自然・景観、名所・旧跡、伝統文化

名 称 ()

理 由 ()

◎飲食、ショッピング

名 称 ()

理 由 ()

◎レジャー、催し物

名 称 ()

理 由 ()

◎その他

名 称 ()

理 由 ()

問7 足立区を全国的に紹介し、観光客を誘致するためには、今後、どのように足立の観光資源を活用・創造してゆけばよいとお考えになりますか。次の中から5つまで選んでください（〇は5つまで）。

— 問7、次ページに続く —

－ 問7、次ページから続き －

- (1) 各駅ごとに新しい散歩・グルメコースなど観光ルートの設置
- (2) 名所・旧跡など歴史街道の紹介
- (3) 観光ボランティアを育成し、案内できる制度の創設
- (4) 地場野菜・花の収穫体験・販売など、農業生産者との協働事業の促進
- (5) 一店逸品創出事業(※)の拡大など、商店街との協働事業の促進
※一店逸品創出事業 = 小規模店の強みや特徴などを生かし、オリジナル性の高い製品やサービスを開発する事業
- (6) 工場見学・体験・直売など、工場等との協働事業の促進
- (7) 提携都市(※)の物産展などの誘致
※提携都市 = 長野県山ノ内町、新潟県小出町、栃木県鹿沼市
西オーストラリア州ベルモント市
- (8) 花火大会のような規模の新しいイベントの開始
- (9) 市場まつりなど、足立市場・足立北市場等の東京都保有の公営施設の活用
- (10) 「はるかぜチョコロQ」のような、地域限定グッズの販売
- (11) 伝統の技を持った職人や老舗の店主など、人に焦点をあてたPR
- (12) その他 ()

問8 足立区観光協会(※)では次のような事業を行っています。あなたが知っている、もしくは参加した(見た・やった)ことがあるものをいくつでもあげてください(〇はいくつでも)。

※足立区観光協会＝別添資料「足立区内観光年間だより」のご案内のとおり

- (1) あだちスタンプラリー
- (2) 季節に実施する区内外施設めぐり
- (3) 足立区民芸能大会
- (4) 足立の花火大会
- (5) 足立区観光写真コンクール
- (6) 季節の観光写真展示コーナー(区役所中央館2F)
- (7) 光の祭典(平成14年12月実施予定)
- (8) 足立区内観光年間だより
- (9) 観光協会会員制度及び会員特典
- (10) 足立区観光協会ホームページ

集 計 表						(%)
足 立 の 観 光	全 員	性 別		年 齢 別		
		男	女	40歳未満	40歳以上	
回 答 者 数 (人)	200	63	137	98	102	
問1 観光の目的 (複数回答) N=200						
1 自然や景観を楽しむ	89.5	92.1	88.3	83.7	95.1	
2 スポーツ・レジャーを楽しむ	42.5	25.4	50.4	62.2	23.5	
3 伝統文化や名所・旧跡を見学する	66.5	76.2	62.0	51.0	81.4	
4 ショッピング・飲食を楽しむ	44.0	41.3	45.3	57.1	31.4	
5 人との交流・コミュニケーションを楽しむ	18.5	15.9	19.7	10.2	26.5	
6 お祭りなどの催し物を見物する	38.5	39.7	38.0	38.8	38.2	
7 美術館や博物館に行く	39.0	38.1	39.4	29.6	48.0	
8 のんびりした気分を味わいに行く	70.0	63.5	73.0	73.5	66.7	
9 その他	9.0	6.3	10.2	5.1	12.7	
問2 観光情報の入手先 (複数回答) N=200						
1 ガイドブック	85.5	82.5	86.9	88.8	82.4	
2 テレビやラジオ	54.0	46.0	57.7	53.1	54.9	
3 駅貼りのポスターや電車の中吊り	27.5	27.0	27.7	21.4	33.3	
4 旅行代理店のチラシ・ポスター	51.5	54.0	50.4	48.0	54.9	
5 自治体・観光協会の広報誌・チラシ・ポスター	34.5	38.1	32.8	21.4	47.1	
6 インターネットのホームページ	33.5	30.2	35.0	39.8	27.5	
7 友人・知人からの口コミ	53.5	49.2	55.5	44.9	61.8	
8 その他	8.0	14.3	5.1	6.1	9.8	
問4 足立区の魅力 (複数回答) N=200						
1 下町らしい人情味	47.0	44.4	48.2	41.8	52.0	
2 豊かな水と緑の自然	45.5	41.3	47.4	39.8	51.0	
3 閑静な住宅街や街並み	6.0	3.2	7.3	8.2	3.9	
4 特色ある商店街	12.0	11.1	12.4	11.2	12.7	
5 歴史的な文化財や名所・旧跡	41.0	52.4	35.8	18.4	62.7	
6 特に魅力はない	21.5	25.4	19.7	26.5	16.7	
7 その他	16.5	14.3	17.5	15.3	17.6	
問5 足立区内で案内したいところ (複数回答) N=200						
1 荒川河川敷	28.0	34.9	24.8	19.4	36.3	
2 特色のある公園	37.5	31.7	40.1	32.7	42.2	
3 有名なラーメン店などの飲食店	14.5	11.1	16.1	23.5	5.9	
4 賑やかな商店街	9.0	9.5	8.8	9.2	8.8	
5 下町の雰囲気をもつ路地・蔵	17.5	20.6	16.1	11.2	23.5	

集 計 表

(%)

足 立 の 観 光	全員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
6 神社仏閣（西新井大師、炎天寺など）	56.0	58.7	54.7	41.8	69.6
7 足立区の公営施設（子ども科学館、郷土博物館、生物園など）	35.5	34.9	35.8	30.6	40.2
8 イベント行事（花火大会、足立まつり、千住エキゾチックフェアなど）	60.5	52.4	64.2	60.2	60.8
9 伝統行事（鹿浜獅子舞、花畑獅子舞、酉の市、一茶まつり、千住七福神めぐりなど）	21.5	22.2	21.5	11.2	31.4
10 この中にはない	6.0	6.3	5.8	9.2	2.9
問7 観光資源の活用・創造（複数回答） N=200					
1 各駅ごとに新しい散歩・ゲルコースなど観光ルートの設置	53.5	42.9	58.4	56.1	51.0
2 名所・旧跡など歴史街道の紹介	46.5	52.4	43.8	32.7	59.8
3 観光ボランティアを育成し、案内できる制度の創設	21.5	27.0	19.0	12.2	30.4
4 地場野菜・花の収穫体験・販売など、農業生産者との協働事業の促進	43.0	31.7	48.2	44.9	41.2
5 一店逸品創出事業の拡大など、商店街との協働事業の促進	24.5	36.5	19.0	18.4	30.4
6 工場見学・体験・直売など、工場等との協働事業の促進	32.0	22.2	36.5	34.7	29.4
7 提携都市の物産展などの誘致	33.0	41.3	29.2	27.6	38.2
8 花火大会のような規模の新しいイベントの開始	51.0	47.6	52.6	55.1	47.1
9 市場まつりなど、足立市場・足立北市場等の東京都保有の公営施設の活用	44.5	44.4	44.5	40.8	48.0
10 「はるかぜチョコQ」のような、地域限定グッズの販売	6.0	7.9	5.1	7.1	4.9
11 伝統の技を持った職人や老舗の店主など、人に焦点をあてたPR	38.5	34.9	40.1	37.8	39.2
12 その他	12.5	14.3	11.7	14.3	10.8
問8 足立区観光協会事業の周知度（複数回答） N=200					
1 あだちスタンプラリー	56.5	57.1	56.2	53.1	59.8
2 季節に実施する区内外施設めぐり	25.0	27.0	24.1	9.2	40.2
3 足立区民芸能大会	15.5	23.8	11.7	5.1	25.5
4 足立の花火大会	96.0	95.2	96.4	96.9	95.1
5 足立区観光写真コンクール	21.0	25.4	19.0	9.2	32.4
6 季節の観光写真展示コーナー（区役所中央館2F）	13.0	14.3	12.4	5.1	20.6

集 計 表						(%)
足 立 の 観 光	全 員	性 別		年 齢 別		
		男	女	40歳未満	40歳以上	
7 光の祭典(平成14年12月実施予定)	2.0	1.6	2.2	2.0	2.0	
8 足立区内観光年間だより	11.0	15.9	8.8	3.1	18.6	
9 観光協会会員制度及び会員特典	10.5	12.7	9.5	5.1	15.7	
10 足立区観光協会ホームページ	14.0	14.3	13.9	11.2	16.7	
問9 知りたい近場の観光情報(複数回答) N=200						
1 遊歩道やハイキングコースの情報	58.5	61.9	56.9	48.0	68.6	
2 花の名所や見頃の情報	69.5	71.4	68.6	57.1	81.4	
3 果物狩りなどの情報	60.0	44.4	67.2	74.5	46.1	
4 キャンプ場の情報	27.0	17.5	31.4	42.9	11.8	
5 遊園地・動物園の情報	44.5	23.8	54.0	65.3	24.5	
6 美術館・博物館の情報	47.0	49.2	46.0	33.7	59.8	
7 名産品の情報	35.5	41.3	32.8	30.6	40.2	
8 有名な飲食店の情報	44.0	33.3	48.9	49.0	39.2	
9 ショッピングセンターなど買い物の情報	32.5	15.9	40.1	38.8	26.5	
10 花火など催し物の情報	52.5	42.9	56.9	56.1	49.0	
11 スポーツ観戦についての情報	15.0	25.4	10.2	10.2	19.6	
12 コンサートや観劇の情報	37.0	38.1	36.5	22.4	51.0	
13 神社仏閣や名所旧跡の情報	37.0	54.0	29.2	22.4	51.0	
14 その他	6.5	6.3	6.6	5.1	7.8	

※ 問3、問6、問10は記述回答のため割愛

1 アンケート集計結果の今後の活用

【経済観光課の説明】 一般的に「観光」という言葉を聞いたときには、名所旧跡、歴史的なお祭り、伝統芸能、自然景観、温泉などといった「旅行」と結びついてイメージされることが多い。その意味では、足立区は観光資源が少ないと感じるかもしれませんが、しかし、観光を単なる旅行の目的として捉えることに加え、自分の住む地域を再発見したり、地域経済を活性化していく手段として捉えた時、足立区ならではの観光資源がたくさんあるといえるのではないのでしょうか。

加えて、足立区には、東武伊勢崎線、営団地下鉄日比谷線・千代田線、JR常磐線、京成本線なども通っており、北千住駅の乗降客は都内でも有数であるにもかかわらず、通過するだけで町に降りない傾向にあります。足立区の直面する課題は、これらの日々通過していく人々にいかに下車して区内を歩いていただき、区内での消費活動を引き出し、経済効果を波及させていくか、ということにあります。

今回の調査に基づき、足立区としては、足立区の持つ強みや弱みを再発見するとともに、区全体として、だれをどのように呼び込み、どのような方法で売り出していかを検討し、地域経済の活性化を図っていきたいと考えています。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

観光資源の活用・創造について

・本アンケート設問7の集計結果をふまえて

【経済観光課の説明】 足立区は、従来までの「観光旅行」という観点からみると、それだけで観光客を呼ぶことができる「観光資源」は西新井大師以外に少ないのが現状です。観光協会としては、今年は区制70周年記念事業として、(仮称)光の祭典事業(詳細は後述します)を開始する予定ですが、今後このような大規模なイベントを新しく開始することはたいへん難しい状況にあります。東京都という大都市の中であって、足立区にしかない特徴を引き出し、限られた地域でしか知られていないような、「隠れた」観光資源に積極的に光をあて、季節や場所、内容をうまくコーディネートすることで観光資源化を促進し、活用していきます。

相互情報収集事業について

・本アンケート設問9の集計結果をふまえて

【経済観光課の説明】 今まで、鉄道やバス交通網を共有している自治体間においては、鉄道等の乗客が相互に潜在的な観光客であるにもかかわらず、その保有している観光情報を積極的には交換していませんでした。その結果、区民や沿線自治体の市民は、情報誌・ロコミや駅貼りポスターなどから限られた情報しか手に入らず、相互の観光事業やイベント等に出かける機会があまりありませんでした。平成14年7月、足立区では、沿線自治体に協議会等の設立を呼びかけ、協力体制づくりに着手しました。今後は、まず共通課題を抽出し、相互に観光情報を提供、共有した上で、共同PRや共同事業などへ展開させ、住民同士が相互に行き来できるような「人の流れ」を作り出していきます。

～問10 自由回答の集計結果をふまえて～

なぜ、今、観光事業なのか（主な意見）

・なぜ、今、観光事業なのか（60代 女性）

【経済観光課の説明】 今まで観光事業というと、いわゆる「名所等の観光地めぐり、温泉旅行」をイメージしてきました。しかし、その意味においては、足立区では観光地と呼べるものはたいへん限られています。今後は、観光を単なる旅行の目的として捉えることに加え、自分の住む地域にある様々な資源を再発見したり、地域産業や経済を活性化していく手段として捉えていきます。

宣伝PRについて（主な意見）

・観光に力を入れるなら、もっと情報を配信する事が大切だ（30代 女性）

・行事や施設は多いので、あとは情報の広め方だ（30代 女性）

・区民に「ふるさと足立」をもっと知ってもらうことが先決だ（60代 男性）

【経済観光課の説明】 観光協会では、年2回、季節に合わせ、区内施設めぐりを実施しています。今年も、足立区産地場野菜等の収穫体験を行い、地域を再発見しました。また、観光情報は、「観光協会ホームページ」、「観光年間だより」、「足立区スタンプラリー」等で発信しています。花火大会は、CATVで放映されている他、映画やテレビ番組のロケとしても活用されています。今後は、あだち広報や公社ニュース「ときめき」をより一層活用し、また、テレビ番組への提供なども視野に入れ、鉄道事業者や各種メディア・情報誌にも積極的に発信していきます。

交通の便について（主な意見）

- ・交通アクセスが弱い（20代 女性）
- ・名所と言われるところはどこも交通の便が悪い（50代 女性）

【経済観光課の説明】 足立区では、交通の不便な地域の解消を目指して、新線開業を視野においたバス路線網の再編を進めています。平成12年4月には、綾瀬駅～足立区役所～西新井駅まで、また平成14年1月からは、綾瀬駅～六木団地まで、コミュニティバス「はるかぜ」の運行を始めました。観光協会では、昨年、その「はるかぜ」を「チョロQ」にして限定発売を行い、その知名度を大幅にアップし、また観光資源として活用してきました。観光協会としては、今後、つくばエクスプレス（常磐新線）や日暮里・舎人線の開業や新規バス路線の再編整備に合わせて、その路線に沿った観光情報を積極的に提供していきます。

観光と環境について（主な意見）

- ・公園や緑が多いので、自然保護に力を入れる（30代 女性）
- ・「みどり」の観光資源を発掘・創出する（70代 男性）

【経済観光課の説明】 足立区は、23区中で区立公園面積1位、公園数4位であり、今回の調査の中でも、「自然・みどり」といった観点から、荒川河川敷、都市農業公園、親水公園、都立舎人公園などが観光資源として有効視されていました。公園担当所管課とともに、公園の管理から一歩踏み込んで、観光的な活用を検討し、PRなどにも取り組んでいきます。

「（仮称）光の祭典」について（主な意見）

- ・「光の祭典」とは何なのか、詳しく知りたいのでPRしてほしい（20代 女性）
- ・花火大会のような大きなイベントをやったらどうだろうか（60代 男性）

【経済観光課の説明】 「（仮称）光の祭典」とは、区制70周年記念事業として、北の玄関口である竹ノ塚駅前から元洲公園にかけて、12月中旬から約2週間、イルミネーションでライトアップする事業のことです。夏の花火大会に対抗し、足立の冬を象徴するような事業に育てていきたいと考えています。単なる街路樹への電飾だけではなく、周辺にお住まいの皆さんをはじめ多くの区民が参加し、楽しめる、また、東武線沿線からも多くの観光客を呼ぶことができる足立区独自の企画を考え、関係機関と協議を進めています。イベント名称、イメージキャラクターの募集など、今後広報誌等を活用し、順次PRしていく予定です。

北千住について（主な意見）

- ・北千住駅を中心とした観光案内施設ができればアピールできる（20代 女性）
- ・千住も昔は宿場なので、それを再現すれば面白くなる（50代 女性）

【経済観光課の説明】 平成11年度足立区では北千住駅西口周辺を対象に、中心市街地活性化基本計画を策定し、商業の活性化と都市基盤整備にむけたまちづくりに取り組んでいます。基本的なコンセプトとして「歩きたくなる街 寿に会える街・初宿 千寿」とし、地域の活性化を目指しています。平成12年には千住エキゾチックフェアというイベントも開始され、地域の皆さんの手により「蔵めぐり」「千寿七福神めぐり」「千寿の秋祭り」など江戸四宿の1つとしての彩りを持った様々な地域事業も展開されています。また、本年3月には、観光協会からの働きかけに応じ、東京都中央卸売市場千住市場では、数年ぶりに「市場まつり」を復活しました。観光協会としましては、これらのようなその地域に特有な観光資源を担う皆さんと、連携・協力していきます。

宿泊施設について（主な意見）

- ・宿泊施設をつくり、人々が利用すればその他飲食業など、様々な業種にもプラスになる。（20代 男性）
- ・宿泊施設も目立った観光施設もないので、遠方からわざわざ来る魅力に欠けている（30代 女性）
- ・1人でも多くの友人・知人を呼べるように、区内に安価な宿泊施設の設置を考えてほしい（40代 女性）

【経済観光課の説明】 観光協会には、時々、宿泊施設に対する問合せも寄せられており、北千住駅、竹ノ塚駅、西新井駅、綾瀬駅周辺のビジネスホテルなどをご紹介させていただいています。今後は、これらの宿泊施設をPRするとともに、様々な場面における連携を考えていきます。

散歩コースについて（主な意見）

- ・意外と名所旧跡が多いのは知っているが、散歩コースのアピールが必要だ（30代 女性）
- ・駅からのウォーキングコースを10コース位設定し、案内を充実するのがよい（50代 男性）

【経済観光課の説明】 現在、観光協会では、「観光年間だより」を発行してい

ますが、区内各地で行われる行事などを時系列に並べたものでした。今後は、地域別に季節の観光モデルコースなどを盛り込んだ観光マップを作成したいと考えています。

観光ボランティアについて（主な意見）

・観光ボランティア制度の創設を望む（60代 男性）

【経済観光課の説明】 観光ボランティアとしては、大きく3つに分けられます。1つは、観光施設や観光ルートの案内ボランティア、次に、花の咲いている情報など地域観光情報を収集する観光情報ボランティア、そして最後に、観光協会事業に協力する事業ボランティアがあげられます。今後、これらの観光ボランティアについては、制度、役割、運用、育成方法、様々な角度から創設に向け検討していきます。

以上

第3回アンケート
地域の国際化に向けて

1 調査の概要

この報告書は、平成14年度第3回区政モニターアンケート「地域の国際化に向けて」の回答をまとめたものです。

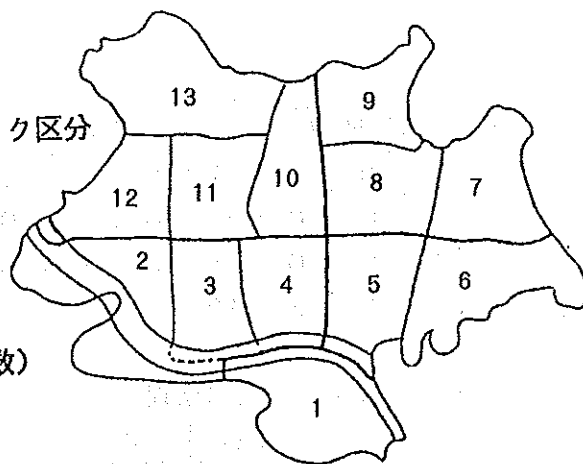
2 調査目的

区政モニターの意見を聞き、今後の足立区の国際化を検討する上での参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

平成14年10月25日～11月5日

ブロック区分



4 対象者数、回答者数

対象者 200人 回答者 200人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

- ・郵便 146人
- ・ファクス 8人
- ・インターネット 46人

6 回答者の構成（H14.6.1現在）

※ 調査方法は今回調査実施時の数

（1）地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	11	16	2	6	8	3	8	11	3	8	11	7	11	18
ファクス	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
インターネット	2	7	9	1	2	3	0	3	3	1	1	2	1	1	2
合計	7	19	26	3	9	12	3	11	14	4	9	13	9	12	21

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	15	17	5	6	11	2	9	11	3	4	7	6	8	14
ファクス	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
インターネット	5	3	8	0	1	1	0	3	3	1	2	3	2	4	6
合計	8	18	26	5	8	13	2	12	14	4	7	11	8	13	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	6	11	1	4	5	2	5	7	46	101	147
ファクス	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	7	9
インターネット	2	1	3	0	0	0	0	1	1	15	29	44
合計	7	7	14	1	5	6	2	7	9	63	137	200

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	14	15	7	44	51	6	13	19	4	11	15	19	15	34
ファクス	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	2	1	3
インターネット	3	7	10	3	14	17	5	3	8	2	3	5	2	2	4
合計	4	22	26	10	62	72	11	17	28	6	14	20	23	18	41

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	3	12	0	1	1	46	101	147
ファクス	0	0	0	0	0	0	2	7	9
インターネット	0	0	0	0	0	0	15	29	44
合計	9	3	12	0	1	1	63	137	200

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	7	10	0	1	1	8	10	18	0	67	67	15	10	25
ファクス	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0
インターネット	0	6	6	0	0	0	2	2	4	0	15	15	12	5	17
合計	3	14	17	0	1	1	10	13	23	0	87	87	27	15	42

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	20	6	26	46	101	147
ファクス	2	0	2	2	7	9
インターネット	1	1	2	15	29	44
合計	23	7	30	63	137	200

7 調査結果・分析の見方

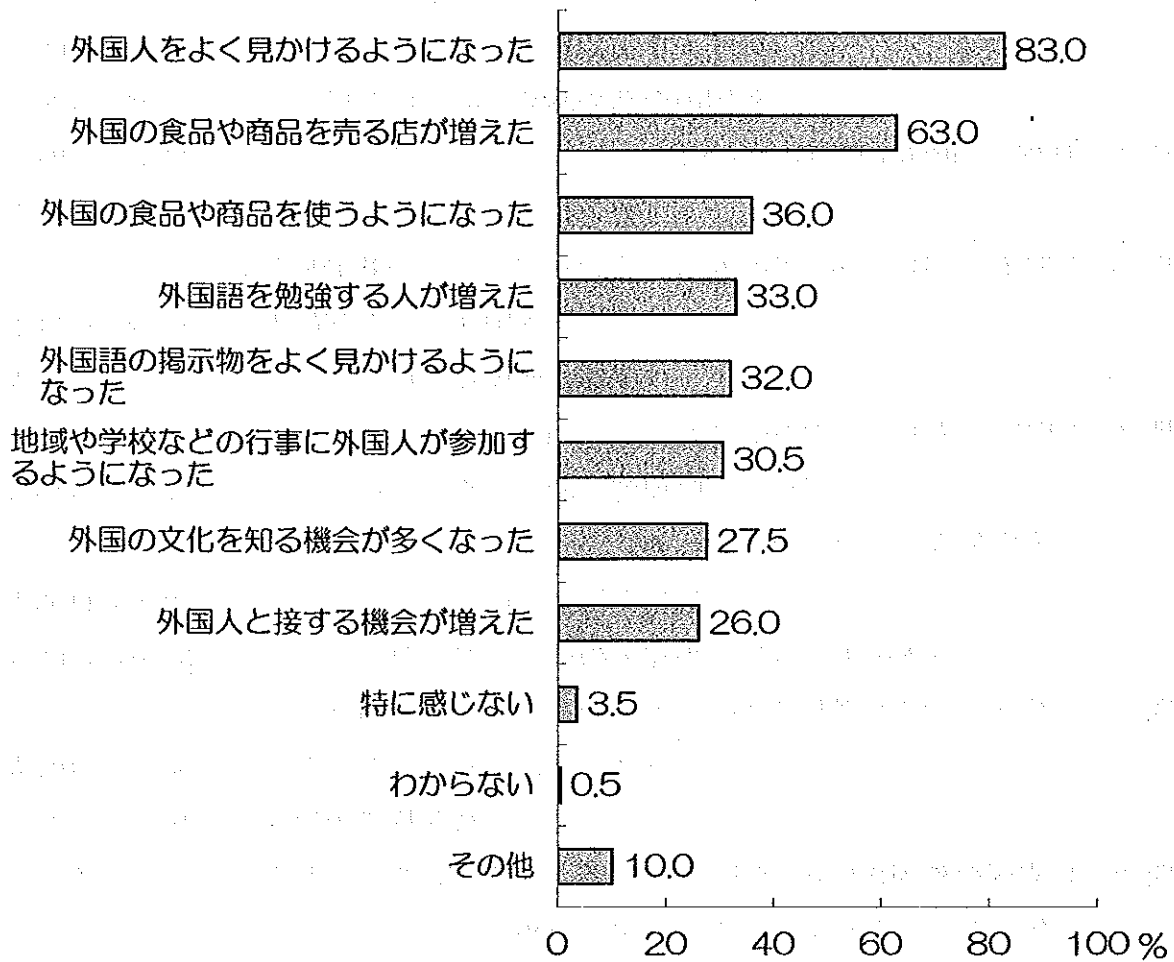
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要 旨

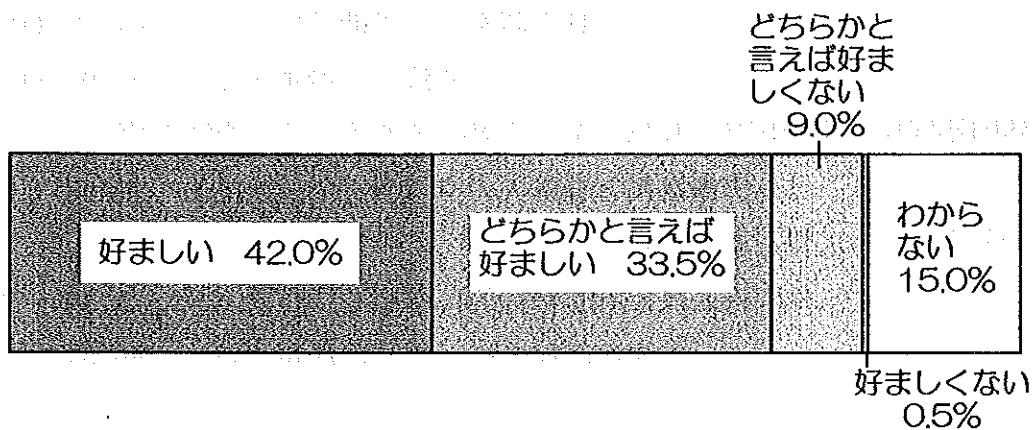
問 1	地域の国際化が進んでいると感じること（複数回答）	
	「外国人をよく見かけるようになった」	83.0% (166人)
	「外国の食品や商品を売る店が増えた」	63.0% (126人)
問 2	地域の国際化の進展について	「好ましい」 42.0% (84人)
	「どちらかと言えば好ましい」	33.5% (67人)
問 5	国際化に対応するために個人で身に付けること（複数回答）	
	「外国語での会話能力」	55.5% (111人)
	「国籍に関係なく接する態度」	55.5% (111人)
問 6	国際化に対応して地域に必要なこと（複数回答）	
	「小中学校で国際理解を深める教育を行うこと」	57.5% (115人)
	「家庭教育において異文化への 偏見を持たない気持ちを育てる」	52.5% (105人)
	「外国人と区民との交流の機会を多く設けること」	51.0% (102人)
問 7	日常生活の中で外国人から尋ねられたこと（複数回答）	
	「特に尋ねられたことはない」	50.5% (101人)
	「公共施設の場所」	19.0% (38人)
問 8	足立区の外国籍区民や国際ボランティアなどに関する周知度（複数回答）	
	「外国人の日本語学習や生活支援のため、 日本語ボランティアが活動している」	33.0% (66人)
	「ホストリバー人の職員が足立区に勤務し(姉妹都市専門員)、 地域や学校での国際理解を進めるための仕事をしている」	31.5% (63人)
問 9	やってみたい国際ボランティア活動（複数回答）	
	「日本語を学ぶ手助けをする」	61.5% (123人)
	「交流会に参加する」	57.0% (114人)
問10	外国籍区民の声を区政に反映させるために必要なこと（複数回答）	
	「外国籍区民と日本人の交流会を開催する」	49.5% (99人)
	「多言語での広報を充実させ 外国籍区民に対し積極的に情報を提供する」	42.5% (85人)
	「外国籍区民をモニターに活用する」	40.5% (81人)

※ 問 2、問 3、問11は記述回答のため割愛

問1 あなたが“地域の国際化が進んでいる”と感じることはどのようなことでしょうか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)



問2 あなたは、地域において国際化が進むことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)



問3 問2で(1)もしくは(2)を選んだ方のみお答えください。

あなたが好ましいと考える理由についてご記入ください。(記述)

主な理由(148人中)

【地域の国際化は“有益”だ】

- ・身近に外国人とふれあえる機会があれば自分の世界も広がる。また、他の文化を知るとは興味深い。(女性 20代)
- ・他国の文化や言葉に触れることで世界に興味を持つ子どもが増え、世界で活躍する日本人が増える。(女性 20代)
- ・異文化を知るとは自分を豊かにし、視野を広めることにつながる。また、自国の文化をあらためて考えるチャンスになる。(女性 30代)
- ・地域が様々な考え方を受け入れられるようになり、より良い社会を築いていける基となる。“外国人が住みにくい地域”は、きっと日本人自身も住みにくい。(女性 30代)
- ・外国人に、自分の住んでいる場所をよく知ってもらえれば、地域の活性化に協力してもらうこともできる。(女性 30代)
- ・メディアのみの知識ではなく、国際感覚が身につく。(男性 50代)
- ・異文化に触れることにより、いろいろな価値観や問題意識を感じることができる。(女性 50代)
- ・足立区のイメージアップにつながる。(男性 60代)
- ・外国の食品や商品を安く購入でき、生活の幅が広がる。(男性 60代)
- ・国々の、民族間の相互理解と国際間の平和に寄与する重要な要因となる。(男性 70代)

【地域の国際化は“当然”だ】

- ・交通網が発達し、経済的にも外国と接することが欠かせない世の中だ。各地域で国際化が進むのは当然だ。(男性 20代)
- ・日本人も様々な国へ旅行したり滞在したりするようになったのだから、私達も受け入れていく姿勢が大切だ。また、地球規模で考えていかなければならない問題も増えてきたので、相互理解を深めることも大切だ。(女性 20代)
- ・今どき好ましいとか好ましくないとか言っているような世の中ではない。国際化なしに今後の日本も地域もない。(女性 20代)
- ・国際化は世界的な流れだ。その流れを拒むには無理がある。(男性 30代)
- ・日本独自の文化を尊重しつつ、ボーダーレスな物の見方が必要だ。(女性 40代)
- ・日本は世界の中で交流しながら発展しなければならない。従って、国際化は当然だ。(男性 50代)
- ・これからの国際社会では、一国だけで成立はできない。様々な文化・人種との共生は必要不可欠だ。(男性 60代)
- ・日本は開国した時から、好むと好まざるとに関わらず国際化に向かって進むしかない。(女性 60代)
- ・一地域でなく、全世界的な交流(主に経済)が不可欠な現代社会においては当然だ。(男性 70代)

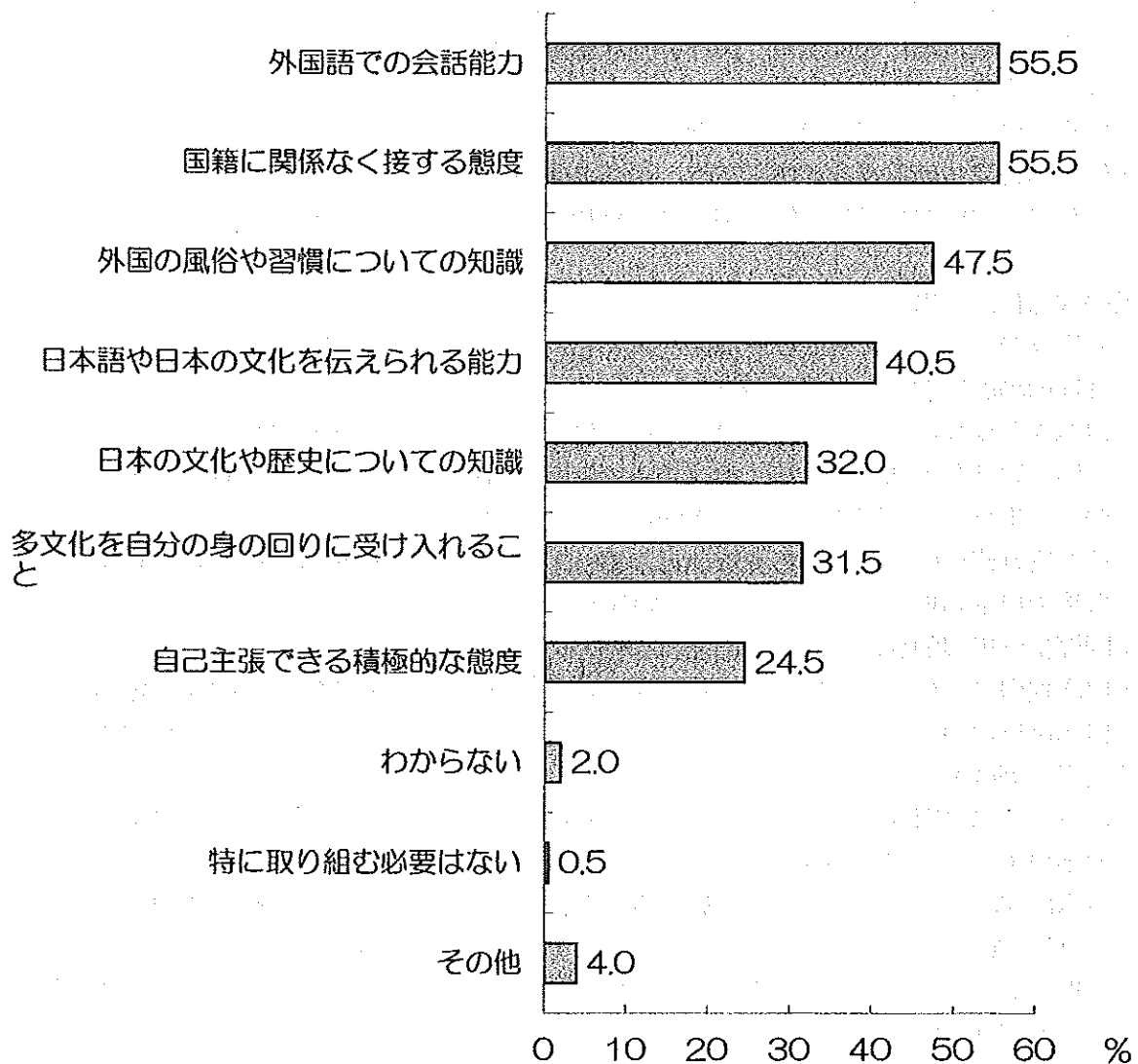
問4 問2で(3)もしくは(4)を選んだ方のみお答えください。

あなたが好ましくないとする理由についてご記入ください。(記述)

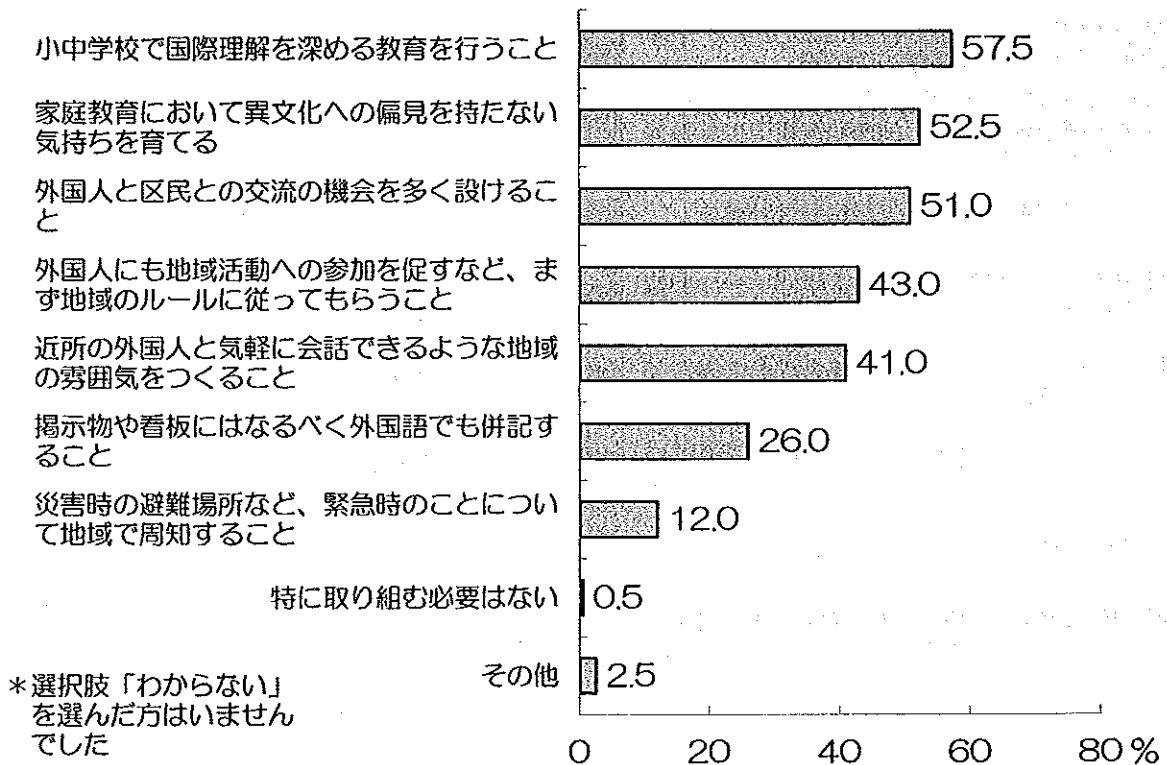
主な理由(19人中)

- ・外国人が地域で同じことをできるかというところでもない。“町内会に入ることもなければごみ当番をするわけでもない”人が多いのではないか。(女性 30代)
- ・外国人による犯罪が増えており不安だ。(女性 40代)
- ・外国人による犯罪が増え、治安が悪くなった。(男性 50代)
- ・日常の生活態度がよくないので困ることが多い。(女性 60代)
- ・昔ながらの習慣や風習、言葉使いなどを大切にしたい。(女性 70代)

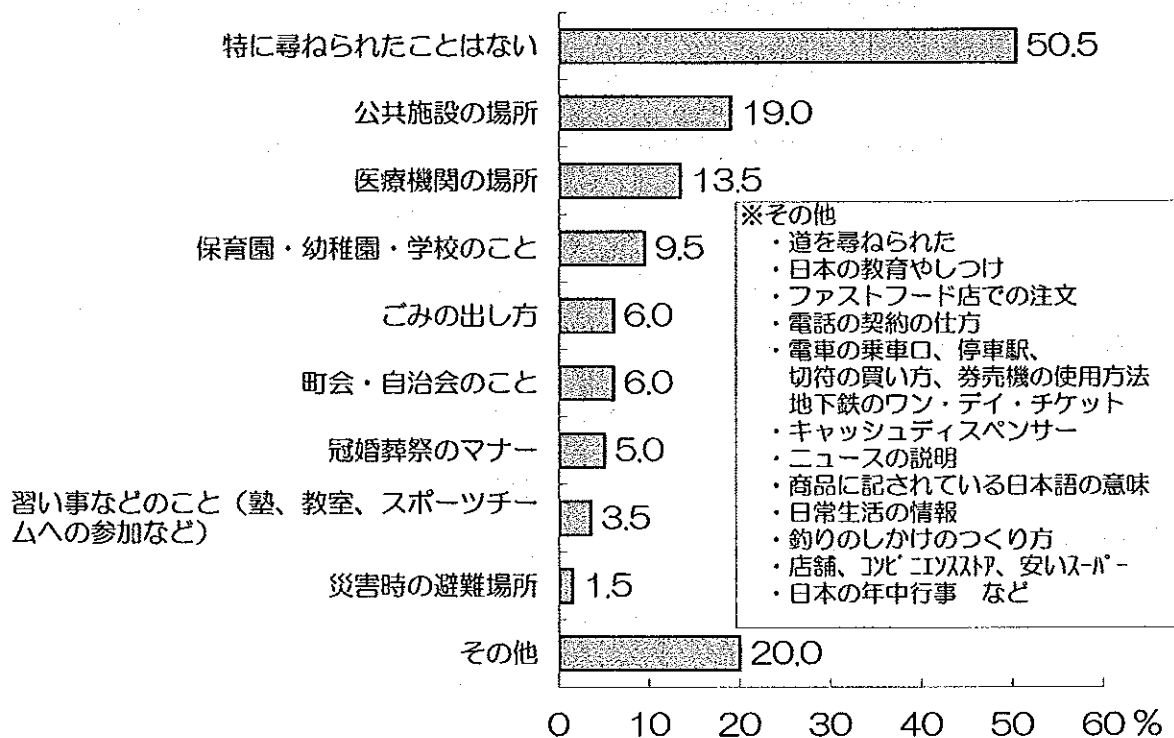
問5 今後、日本はますます国際化が進んでいくことが予想されます。国際化に対応するため、個人ではどのようなことを身に付けることが特に必要だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



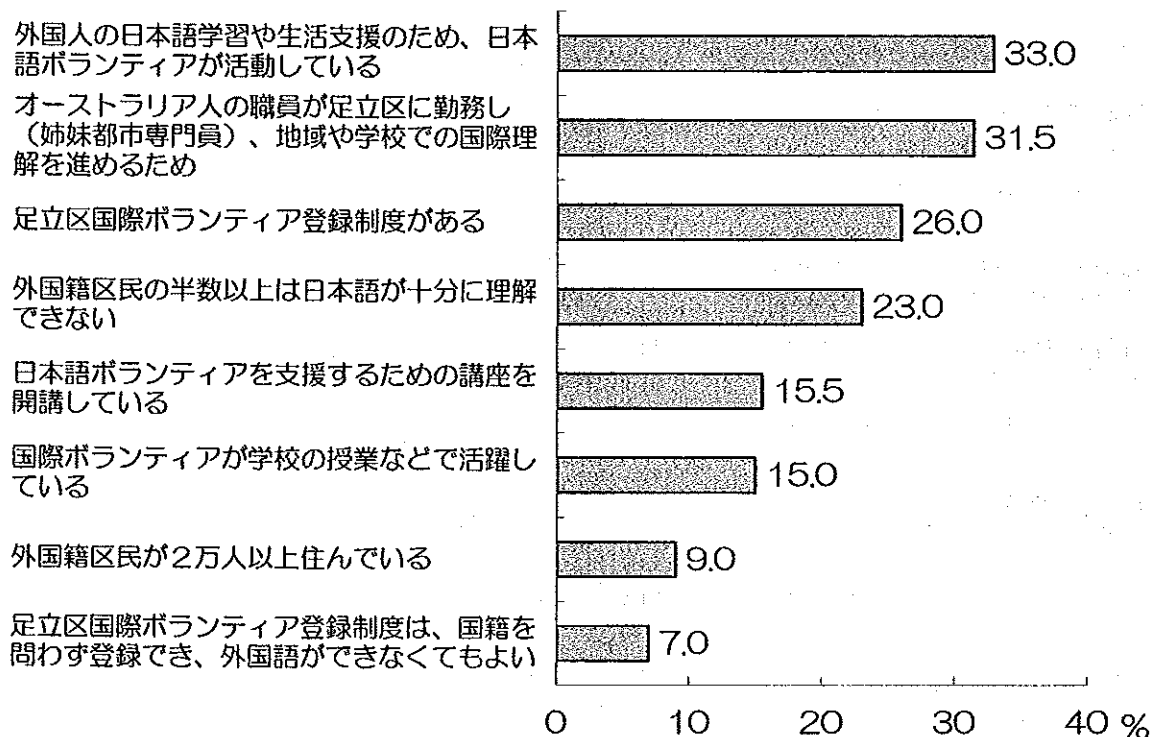
問6 あなたは、国際化に対応して、地域ではどのようなことが特に必要だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



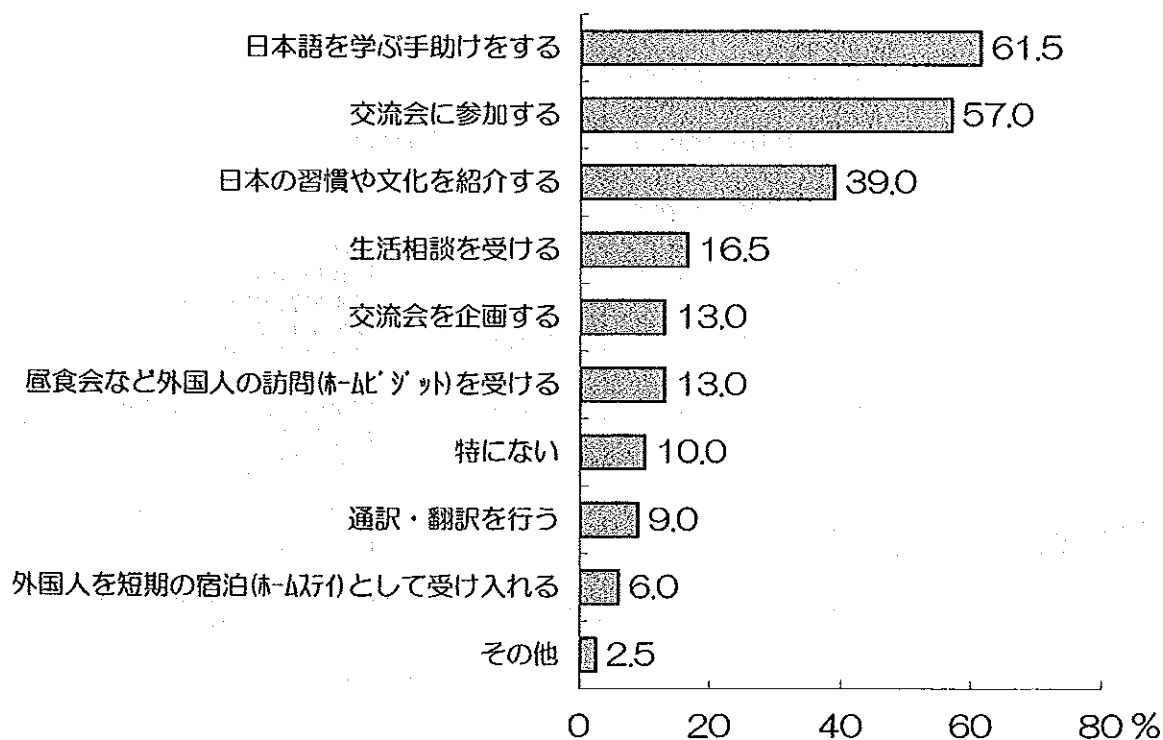
問7 あなたは、日常生活の中で、外国人から何か尋ねられたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。なお、選択肢(7)「保育園・幼稚園・学校のこと」を選ばれた方は、具体例もお示しください。(〇はいくつでも)



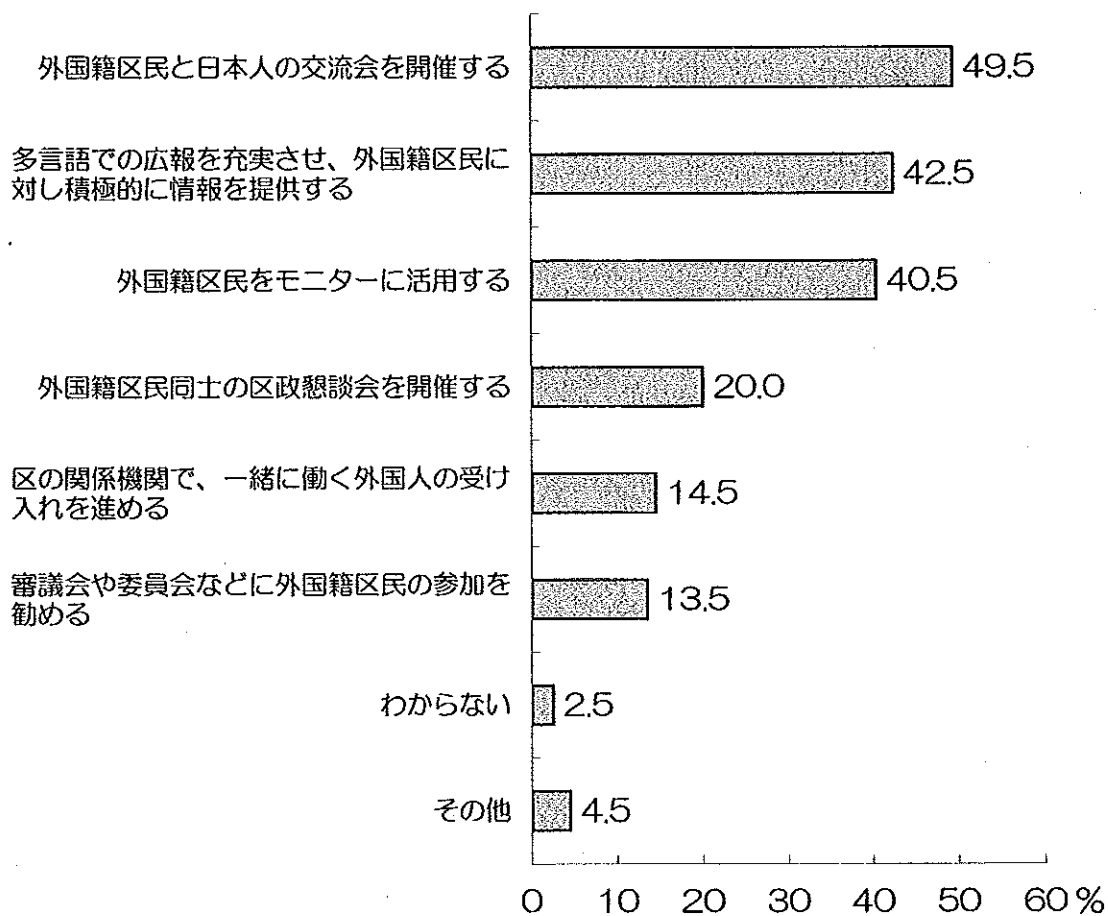
問8 足立区の外国籍区民や国際ボランティアなどに関して、あなたが知っていることを次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)



問9 足立区では、国際ボランティア活動の支援をしています。もし、あなたが区の国際ボランティアに登録するとしたら、どのようなことをやってみたいとお考えですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)



問10 あなたは、外国籍区民の声を区政に反映させるためには、特にどのようなことが必要だとお考えになりますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



問11 地域の国際化について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由回答)

主な意見・要望

- ・ 日本語ボランティアなどいろいろな活動があることを知り興味を持った。気楽に参加できる交流会があれば、ぜひ参加したい。(20代 男性)
- ・ 私の家の周辺には外国人が多く住んでいる。やはり習慣が違うせいかな、地域でのマナーは良いとは言えない。しかし、きちんと説明すれば守ってくれる。地域の人“見て見ぬふり”はやめた方がよい。外国人への偏見もまだあるので、みんなで直していかななくてはいけない。(20代 女性)
- ・ 区に国際ボランティアがあることは今まで知らなかった。学生などは自由な時間が多い分、興味もあると思う。英会話スクールに通っている学生は周りにも多くいて、他文化交流をしたが故に留学する人も多い。そういう学生をボランティアにとり込めると思う。広報だけでなく、図書館などへの掲示や携帯電話でアクセスできるサイトの準備があるとよい。(20代 女性)

- 幼稚園や学校などの行事に外国人を招いたり、交流する場を増やしたらよい。また、外国語を勉強する場を増やしてほしい。低価額で学べ、親子や家族で学べると関心も深まりよい。
(20代 女性)
- 地域の国際化で重要なことは、まず個人個人が外国人に偏見を持たないこと。それにはふれあいが必要だ。日常の中ではできないので、区で料理教室や文化交流ができる催しをつくるのが大切だ。
(20代 女性)
- 国際化は必要だが、メリットだけでなくデメリットもある。外国人による事件があったり、全てを受け入れる感情が沸かないのも事実だ。どこの国の人とも気軽に交流が持てたら素晴らしいが、区民に向けてのPRや環境をつくらなければこの先何も変わらない。
(20代 女性)
- 地域においても、外国人というだけで特別視せずに接することが必要だ。しかし、マナーを知らない外国人も多いので、外国人のためのマナー教室を開く必要がある。お互いを理解し気持ちよく暮らすためには、交流を持つことも1つの手段だ。
(20代 女性)
- 10年間他の地域に住み、また足立区に戻ってきた。以前に比べて様々な人種の人達を見かけるようになり、国際化が進んでいることに驚いた。しかし、看板などの掲示物にその人達への配慮はあまり感じられない。公園でも子どもと2人きりでの姿をよく見かける。日本人でも子育て中は不安なことが多くあるのだから、児童館や子育てサークルに気軽に行けるような雰囲気全体をつくってほしい。ホームページの掲示板も国際化に目を向けていけば、交流もしやすくなる。
(20代 女性)
- とにかく英語表記が少ない。最近設置されたものには英語表記で書かれていることも多いが、昔からあるものにも追加していった方がよい。
(20代 女性)
- 地域の国際化とは、何かを企画しそれを実施していくことだけではない。“区民の一人”との意識を持って偏見を無くし、極く自然な隣近所の挨拶や会話を通した付き合いが地域の国際化ではないか。その中から、お互いの国の文化や習慣、風俗を理解していければよい。
(30代 男性)
- 言葉の差があるので、外国人は孤立しやすい。音楽や芸術などの文化交流や身近な子どもの問題などを通して外国人と接する機会を増やしてほしい。
(30代 男性)
- 「国際ボランティアは外国語ができなければいけない」と思ってしりごみしてしまい、やってみたくともやらない人が多い。地域の国際化には、やはり多くのボランティアが必要になるので、会話(外国語)が必要のない仕事がある場合は、もっと大きく宣伝することが多くの人にきっかけを与えることになる。
(30代 女性)
- 最近では、学校でも若い外国人の母親が多い。日本語を話すことは上手だが、読み書きは苦手なようだ。読み書きの講座を区民センターなどで開くとよい。
(30代 女性)

- ・ 子どもの学校の行事で外国籍の人との交流を見学した。普段学べない異国の伝統や民族衣装などを学べるよい機会だと思った。 (30代 女性)
- ・ 子どもの幼稚園で何人かの外国人と一緒にだったが、言葉(日本語)の問題は全く感じなかった。外国籍区民の半数以上が日本語が理解できないということに驚いた。生活をしていく上で、ごみ出し、避難所などは多言語で知らせることが必要だ。 (30代 女性)
- ・ 外国人に対する偏見や誤解を取り除くために、区に転入してきた外国人には生活マナーのマニュアル本を渡すなどの対応も必要だ。 (30代 女性)
- ・ 区役所で対応のできない言語の持ち主に対し、その言語ができる区民(学生、帰国子女、外国籍区民など)をボランティアとしてあらかじめ募っておき、基本的な足立区の制度や、簡単な生活相談に協力できるようにしたらどうか。 (30代 女性)
- ・ 「日本語ボランティア」グループを助成し、学習支援者数を増やすなど、外国籍区民が日本語を学べる機会を区として提供できればよい。外国人が区に転入してきた際、日本の生活習慣で気をつけることを記したパンフレットを渡す。あるいは、“日本の生活マナー・コーディネーター”を設け、そこで生活習慣上のアドバイスなどを受けるようにするとよい。 (30代 女性)
- ・ 子どもの予防接種に行った際、日本語がわからず多くの外国籍の親子が待たされていたが、説明文書はなかったのか。あらゆる外国語での文書がいろいろな場合において必要だ。 (30代 女性)
- ・ 区民が外国人と躊躇することなく知り合う機会をつくるには、まず地域単位で小さな行事をつくり、積極的な声かけをすることだ。例えば、小中学校の生活の時間などを使って(児童館・老人館でもよい)、外国人とふれあう機会をつくるなど。 (30代 女性)
- ・ 日本語が思うように話せないと、なかなか地域に馴染めない。よって、同じような趣味を持つ人や子育てをしている母親など、同様の境遇にある人の集まりで行事などを行い、接する機会を増やすとよい。 (30代 女性)
- ・ 足立区として無理に国際化させることはない。しかし、生活している外国人が区民であることには変わらないのだから、学校や区のセンターなど公共の場が利用しやすいように支援していくことは必要だ。そのためには、生活習慣(ゴミの出し方)など基本的な事は行政が通訳などを介して教えてほしい。小学校に入学していた外国人が、学校の「お知らせ」の内容がわからず、聞かれた私もその人に話す言葉がわからなかった。何語を使う人なのかもわからなかった。学校は国籍など詳しい情報があるのだから、ボランティアがいるならもう少し活動を広めてほしい。 (30代 女性)

- ・ ボランティアに関心がある。しかし、昼間働いているため、平日の夜か土・日曜日しか活動ができない。また、「毎週何時に必ず」ということになるとう参加も難しくなる。気軽に通え、気負わずに楽しく交流できる場になるとよい。
(30代 女性)
- ・ 私の子どもが通っている小学校でも国際交流はあるが、親の参加や日本文化の紹介があまりない。足立区には姉妹都市もあるので、文化や食べ物の紹介や交流のイベントなども“あだちまつり”のようにあるとよい。
(30代 女性)
- ・ ただやみくもに海外の人を受け入れればよい訳ではない。文化の違いなどからくるトラブルも考えられる。住むときに町内の決まり事や習慣を理解してもらう必要があり、それを説明できるだけの人員が必要だ。また、自分が外国人で、この町に越してきたとしたら、英語表記が少なく生活が不便だろうと思うことが多い。そのあたりも改善する必要がある。学校の授業に早くから英語を取り入れるのも一つの方法だ。
(30代 女性)
- ・ 以前ベルモント公園で行われた「あだち国際まつり」で、各国の料理や日本文化の紹介をしており、親子で行ったがとても楽しかった。「A-Festa」で多くのお店が出ていたが、外国籍区民のブースをつくり、お国の料理を出してもらってはどうか。外国籍区民も参加することができ、おもしろいと思う。
(30代 女性)
- ・ 地域の国際化は促進するべきだ。しかし、外国語表示や公共機関の職員の外国語習得なども並行して進めなければならない。また、外国語を学べる機会を増やした方がよい。
(40代 男性)
- ・ 地域の国際化というイメージを考える前に、恐らく偏見なのだろうが、犯罪の多発化が結びついてしまう。この負のイメージをどのように改善し前進していくか。個人・自治体・国のそれぞれのレベルで、これから取り組んでいく第一歩にすべきなのではないか。
(40代 男性)
- ・ 真の国際化とは、道義に反しない限り様々な民族や習慣を相互に理解し尊重し合うことだ。区の国際化もその点に留意してほしい。提案(1)英語以外の言語教育や各国の文化紹介に関する催しの奨励。(2)学校の授業で日本文化の理解を深める(邦楽、おせち料理の作り方や意義)。(3)区に住む外国人に日本の法律や日常生活のルールを理解し遵守してもらえるよう説明会などを行う。気軽に相談できる場所(区の機関・ボランティア)の周知、徹底を図る。
(40代 女性)
- ・ 約2年間韓国で暮らして思ったことは、自分の国のことをしっかり理解しなければいけないということ。それから、それぞれの国を尊重しながらも、何人(なにじん)といった意識を取り払うこと。日本に帰ってきてから、何かボランティアをとも思っていたが手立てが分からなかった。これを機会に、何らかに携わっていきたい。遠まわりのようだが、やはり一人ひとりの対話が一番の理解の近道だ。
(40代 女性)

- ・ 外国籍区民が増えることで国際化になるが、日本の国に住んでいる限り、日本の社会や習慣など、まず基本的なことを理解してもらわなくてはならない。 (40代 女性)
- ・ アンケートの設問にも感じられるが、外国人が日本の生活習慣などに馴染むだけでなく、同じようにできないと困るようなニュアンスがある。国際化とは、多様性をそのまま認め受け入れて共存することであって、同一性を求めることではない。海外に行っても感じるのは、“日本人は壁をつくる”ということ。行った先にとけ込まず壁を設けてしまう。同じことを日本にいる外国人に対してやっているのではないか。気軽に交流できる場を多くつくり、奇妙な恐怖心や警戒心を除くことが大事だ。区内に住む外国人による「自国の手づくり家庭料理フェア」をやるとよい。 (50代 男性)
- ・ 地域の国際化自体はよいことだが、不安材料もたくさんある。外国籍の人達の活動や区政に対する要望などを区の広報紙に載せるなどして、理解を深める必要がある。(50代 女性)
- ・ 10月から日本語ボランティア教室に参加し学ぶ機会を得た。同じ教室で外国人や帰国者と接することができ、外国人のマナーや性格などを目の当たりに経験することができた。今までどこかに偏見をもっていた自分が、返って愚かにも見えた。外国人と出会う機会の必要性を強く感じた。 (60代 男性)
- ・ 一定の条件を満たす外国籍の人には選挙権があってもよい。私は中国人留学生と交流があるが、彼らが一番困っているのが物価の高さだ。勉強以外はアルバイトを強いられ、日本の豊かな自然や文化を知る時間が持てない。余裕のある留学生活を送れる何らかの支援制度(奨学金制度の充実、安い住宅の提供・賃貸サービス、良質なアルバイト先の紹介など)が必要だ。 (60代 男性)
- ・ 各国の人々との多くの交流会(料理教室「餃子づくり、そば・うどんづくり」など)や音楽会・演奏会などを開催し、交流を深めるようにしたらよい。 (60代 男性)
- ・ 身近にいる外国人を見ると、特に公共の乗物の中でのマナーの悪さが気になる。日本に居住するなら、マナーやルールは守ってほしい。言葉が違うので個人的には指導しにくい。公共の場で、ある程度指導も必要だ。 (60代 女性)
- ・ 1つの目的について、外国人と日本人が話し合う場を行政が設ける。それによって、考え方の違いやお互いの理解度がわかるのではないか。 (70代 男性)
- ・ 外国人に対して安易に、表面的に迎合するのが日本人の悪い傾向だ。それが外国人に不信感を抱かせる。堂々と意見をぶつけ合うこと、その真摯な態度から信頼と相互に尊敬し合える友情が生まれる。この点が地域を国際化させる要だ。足立の政治・経済・文化・風習・慣習などのライブラリーコーナーを区役所や図書館に設置し、足立の本当の姿を外国人に理解し易くすべきだ。そして、これが活用されるよう広報で案内してほしい。外国語のできる高齢者をボランティアで常駐させるのも一法だ。 (70代 男性)

平成14年度 第3回区政モニターアンケート

《 地域の国際化に向けて 》

モニター番号 _____ 番

地球規模の社会・経済の変化が進む現在、地域の中でも多くの外国人や文化と共生していく社会が求められています。そのためには、本区においても、言葉や文化の違いなどで生じる課題を解決し、住み良い地域社会を築くため、地域の国際化について検討する必要があります。

このようなことから、区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、今後の地域の国際化を検討する上での参考にさせていただきたいと思えます。

よろしくご協力をお願いします。

問1 あなたが“地域の国際化が進んでいる”と感じることはどのようなことでしょうか。

次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

- (1) 外国人をよく見かけるようになった
- (2) 外国の文化を知る機会が多くなった
- (3) 外国人と接する機会が増えた
- (4) 地域や学校などの行事に外国人が参加するようになった
- (5) 外国の食品や商品売る店が増えた
- (6) 外国の食品や商品を使うようになった
- (7) 外国語の掲示物をよく見かけるようになった
- (8) 外国語を勉強する人が増えた
- (9) 特に感じない
- (10) その他(具体的に_____)
- (11) わからない

問2 あなたは、地域において国際化が進むことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)

[問2、次ページへ続く]

〔問2、前ページから続き〕

- (1) 好ましい → 問3へ
- (2) どちらかと言えば好ましい → 問3へ
- (3) どちらかと言えば好ましくない → 問4へ
- (4) 好ましくない → 問4へ
- (5) わからない → 問5へ

問3 問2で(1)もしくは(2)を選んだ方のみお答え下さい。

あなたが好ましいと考える理由についてご記入ください。(記述)

(記述)

問4 問2で(3)もしくは(4)を選んだ方のみお答え下さい。

あなたが好ましくないと考える理由についてご記入ください。(記述)

(記述)

問5 今後、日本はますます国際化が進んでいくことが予想されます。国際化に対応するため、個人ではどのようなことを身に付けることが特に必要だとお考えですか。次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

- (1) 外国の風俗や習慣についての知識
- (2) 外国語での会話能力
- (3) 日本の文化や歴史についての知識
- (4) 日本語や日本の文化を伝えられる能力
- (5) 多文化を自分の身の回りに受け入れること
- (6) 国籍に関係なく接する態度
- (7) 自己主張できる積極的な態度
- (8) 特に取り組む必要はない
- (9) その他(具体的に))
- (10) わからない

問6 あなたは、国際化に対応して、地域ではどのようなことが特に必要だとお考えですか。

次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

- (1) 近所の外国人と気軽に会話できるような地域の雰囲気をつくること
- (2) 外国人と区民との交流の機会を多く設けること
- (3) 家庭教育において異文化への偏見を持たない気持ちを育てること
- (4) 小中学校で国際理解を深める教育を行うこと
- (5) 掲示物や看板にはなるべく外国語でも併記すること
- (6) 外国人にも地域活動への参加を促すなど、まず地域のルールに従ってもらうこと
- (7) 災害時の避難場所など、緊急時のことについて地域で周知すること
- (8) 特に取り組む必要はない
- (9) その他(具体的にー)
- (10) わからない

問7 あなたは、日常生活の中で、外国人から何か尋ねられたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。なお、選択肢(7)を選ばれた方は、具体例もお示しください。

(○はいくつでも)

- (1) 冠婚葬祭のマナー
- (2) ごみの出し方
- (3) 町会・自治会のこと
- (4) 災害時の避難場所
- (5) 医療機関の場所
- (6) 公共施設の場所
- (7) 保育園・幼稚園・学校のこと(具体的にー)
- (8) 習い事などのこと(塾、教室、スポーツチームへの参加など)
- (9) その他(具体的にー)
- (10) 特に尋ねられたことはない

問8 足立区の外国籍区民や国際ボランティアなどに関して、あなたが知っていることを次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- (1) 外国籍区民が2万人以上住んでいる
- (2) 外国籍区民の半数以上は日本語が十分に理解できない

〔問8、次ページへ続く〕

〔問8、前ページから続き〕

- (3) 足立区国際ボランティア登録制度がある
- (4) 足立区国際ボランティア登録制度は、国籍を問わず登録でき、外国語ができなくてもよい
- (5) 国際ボランティアが学校の授業などで活躍している
- (6) 外国人の日本語学習や生活支援のため、日本語ボランティアが活動している
- (7) 日本語ボランティアを支援するための講座を開講している
- (8) オーストラリア人の職員が足立区に勤務し（姉妹都市専門員）、地域や学校での国際理解を進めるための仕事をしている

問9 足立区では、国際ボランティア活動（別紙資料をご参照ください）の支援をしています。もし、あなたが区の国際ボランティアに登録するとしたら、どのようなことをやってみたいとお考えですか。次の中からいくつでも選んでください。（〇はいくつでも）

- (1) 交流会に参加する
- (2) 交流会を企画する
- (3) 日本の習慣や文化を紹介する
- (4) 日本語を学ぶ手助けをする
- (5) 通訳・翻訳を行う
- (6) 生活相談を受ける
- (7) 昼食会など、外国人の訪問（ホームビジット）を受ける
- (8) 外国人を短期の宿泊（ホームステイ）として受け入れる
- (9) その他（具体的にー)
- (10) 特にない

問10 あなたは、外国籍区民の声を区政に反映させるためには、特にどのようなことが必要だとお考えになりますか。次の中から2つまで選んでください。（〇は2つまで）

- (1) 外国籍区民と日本人の交流会を開催する
- (2) 外国籍区民同士の区政懇談会を開催する
- (3) 多言語での広報を充実させ、外国籍区民に対し積極的に情報を提供する
- (4) 外国籍区民をモニターに活用する
- (5) 審議会や委員会などに外国籍区民の参加を進める

〔問10、次ページへ続く〕

〔問 10, 前ページから続き〕

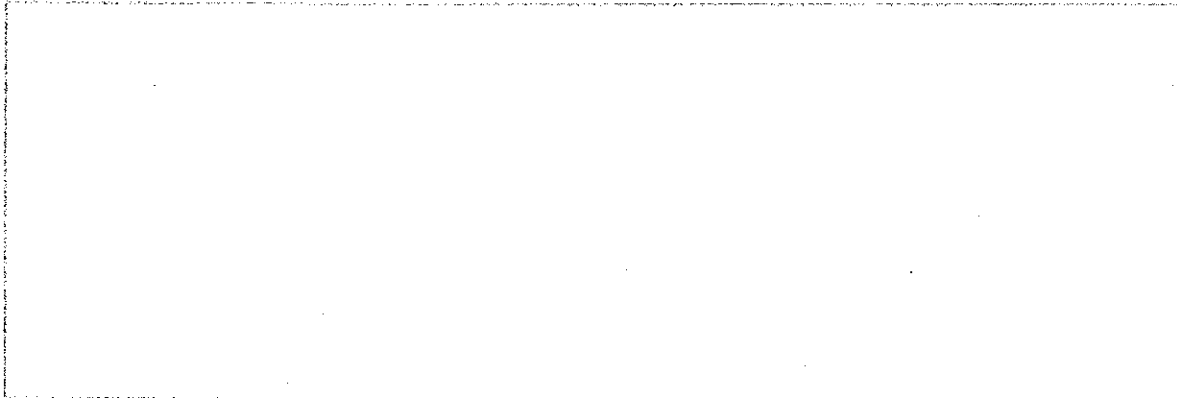
(6) 区の関係機関で、一緒に働く外国人の受け入れを進める

(7) その他（具体的に—

)

(8) わからない

問 11 地域の国際化について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）



ありがとうございました。

集 計 表

(%)

地域の国際化に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	200	63	137	98	102
問1 地域の国際化が進んでいると感じること(複数回答) N=200					
1 外国人をよく見かけるようになった	83.0	87.3	81.0	76.5	89.2
2 外国の文化を知る機会が多くなった	27.5	31.7	25.5	17.3	37.3
3 外国人と接する機会が増えた	26.0	22.2	27.7	24.5	27.5
4 地域や学校などの行事に外国人が参加するようになった	30.5	27.0	32.1	27.6	33.3
5 外国の食品や商品を売る店が増えた	63.0	63.5	62.8	57.1	68.6
6 外国の食品や商品を使うようになった	36.0	42.9	32.8	24.5	47.1
7 外国語の掲示物をよく見かけるようになった	32.0	33.3	31.4	28.6	35.3
8 外国語を勉強する人が増えた	33.0	33.3	32.8	29.6	36.3
9 特に感じない	3.5	4.8	2.9	5.1	2.0
10 その他	10.0	15.9	7.3	8.2	11.8
11 わからない	0.5	-	0.7	1.0	-
問2 地域の国際化の進展について					
1 好ましい	42.0	46.0	40.1	42.9	41.2
2 どちらかと言えば好ましい	33.5	33.3	33.6	32.7	34.3
3 どちらかと言えば好ましくない	9.0	7.9	9.5	8.2	9.8
4 好ましくない	0.5	-	0.7	-	1.0
5 わからない	15.0	12.7	16.1	16.3	13.7
問5 国際化に対応するために個人で身に付けること(複数回答)					
1 外国の風俗や習慣についての知識	47.5	61.9	40.9	37.8	56.9
2 外国語での会話能力	55.5	52.4	56.9	56.1	54.9
3 日本の文化や歴史についての知識	32.0	31.7	32.1	35.7	28.4
4 日本語や日本の文化を伝えられる能力	40.5	33.3	43.8	37.8	43.1
5 多文化を自分の身の回りに受け入れること	31.5	31.7	31.4	35.7	27.5
6 国籍に関係なく接する態度	55.5	61.9	52.6	55.1	55.9
7 自己主張できる積極的な態度	24.5	25.4	24.1	24.5	24.5
8 特に取り組む必要はない	0.5	-	0.7	1.0	-
9 その他	4.0	3.2	4.4	5.1	2.9
10 わからない	2.0	1.6	2.2	3.1	1.0
問6 国際化に対応して地域に必要なこと(複数回答)					
1 近所の外国人と気軽に会話できるような地域の雰囲気をつくること	41.0	50.8	36.5	36.7	45.1

集 計 表

(%)

地域の国際化に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
2 外国人と区民との交流の機会を多く設けること	51.0	55.6	48.9	51.0	51.0
3 家庭教育において異文化への偏見を持たない気持ちを育てる	52.5	46.0	55.5	55.1	50.0
4 小中学校で国際理解を深める教育を行うこと	57.5	57.1	57.7	57.1	57.8
5 掲示物や看板にはなるべく外国語でも併記すること	26.0	31.7	23.4	25.5	26.5
6 外国人にも地域活動への参加を促すなど、まず地域のルールに従ってもらうこと	43.0	39.7	44.5	43.9	42.2
7 災害時の避難場所など、緊急時のことについて地域で周知すること	12.0	11.1	12.4	8.2	15.7
8 特に取り組む必要はない	0.5	-	0.7	-	1.0
9 その他	2.5	4.8	1.5	2.0	2.9
10 わからない	-	-	-	-	-
問7 日常生活の中で外国人から尋ねられたこと（複数回答）					
1 冠婚葬祭のマナー	5.0	6.3	4.4	5.1	4.9
2 ごみの出し方	6.0	6.3	5.8	1.0	10.8
3 町会・自治会のこと	6.0	6.3	5.8	2.0	9.8
4 災害時の避難場所	1.5	1.6	1.5	-	2.9
5 医療機関の場所	13.5	14.3	13.1	10.2	16.7
6 公共施設の場所	19.0	17.5	19.7	12.2	25.5
7 保育園・幼稚園・学校のこと	9.5	3.2	12.4	11.2	7.8
8 習い事などのこと（塾、教室、スポーツチームへの参加など）	3.5	4.8	2.9	1.0	5.9
9 その他	20.0	25.4	17.5	19.4	20.6
10 特に尋ねられたことはない	50.5	49.2	51.1	54.1	47.1
問8 足立区の外国籍区民や国際ボランティアなどに関する周知度（複数回答）					
1 外国籍区民が2万人以上住んでいる	9.0	15.9	5.8	4.1	13.7
2 外国籍区民の半数以上は日本語が十分に理解できない	23.0	23.8	22.6	17.3	28.4
3 足立区国際ボランティア登録制度がある	26.0	23.8	27.0	18.4	33.3
4 足立区国際ボランティア登録制度は、国籍を問わず登録でき、外国語ができなくてもよい	7.0	9.5	5.8	5.1	8.8
5 国際ボランティアが学校の授業などで活躍している	15.0	14.3	15.3	12.2	17.6
6 外国人の日本語学習や生活支援のため、日本語ボランティアが活動している	33.0	30.2	34.3	24.5	41.2

集 計 表						(%)
地域の国際化に向けて	全員	性別		年齢別		
		男	女	40歳未満	40歳以上	
7 日本語ボランティアを支援するための講座を開講している	15.5	14.3	16.1	12.2	18.6	
8 オーストラリア人の職員が足立区に勤務し（姉妹都市専門員）、地域や学校での国際理解を進めるための仕事をしている	31.5	33.3	30.7	28.6	34.3	
問9 やってみたい国際ボランティア活動（複数回答）						
1 交流会に参加する	57.0	65.1	53.3	55.1	58.8	
2 交流会を企画する	13.0	12.7	13.1	11.2	14.7	
3 日本の習慣や文化を紹介する	39.0	38.1	39.4	34.7	43.1	
4 日本語を学ぶ手助けをする	61.5	60.3	62.0	63.3	59.8	
5 通訳・翻訳を行う	9.0	6.3	10.2	12.2	5.9	
6 生活相談を受ける	16.5	17.5	16.1	11.2	21.6	
7 昼食会など、外国人の訪問（ホムビジット）を受ける	13.0	12.7	13.1	19.4	6.9	
8 外国人を短期の宿泊（ホムステイ）として受け入れる	6.0	3.2	7.3	10.2	2.0	
9 その他	2.5	4.8	1.5	2.0	2.9	
10 特になし	10.0	7.9	10.9	8.2	11.8	
問10 外国籍区民の声を区政に反映させるために必要なこと（複数回答）						
1 外国籍区民と日本人の交流会を開催する	49.5	42.9	52.6	44.9	53.9	
2 外国籍区民同士の区政懇談会を開催する	20.0	25.4	17.5	20.4	19.6	
3 多言語での広報を充実させ、外国籍区民に対し積極的に情報を提供する	42.5	28.6	48.9	40.8	44.1	
4 外国籍区民をモニターに活用する	40.5	52.4	35.0	39.8	41.2	
5 審議会や委員会などに外国籍区民の参加を勧める	13.5	19.0	10.9	11.2	15.7	
6 区の関係機関で、一緒に働く外国人の受け入れを進める	14.5	15.9	13.9	14.3	14.7	
7 その他	4.5	9.5	2.2	4.1	4.9	
8 わからない	2.5	-	3.6	3.1	2.0	

※問3、問4、問11は記述のため割愛

1 アンケート集計結果の今後の活用

【地域支援課の説明】 国際化の進む現在、さまざまな区民の国籍や文化的な背景の違いを理解し、協働して住みよい地域社会づくりをしていくため、今年度、地域支援課に国際化推進担当係が設置されました。今回アンケートから得られた区政モニターの皆様への国際化に対する現状認識や意向などを（仮称）国際化推進区民委員会の検討素材として活用し、多様な文化が調和して、活力に満ちたより一層の発展をしていく地域社会づくりの政策指針として役立ててまいります。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

地域の国際化の進展について

・本アンケート設問2～4の集計結果をふまえて

【地域支援課の説明】 4人に3人の方が国際化の進展を好ましいことだと考えています。地域の国際化が進むことで、さまざまな考え方を受け入れられるようになり、自分を豊かにし、世界が広がり、世界で活躍する日本人をつくる、また、地域の活性化や国際間の平和に寄与するなどの意見がありました。さらに、これからの社会は一国だけで成立しないもので、日本人も旅行や仕事でさまざまな国へ行き、地球規模で人の移動が進んでいるのだから、地域の国際化は当然とのご意見も多数いただいています。一方では、外国人が町内会に入らない、ごみ当番をしない、など地域のコミュニティに溶け込まないことや、外国人による犯罪が増え治安が悪くなったようだなど、国際化の進展は好ましくないとのご意見もいただきました。これらの貴重なご意見を政策へ反映していく必要があると考えています。

地域の国際化への対応について

・本アンケート設問5～6の集計結果をふまえて

【地域支援課の説明】 国際化に対応するためには、半数以上の方から個人として外国語の会話能力や国籍に関係なく接する態度が必要という意見をいただいています。また、外国の風俗や習慣についての知識や受け入れる態度が必要であるという意見のある一方で、日本の文化や言葉を伝える力が必要だと考える方も多いことに注目する必要があります。具体的な活動として、小中学校の国際理解教育や、家庭での偏見を持たない子育て、地域での交流や外国人にも地域活動に参加するよう進めていくことが必要だという意見を多くいただいております。今後のボランティア活

動支援などでの施策に反映させてまいります。

国際ボランティアについて

- ・本アンケート設問8～9の集計結果をふまえて

【地域支援課の説明】 約3人に1人の方が日本語ボランティアの活動や姉妹都市専門員の勤務をご存知でした。足立区国際ボランティアの登録制度や外国籍区民の半数以上が日本語が十分に理解できないことを知っている方は、4人に1人の割合です。また、問11の自由意見では「国際ボランティア制度があることを知らなかった」「国際ボランティアは外国語ができなければいけないと思っていた」等の意見があります。今後も、活動の実態を理解していただくためのPRをより積極的に行なっていきます。さらに、日本語を学ぶ手助けや文化紹介、交流会への参加要望が多いため、区民主体の交流のためのきっかけづくりや会場確保支援などを行ってまいります。

外国籍区民の生の区政への反映について

- ・本アンケート設問10の集計結果をふまえて

【地域支援課の説明】 問9で半数以上の方から、国際ボランティアとして行いたい活動に「交流会に参加」がありましたが、本問でも、外国籍区民の声を区政に反映するために「交流会が必要」だというご意見をいただいています。区政への意見の反映のため、交流会での情報の共有化や、多言語広報の充実やモニター制度の活用、区政懇談会の開催など、それぞれに特色とメリットがありますので、多方面から政策反映の機会を用意してまいりたいと考えています。

～問11 自由回答の集計結果をふまえて～

交流会について（主な意見）

- ・気楽に参加できる交流会があればぜひ参加したい。（20代 男性）
- ・幼稚園や学校などの行事に外国人を招いたり、交流する場を増やしたらよい。（20代 女性）
- ・音楽や芸術などの文化交流や身近な子どもの問題などを通して外国人と接する機会を増やしてほしい。（30代 男性）
- ・外国人と出会う機会の必要性を強く感じた。（60代 男性）

・交流会や音楽会、演奏会などを開催し、交流を深める。(60代 男性)

【地域支援課の説明】 今年の12月第2週に、足立区国際ボランティアに登録された方達にお集まりいただき、第1回足立区国際ボランティア交流会を開催します。ここでのご意見を生かして、これからのさまざまな活動のきっかけづくりといたします。また、このような交流会を発展させ、外国人のネットワークづくりを行い、外国籍区民のボランティアが、より積極的に学校や地域で活動できる機会を増やしてまいりたいと考えています。

広報・PRについて(主な意見)

・区民に向けてのPRや環境をつくらなければこの先何も変わらない。

(20代 女性)

・ホームページの掲示板も、国際化に向けて目を向けていけば、交流もしやすくなる。(20代 女性)

・多国籍の人達の活動や区政に対する要望などを区の広報に載せ理解を深める。

(50代 女性)

【地域支援課の説明】 国際ボランティアの活動の一環として、外国語でのPR環境づくりがあります。外国人から見た広報のあり方など、多くの意見をいただき、ボランティアの翻訳の力やネイティブ(本国の方)の解釈などの検証を行いつつ、ニュースレターの発行、ホームページの立ち上げなどを含め、効率的で具体的なPRを進めてまいりたいと考えています。なお、来年度に外国語版生活便利帳のリニューアルを予定しています。

外国人のためのマナー教室(パンフレット)、日本語を学ぶ機会について

(主な意見)

・外国人のためのマナー教室を開く必要がある。(20代 女性)

・読み書きの講座をセンターなどで開くとよい。(30代 女性)

・区に転入してきた外国人には、生活マナーのマニュアル本を渡すなどの対応も必要だ。(30代 女性)

・日本の生活マナー・コーディネーターを設ける。(30代 女性)

・生活習慣など基本的なことは行政が通訳などを介して教えてほしい。

(30代 女性)

・公共の場で、ある程度指導も必要だ。(60代 女性)

【地域支援課の説明】 定住するための基本的な生活情報については、生活を始める初期にお知らせする必要があるため、区の外国人登録を行う際にできる限りの情報提供ができるよう、「わたしの便利帳」（リブイン）やゴミの出し方案内などの配付と説明を行っています。今後は、行政情報だけでなく、より生活に密着した情報についてもお知らせしていく必要性もあるため、先輩外国籍区民のご意見や、日本語ボランティア活動で直面している問題などを整理して、適切な時期に適切な情報が渡るよう工夫してまいります。

外国語表記について（主な意見）

- ・英語表記が少ない（20代 女性）
- ・避難所などは多言語で知らせることが必要だ。（30代 女性）

【地域支援課の説明】 区の代表的な施設（準全区施設規模以上の主要公共施設や足立60景など）への案内看板は、すべて英語表記を行うこととなっております。現在のところ、梅島駅、五反野駅周辺地区、綾瀬駅周辺地区などに33基57枚の案内看板が設置されております。今後も、順次、区内全域に設置していく予定ですが、足立区在住外国人の特色として、母語が英語である区民の割合は、アジア系言語（中国語・韓国語等）に比べて低いため、ローマ字表記やピクトグラフ（絵文字）の活用も視野に入れる必要があります。避難所案内の多言語化について、前問のように初期の生活情報として最も重要であるため、さまざまな言語対応を図るべく、東京都等関係機関と連携し情報提供を進めてまいります。

姉妹都市について（主な意見）

- ・足立区には姉妹都市もあるので、文化や食べ物の紹介や交流のイベントなどもあるとよい。（30代 女性）

【地域支援課の説明】 1986年から毎年、西オーストラリア州ベルモント市からの学生使節団の受入れ、約10日間の滞在期間中に小学校や中学校の訪問などを行い学生同士や区民との交流を行っています。また、区職員として姉妹都市専門員を雇用し、地域や学校での国際理解行事に積極的に参加し文化紹介などを行っています（平成13年度は28回延べ2,645名を対象）。また、ボランティアが主体となって実施する国際交流のためのイベント開催の支援や環境づくりを行っています（平成13年度、12月15日開催、約2,000名の参加）。

外国人相談について（主な意見）

- ・気軽に相談できる場所の周知を図る。（40代 女性）

【地域支援課の説明】 今年度から、地域支援課に国際生活相談員を配備しました。日本語による相談の他、月曜から金曜の午前9時から12時と午後1時から4時まで中国語または英語による相談もできます。また、都内の外国人相談ネットワークを緊密にし、法律・医療・福祉など各種の相談をさまざまな言語で対応できるよう常に協力と連携を図っています。首都圏の国際交流団体の他、NPOやNGOの外国人相談の状況がわかる「東京外国人相談窓口マップ」（全12言語）を配付しております。

日本を知ってもらうことについて（主な意見）

- ・足立の政治、経済、文化、風習、慣習などのライブラリーコーナーを区に設置し、足立の本当の姿を外国人に理解しやすくする。（70代 男性）

【地域支援課の説明】

現在、区役所南館3階通路と南館1階外国人登録係前及び中央館2階区政情報室前の一部に外国人向けの情報コーナーを用意しています。しかし、多言語の対応の取り組みの不足や、日本や足立をより深く知っていただくための情報提供が不足していますので、別途ご意見をいただいている生活密着情報と併せ、既存の区の施設の活用や、地域のボランティアの協力を得て積極的に情報提供してまいります。

以上

第4回アンケート

住民基本台帳事務及び戸籍事務
の改善に向けて

1 調査の概要

この報告書は、平成14年度第4回区政モニターアンケート「住民基本台帳事務及び戸籍事務の改善に向けて」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

区政モニターの意見を聞き、今後の足立区の住民基本台帳事務及び戸籍事務の事業運営を検討する上での参考にさせていただくことを目的として調査を行いました。

3 実施時期

平成14年12月13日～12月24日

4 対象者数、回答者数

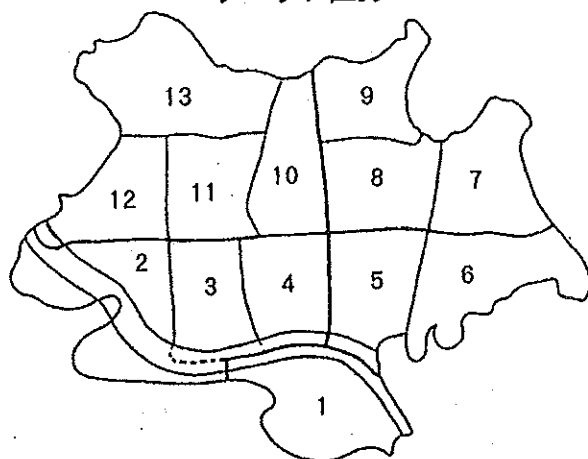
(1名区外転出のため、対象者は199人)

対象者 199人 回答者 198人

5 調査方法(調査票の送付・送信方法と回答者の人数)

- ・郵便 145人
- ・ファクス 7人
- ・インターネット 46人

ブロック区分



6 回答者の構成

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	11	16	2	6	8	3	8	11	3	8	11	7	10	17
ファクス	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
インターネット	2	7	9	1	2	3	0	3	3	1	1	2	1	1	2
合計	7	19	26	3	9	12	3	11	14	4	9	13	9	11	20

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	14	16	5	6	11	2	9	11	3	4	7	6	8	14
ファクス	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
インターネット	5	3	8	0	1	1	0	3	3	1	2	3	2	4	6
合計	8	17	25	5	8	13	2	12	14	4	7	11	8	13	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	6	11	1	4	5	2	5	7	46	99	145
ファクス	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	7	9
インターネット	2	1	3	0	0	0	0	1	1	15	29	44
合計	7	7	14	1	5	6	2	7	9	63	135	198

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	14	15	7	43	50	6	12	18	4	11	15	19	15	34
ファクス	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	2	1	3
インターネット	3	7	10	3	14	17	5	3	8	2	3	5	2	2	4
合計	4	22	26	10	61	71	11	16	27	6	14	20	23	18	41

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	3	12	0	1	1	46	99	145
ファクス	0	0	0	0	0	0	2	7	9
インターネット	0	0	0	0	0	0	15	29	44
合計	9	3	12	0	1	1	63	135	198

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	7	10	0	1	1	8	9	17	0	66	66	15	10	25
ファクス	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0
インターネット	0	6	6	0	0	0	2	2	4	0	15	15	12	5	17
合計	3	14	17	0	1	1	10	12	22	0	86	86	27	15	42

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	20	6	26	46	99	145
ファクス	2	0	2	2	7	9
インターネット	1	1	2	15	29	44
合計	23	7	30	63	135	198

7 調査結果・分析の見方

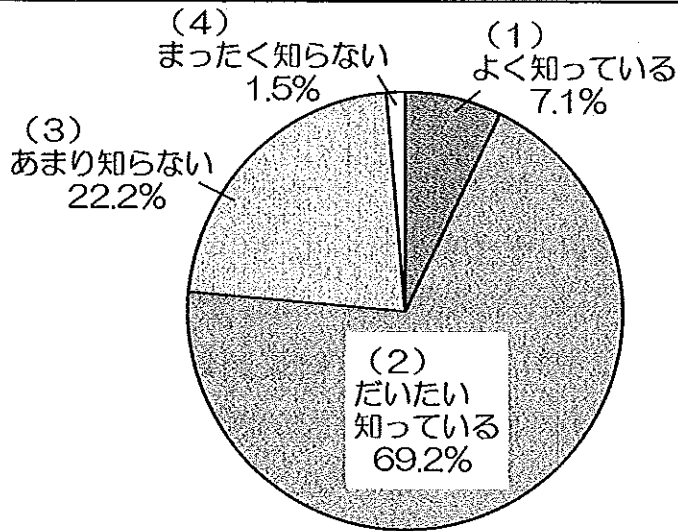
回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要 旨

問 1	住基ネット制度の周知度	「だいたい知っている」	69.2% (137人)
		「あまり知らない」	22.2% (44人)
問 2	住基ネットの内容の周知度 (複数回答)		
	「住基ネットに登録されている個人情報、以下の限られた情報だけである {11桁の住民票コード、住所氏名、生年月日、性別、異動情報 (転出・出生等) }」		80.5% (157人)
	「住基ネットに登録された個人情報は、国や地方自治体の機関等だけが、利用することができる」		62.1% (121人)
問 3	住基ネットの利便性の周知度 (複数回答)		
	「平成15年8月から、自分の住民票を足立区以外の役所でとることができる」		73.8% (144人)
問 4	住基カードの申し込み意向		
	「将来は申し込むかもしれない (自宅に居ながら電子申請ができる等、利用価値が高まれば使いたい)」		46.5% (92人)
	「申し込む気はない」		29.3% (58人)
問 6	本人確認が義務付けでないことの周知度	「知っている」	66.2% (131人)
問 7	本人確認のあり方		
	「法律に規定がなくても、戸籍届出や住民票、戸籍謄抄本の発行の際にも本人確認を行うべきである」		87.4% (173人)
問 8	住民票閲覧制度の周知度	「知っている」	53.0% (105人)
問 9	住民票閲覧制度のあり方		
	「公開を制限する方向を検討してほしい (法改正を含む)」		69.2% (137人)
	「現状のままでよい」		21.2% (42人)

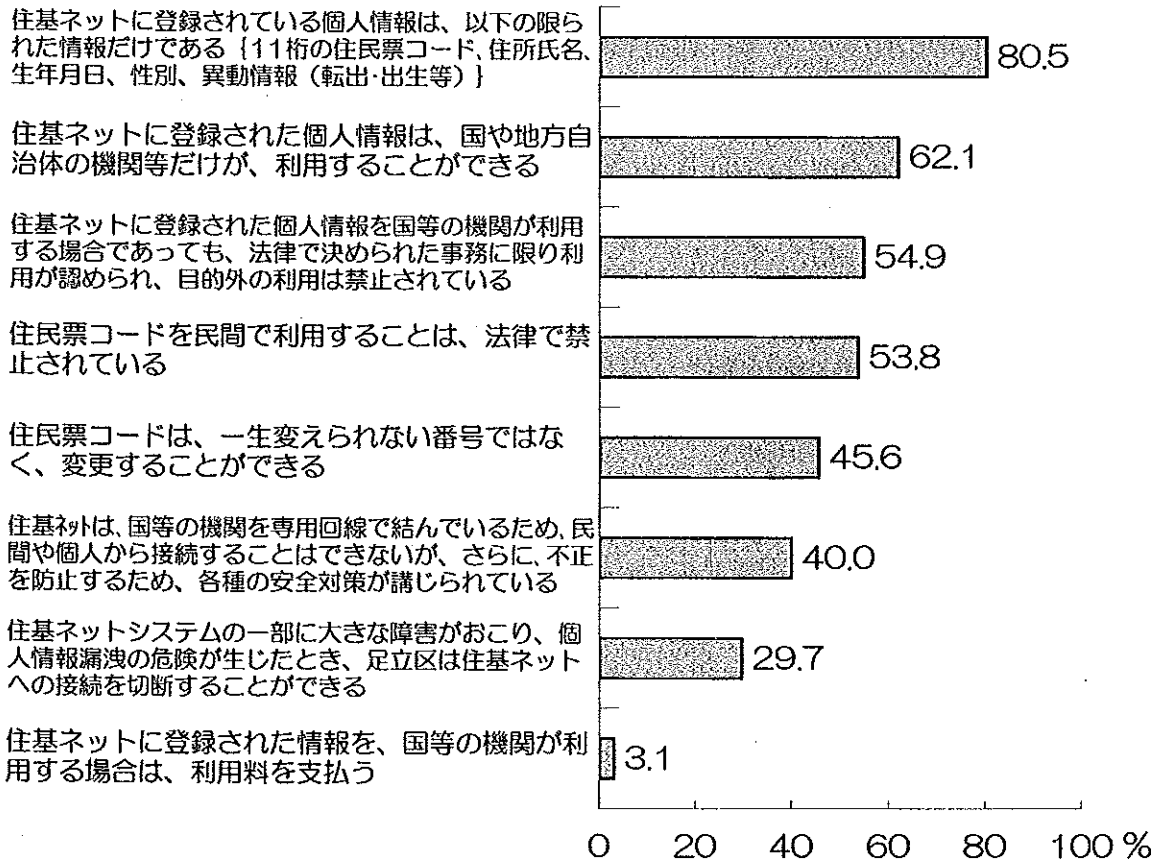
※ 問5、問10は記述回答のため割愛

問1 平成14年8月から住基ネットが稼動しました。あなたは、この制度についてご存知ですか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つだけ)



問2 問1で(1)～(3)を選んだ方だけにお聞きします。
住基ネットの内容について、あなたをご存知のことを次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

195人中



問3 問1で(1)～(3)を選んだ方だけにお聞きします。

住基ネットが稼動することによって便利になることがあります。あなたをご存知のことを、次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

195人中

(1) 平成15年8月から、自分の住民票を足立区以外の役所でとることができる

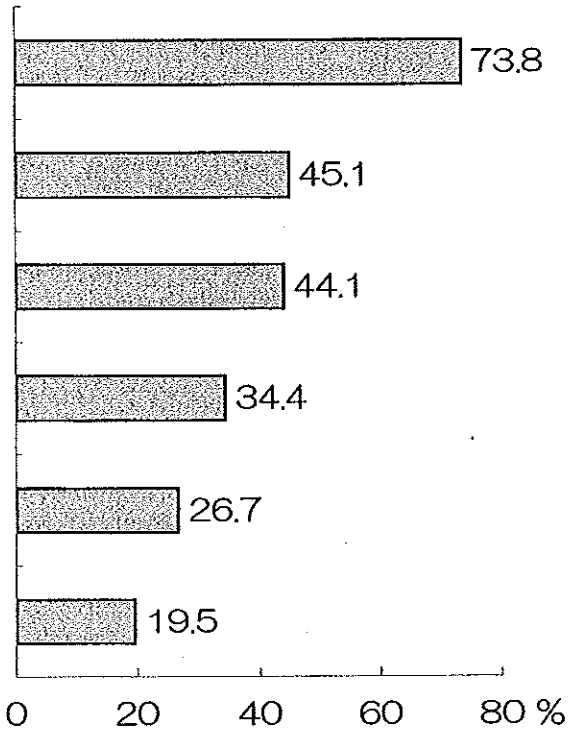
(4) 将来、役所の窓口に出向くことなく、自宅のコンピュータから申請(電子申請)できるようになる

(5) 平成15年8月から、希望すれば身分証明書として活用できる住基カードを取得することができる

(2) 国や都で行っている93の事務で、住基ネットを活用することにより住民票の提出が不要となった

(6) 住基カードは、カード本来の機能の他に、自治体が独自サービスとして機能を盛り込むことができる

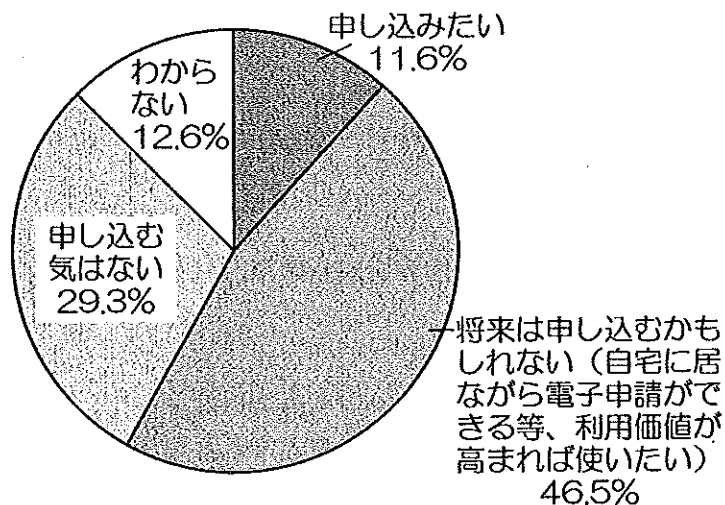
(3) 住基ネット利用の追加法案が成立したので、パスポート申請など264の事務に住民票の提出が不要となる予定である



問4 問3の選択肢(5)(6)にあるように、住基カードは、身分証明書としても活用できます。

また、自治体が独自サービスとしての機能を盛り込むこともできます。平成15年8月から、希望者に有料で住基カードを発行します。あなたは、住基カードを申し込みたいとお考えですか。個人負担を1,000円くらいと仮定して、次の中から1つ選んでください。(〇は1つだけ)

(〇は1つだけ)



問5 住基ネットについて、あなたのご意見をお聞かせください。(記述)

主な意見

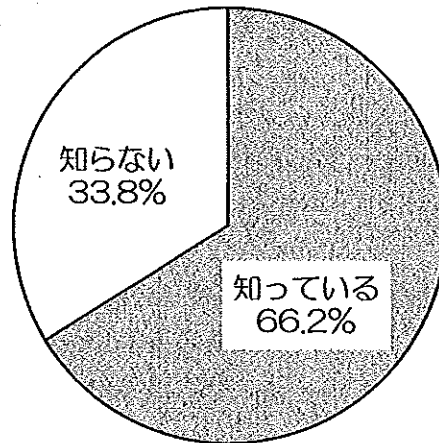
- ・ 住基ネットは、個人プライバシーに大きく関わるのに住民に拒否権がなく、悪意のある第三者による個人情報漏洩の危険性が広がった。住民票の不正取得が絶えない昨今、本当に不安だ。やり方については再考する必要がある。(20代 男性)
- ・ 自分の足で行って申請などをするので、普段行く機会の少ない役所などへも出向くし、システムを理解できる。人と人が直接会って行う方がよい。(20代 女性)
- ・ 住民票や戸籍謄本などはたまにしか使わないので、住基ネットの価値が実感できない。情報の安全性の問題も完璧なのか疑わしい。(20代 女性)
- ・ 将来、必ずコンピュータと向き合わねばならないかと思うと、ついていけない人達はどうしたらよいのか。(20代 女性)
- ・ 住民票コードは、世帯毎に送るのではなく、個人別に送るべきではないか。また、送られてきたものが透けて見えるなどのトラブルがあった。配慮に欠けている。(20代 女性)
- ・ 住基ネットに賛成だ。しかし、便利になる点や業務効率化による公務員の削減など、メリットをもっと伝えていかないといけない。(30代 男性)
- ・ 「自治体が独自サービスとして機能を盛り込むことができる」とは、具体的に何のことかわからない。(30代 女性)
- ・ 新しいシステムを取り入れることは非常によいことだが、システムが稼働してからの問題点が明らかにされず、利用者として不満である。(30代 女性)
- ・ 住所、氏名、生年月日の情報はよい。しかし、個人の人格に関わるプライバシーが載るということを聞いたがどうなのか。(30代 女性)
- ・ 情報は絶対漏れると考え、その時どうするかを考えない限り、このシステムは稼働されるべきではない。(30代 女性)
- ・ 現在の住基ネットシステムの内容を読む限り、情報漏洩対策も含め、住民に利用しやすい便利なものになっていると思う。(30代 女性)
- ・ 今はまだ漠然としていて何のメリットも得ていないので、正直なところよくわからない。自分のコード番号を忘れてしまった場合などどうしたらよいのか。(30代 女性)

【問5、次ページに続く】

【問5、前ページから続き】

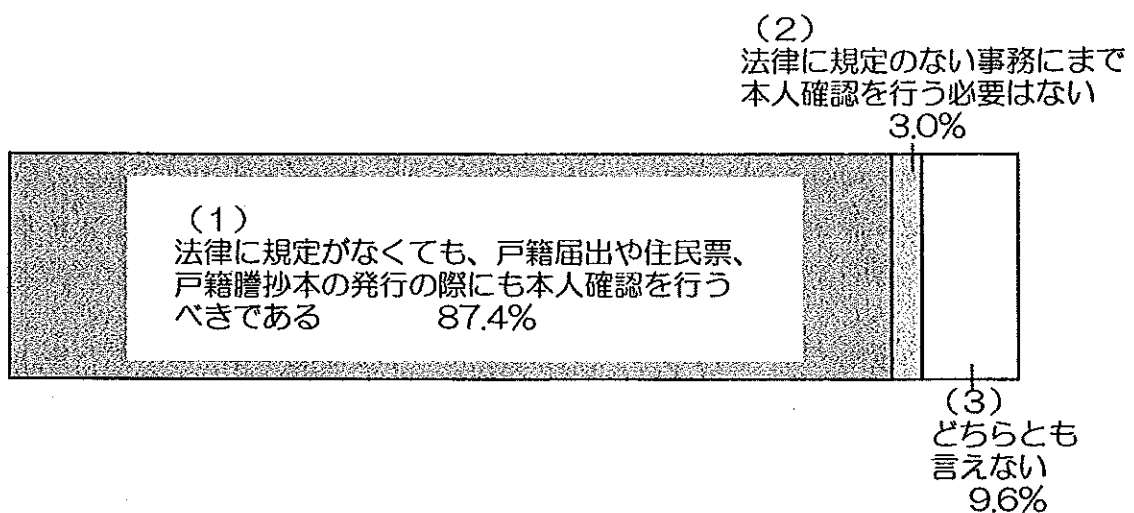
- ・ 安全対策がうまくいかなかったらどうするのか。もっと踏み込んだ考えを知りたい。
(30代 女性)
- ・ 住基ネットの利用法について、まだ知らないことが多くある。区としても、分かりやすい説明を区民にアピールしてほしい。区民として積極的に利用し、便利な生活に役立てたい。
(40代 男性)
- ・ 便利になる反面、自宅のコンピュータからも申請できるなど、ひとつ間違えば悪用されないか心配だ。
(40代 女性)
- ・ 何にでもコンピュータ化が進むことは問題で、番号により国民を管理することも感心しない。また、将来4項目だけに止まらず、所得や資産管理等も盛り込まれれば、今まで分散されていた情報が1つに管理される目的も見えてくる。個人情報がこのような展望で進んでいくことに反対である。
(50代 女性)
- ・ 電子化行政で効率向上には必要なシステムだ。しかし、プライバシー保護対策や管理方法をもっと具現化すべきだ。
(60代 男性)
- ・ 住基ネットは、今後の本人認証を必要とする電子政府・自治体システムにとっては必ず必要な仕組みである。悪用される恐れがあるのは関係職員と思われるので、組織上の内部けん制制度を機能させてほしい。民間では住民票コードを収集して販売するような業者が出現する恐れがある。それらへの罰則対応も必要だ。
(60代 男性)
- ・ 平成15年8月からの各種サービスに期待している。ただし、スタート時には予想できないトラブルが発生するので、自治体側でしっかり対応できるよう慣れてほしい。カードの千円は高い。できるだけ安くしてほしい。
(60代 男性)
- ・ 住民票コードさえ判明すれば全国どこでも住民票を入手できることは、便利な反面危険なことでもある。住民票コードのデータをほしい人は、違法な手段を使ってでも入手する。対策として、発行した履歴を1年に1度でも本人に通知するシステムが必要だ。(60代 女性)
- ・ 住基ネットは、住民にも行政にもメリットがあるので進めてほしい。ただし、情報漏洩防止のための対策を、制度・技術及び運用面から十分に行ってほしい。
(70代 男性)
- ・ 何事も便利になるだろうが、高齢者には飲み込めないようになるのが心配だ。
(70代 女性)

問6 現在の法律（住民基本台帳法、戸籍法）では、住民票の写しや戸籍謄抄本の交付はもちろん、戸籍届出（出生、死亡、結婚、離婚、養子縁組等）や住民異動届（転出・転入等）における本人確認は義務付けられていません。あなたは、このことをご存知ですか。次の中から1つ選んでください。（○は1つだけ）



問7 虚偽の届出等の防止と、個人情報を守る立場から、区では法律に規定がなくても住民異動に本人確認を行っています。今後、本人確認のあり方について検討していきたいと考えていますが、あなたは、このことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。また、選んだ理由についてもご記入ください。（○は1つだけ及び記述）

集計結果



【問7、次ページに続く】

【問7. 前ページから続き】

記述回答（主な理由）

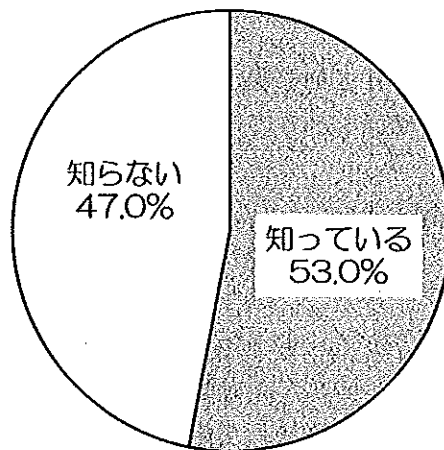
◎選択肢（1）を選んだ理由

- ・ これらの書類が不正に利用されて犯罪が起きている現状を考えれば、当然確認をすべきだ。（20代 男性）
- ・ 法律に規定があっても、どこから覗かれているかわからない時代に不安を感じる。一方で、本人が行けない場合もあるので、そこは柔軟に対応してもらいたい。（20代 女性）
- ・ 法律に規定がない行為は認められないが、悪用防止の観点からやむを得ない。しかし、早急に法制化するような働きかけが必要であり、本人確認の根拠を確立すべきだ。（30代 男性）
- ・ 確認されなくても発行されてしまう住民票が身分証明になってしまう。免許や保険証を持参していない人にも、何らかの確認は必要だ。（30代 女性）
- ・ 第三者が取得できると思うと気持ちが悪い。犯罪やトラブルを聞くにつけ、確認は必要と感じる。（30代 女性）
- ・ 本人確認に不便な手間があったとしても、安全な運用が一番だ。（40代 男性）
- ・ 実際、現金書留を私に成りすまして受け取られたことがあった。本人確認無しで住民票を渡さないでほしい。（40代 女性）
- ・ 本人の知らないうちに戸籍の届出を出されて困っているという話がよくある。犯罪も多様化しており、個人情報を守る意味において本人確認は大切だ。（50代 女性）
- ・ 関係のない他人が財産を取得したり、不動産を転売している事例を数多く聞いている。（60代 男性）
- ・ まさに個人情報である。それを本人（または家族）の同意なしに交付するのは論外だ。（60代 男性）
- ・ 不正な戸籍届出や住民異動等で犯罪が起きているので、本人確認をより厳格に行うべきだ。（70代 男性）
- ・ 世間を騒がす結婚詐欺とか戸籍詐称（金融関係等）などの防止で厳重にすべきだ。（80代 女性）

◎選択肢（2）、（3）を選んだ理由

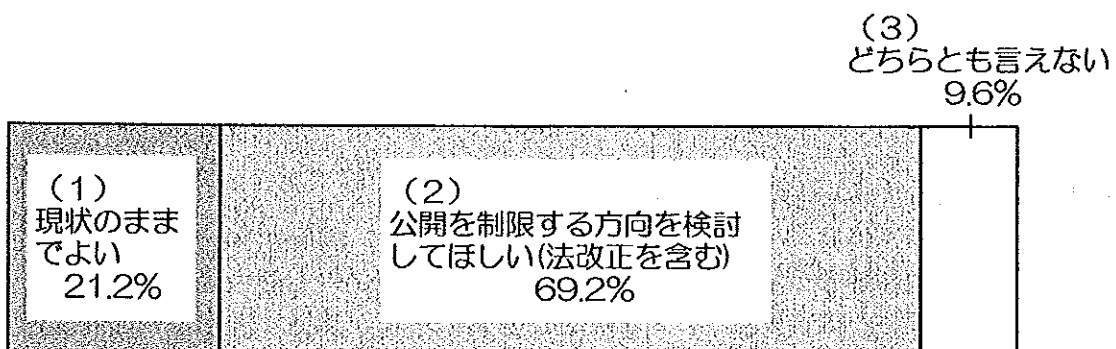
- ・ もし病気になって他人に手続きを頼むとしたら、確認がない方が便利だ。これから一人身の高齢者が増える中、本人でないとダメといのもきつい。（20代 女性）
- ・ 虚偽の防止は必要だが、そのために日常の業務が迅速に進まないのは問題だ。バランスが難しい。（30代 男性）
- ・ 法改正の後に、本人確認を義務付けるべきだ。（40代 男性）
- ・ 理由さえはっきりしていれば、そこまでする必要はない。（50代 女性）
- ・ 何にでも本人確認を必要とするのは、市民生活上はなはだ不便だ。（60代 男性）

問8 住民基本台帳法では、住民票の記載項目のうち「住所・氏名・生年月日・性別」の4項目については、不当な理由でない限り、だれでも閲覧することが可能になっています。あなたは、このことをご存知ですか。次の中から1つ選んでください。(○は1つだけ)



問9 住民票の閲覧制度を活用して、ダイレクトメールなどが送付されることがあると思います。このようなことを不快に思う場合もあるかもしれません。しかし、一方では、入園・入学や成人式を迎える人にとっては、関係する情報が得られるということもあります。個人情報が見られていることについて、あなたはどうしてお考えになりますか。この制度のこれからのあり方について、次の中から1つ選んでください。また、選択肢(1)を選ばれた方はその理由を、選択肢(2)を選ばれた方は、制限の仕方について具体的な案がありましたらご記入ください。(○は1つだけ及び記述)

集計結果



【問9、次ページに続く】

【問9、前ページから続き】

記述回答（主な理由・具体案）

◎選択肢（1）を選んだ理由

- ・ 不快なダイレクトメールや勧誘の電話は、断ればよいだけ。その中に必要な情報があることもある。（20代 女性）
- ・ 既にダイレクトメールがどんどん送られてきている。住民票の閲覧制度を今さら制限しても意味がない。（30代 女性）
- ・ 迷惑なダイレクトメールもあるが、入学前のランドセルの情報等、ためになったものもある。個人情報を閲覧する際、目的が明確であれば構わない。（30代 女性）
- ・ 住所、氏名、生年月日、性別だけであれば特に気にするまでもない。（40代 男性）
- ・ 不当な理由かどうか判断するのは難しい。（50代 女性）
- ・ コマーシャルも大切な情報であり、その取捨選択は各自に任せるべきだ。（60代 男性）

◎選択肢（2）の具体案

- ・ 個人で選択できる方法がよい。“閲覧させる・閲覧させない”も、選択できるようにする。（20代 女性）
- ・ 住所の番地までは公開せずに、町名までにとどめる。（20代 女性）
- ・ 公的要素が含まれているものについて公開、商行為としての閲覧は制限するといった基準を設ける。（30代 男性）
- ・ 住民自らが自己の情報を管理し、公開してもよい情報をどの段階まで提供してもよいか、決めることができるようにする。（30代 男性）
- ・ 不要なダイレクトメールが多い。こちらのほしい情報を選択でき、その関連の会社にだけ見せる。（30代 女性）
- ・ 登録された人が、積極的に閲覧を許可した場合に限り閲覧を可とする。そのような法的規制を設ける。（40代 女性）
- ・ ルール違反した場合のペナルティを設ける。個人情報は非公開が原則だ。（50代 男性）
- ・ 公開により、よい点もある。ただ、自分の住民票を、いつ、誰が、何の目的で閲覧したのかを知りたい。閲覧履歴が分かるようにする。（50代 女性）
- ・ 身分証の提示を求め、誰が閲覧を求めたのか、個人情報の本人に通知する。（60代 男性）
- ・ 閲覧者は企業が多いので、利用目的をはっきりさせ、企業の定款や決算書等を提出させる。（60代 男性）
- ・ 閲覧申請時には住基カードを必要とし、閲覧した人の情報も必要に応じて公開する。（60代 男性）
- ・ 閲覧申請の理由を分析してから検討をし、具体的なことは分析の結果で行う。（60代 女性）
- ・ 公開したくない人は、公開拒否の申し出をする制度。（70代 女性）

問10 足立区の戸籍、住民記録、印鑑登録等の事務について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由回答)

主な意見・要望

- ・ 本庁まで行かなくても、区民事務所で手続きができるという便利さがあるのでよい。しかし、月1回でも、土・日どちらか半日でも、これらの事務を取り扱ってくれるとより便利だ。
(20代 男性)
- ・ 区内在住の両親に住民票を頼まれた。同居していないので、委任状が必要と思いレポート用紙に記入してもらい提出した。しかし、所定の用紙に書いて出してほしいと言われた。こうなると、2度も区民事務所に通わねばならず、急いでいたのに大変だった。委任状の理由もわかるが、委任状くらいならファクスで送るサービスがあってもよい。
(20代 女性)
- ・ 職員同士で談笑していたり、話をよく聞いてもらえなかったり、サンダル履きで対応されたりなどあまり気持ちがよい感じは受けない。事務も必要最小限の人数でこなせばよい。
(20代 女性)
- ・ コンビニエンスストアに設置されている機械では、いろいろな情報が24時間365日取り出せる。戸籍や住民票なども、便利な場所で24時間取り出せるようにしてほしい。また、事務手続きに関わる職員が多すぎるのではないか。
(30代 男性)
- ・ 印鑑登録のカードが2枚あり、いずれが正しいものであるのか確認に行った。しかし、法律により教えられないとのこと。運転免許証など、本人であることを提示したがだめだった。この場合、2枚のうちのどちらが正しく登録されているものであるかぐらいは教えてもらえないのだろうか。
(30代 男性)
- ・ 戸籍など区民が最も利用する機会が多い場所でも、待ち時間が非常に長く感じる。ケースバイケースで人員を配置してもらいたい。また、休日に窓口を開けてもらいたい。平日の昼間は、時間に余裕がない。
(30代 男性)
- ・ 身分を証明する場面が多くなった。しかし、顔写真入り、生年月日・住所(電話)入りの証明書となると、無職で運転免許証を持たない人は大変な苦勞をする。区として、簡易な身分証明カードなどをつくり、特定の人達だけにでも発行してもよい。
(30代 女性)
- ・ 運転免許証やパスポートでも偽造があるので、住民全員が住基カードを新たに持つことは、不正使用の面で怖い。例えば、銀行などでも身分証として使える訳だろうから、不正使用されたらどう対処するのか心配だ。
(30代 女性)
- ・ 事務についての手続きがわかりづらい。区で、手続きのしおりなどを作成し、各家庭に配布してほしい。
(30代 女性)

- ・ 住民票コード通知書が普通の郵便で送られてきたことは不快だった。他区では、プライバシーが漏れないよう気を使っている。もう少しやり方があったのではないか。今後、方法を検討してほしい。
(30代 女性)
- ・ 事務手続きについて、生年月日、住所、電話番号を窓口で聞くことがある場合、周囲の人に知られないよう配慮してほしい。窓口で、職員が手にしている他人の住民票を何かの拍子に目にしたことがある。気を付けてほしい。
(30代 女性)
- ・ 安全対策については、専門の部署をつくって常に監視しておいてほしい。コンピューターを使う習慣のない人が取り残されないよう、講習も同時に行ってほしい。こうした届出は、何年か一度しか行わないので、実感が湧かない。セキュリティーの方が不安になる。
(30代 女性)
- ・ 印鑑登録をする時、最初の窓口で印鑑を預かると言われた。しかし、印鑑は預けるべきではない。押印も自分の目の前で行ってほしい。「印鑑を預かってどこかに押されたら」とか「もしも落として割ったら」とか、そういうことを職員は考えないのだろうか。もう少し慎重かつ常識的な対応をしてほしい。
(30代 女性)
- ・ 印鑑証明について、登録証発行後は印鑑ではなく登録証のみが有効になっているのには疑問がある。印鑑または登録証を提出し、あとは身分証明書の確認でよい。また、登録証の発行は全員ではなく、選択性にすればコストも安くなる。
(40代 男性)
- ・ 夜間や休日の申請・受取り可能な窓口を充実してほしい。(但し、人件費等経費を増やさぬようシフト営業とする。例13:00-20:00、水~日曜日等)
(40代 女性)
- ・ 職員の対応も快く問題はない。ただ、戸籍、住民票、印鑑登録の手数料はどうしてあんなにかかるのか。税金で設備したものであり、住民サービスということからも、できれば無料にすることが望ましい。
(50代 男性)
- ・ 番号票を取り、番号順に呼び出しを受ける受付窓口の前には、相談できる人(案内係)をぜひ置いてほしい。自分はどうすればよいかをその人に聞き、それから順番を待ちたい。以前区役所で、番号票を取り、30分くらい順番を待ってから受付窓口で「証明書を持ってこないと受け付けられない」と言われたことがある。
(50代 男性)
- ・ 兄弟の戸籍謄本を代理で取得できたが、他人でも取得できることを知った時は不安を感じた。一方、地方で一人暮らしの母は、身体が不自由なのでヘルパーにお願いしたが、なかなか大変だった。
(50代 男性)
- ・ 柏市から足立区に引越してきて1年になるが、転入やその他わずらわしい手続きも丁寧な説明と態度で佐野区民事務所の職員が対応してくれた。いつも素早く親切な対応に、気持ちよく手続きができる。
(50代 女性)

- ・ 利用する回数は比較的多いが、応答の担当者の接し方の優劣が目立つ。窓口業務のサービスの一元化には、“教育”があり、“マニュアル”もある。運用に付いては、その指導者の力量が求められる。「指導者教育」の徹底を望む。 (60代 男性)
- ・ パスポート申請のため、戸籍謄本と住民票の交付を受けた。その際、パスポート申請案内と申請書類をもらい助かった。戸籍謄本や住民票は、何かの申請や請求のために必要となるので、その目的に沿ったアドバイスや情報を提供してほしい。 (60代 男性)
- ・ 印鑑証明などの書類を受け取る時は、名前ではなく番号で呼んでほしい。同じ苗字の場合、名前まで呼ばれる時がある。担当者はもっとプライバシーに敏感になってほしい。 (60代 女性)
- ・ 区役所及び各センター等の窓口で行う業務としては、どこでもできるようになっているので便利だ。書く所も住所・氏名くらいで本当に簡単になっている。印鑑がない時でもできるようになった。戸籍が区外にある時も区で取ってもらいたい。 (60代 女性)
- ・ 最近、職員の対応も感じがよい。あまり待たされることもなく満足している。 (60代 女性)
- ・ 電子化されることを望む。印鑑もよいが、サインも利用できるようになることを期待する。 (70代 男性)
- ・ 戸籍・住民記録・印鑑登録等の事務は、新しい情報化社会に取り残されることのないよう電子化すべきだ。その際肝要なことは、プライバシー保護についての厳格な基準を考慮して区民の幸福追求権を保全することが求められる。前者の電子化住基システムの促進・運用とプライバシーの保全とは民主主義社会の車の両輪の関係ともいえる。不均衡であってはならない。両者を均衡に保全・運行するための区民の監察機能の構築を求める。 (70代 男性)

平成14年度 第4回区政モニターアンケート

《住民基本台帳事務及び戸籍事務の改善に向けて》

モニター番号

番

今年8月から、住民基本台帳法の改正に基づき、住民基本台帳ネットワークシステム（以下、「住基ネット」という）がスタートしました。8月の開始前後には、全国的に議論が巻き起こり、区民の皆様からも貴重なご意見をいただきました。区としても、セキュリティ対策、情報提供等に努力してまいりましたが、さらに改善していく必要性を痛感しているところです。来年8月からは二次稼働（住民基本台帳カード《以下、「住基カード」という》の発行等）が予定されています。今後の事業運営の参考にさせていただくために、事業内容の周知度を調査させていただくとともに、あらためて区政モニターの皆様のご意見を伺いたいと思います。

また、近年、戸籍や住民異動届（転入・転出等）で、虚偽の届出が増えています。これらを防止し、個人情報を守るために、一部に本人確認（届出者や申請者が本当に本人であるかどうかを、身分証明書等で確認すること）を行っておりますが、本人確認の方向性についてご意見をいただきたいと考えています。さらに、住民票の閲覧制度についても、個人情報保護の観点からご意見をいただくことが多くなりました。これらについても、区政モニターの皆様のご意見を伺い、今後の事業運営の参考にさせていただきたいと思います。

よろしくご協力をお願いします。

《住基ネットについて》

問1 平成14年8月から住基ネット（資料「住民基本台帳ネットワークシステムが始まりました」を参照）が稼働しました。あなたは、この制度についてご存知ですか。次の中から1つ選んでください。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------------|-------|---------|
| (1) よく知っている | _____ | } → 問2へ |
| (2) だいたい知っている | _____ | |
| (3) あまり知らない | _____ | |
| (4) まったく知らない | _____ | |

問2 問1で(1)～(3)を選んだ方だけにお聞きします。

住基ネットの内容について、あなたをご存知のことを次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

- (1) 住基ネットに登録されている個人情報、以下の限られた情報だけである
{11桁の住民票コード(資料「住民基本台帳ネットワークシステムが始まりました」を参照)、住所、氏名、生年月日、性別、異動情報(転入・出生等)}
- (2) 住基ネットに登録された個人情報は、国や地方自治体の機関等(以下「国等の機関」という)だけが、利用することができる
- (3) 住基ネットに登録された個人情報を国等の機関が利用する場合であっても、法律で決められた事務に限り利用が認められ、目的外の利用は禁止されている
- (4) 住基ネットに登録された情報を、国等の機関が利用する場合は、利用料を支払う
- (5) 住民票コードを民間で利用することは、法律で禁止されている
- (6) 住民票コードは、一生変えられない番号ではなく、変更することができる
- (7) 住基ネットは、国等の機関を専用回線で結んでいるため、民間や個人から接続することはできないが、さらに、不正を防止するため、各種の安全対策が講じられている
- (8) 住基ネットシステムの一部に大きな障害がおこり、個人情報漏洩の危険が生じたとき、足立区は住基ネットへの接続を切断することができる

問3 問1で(1)～(3)を選んだ方だけにお聞きします。

住基ネットが稼働することによって便利になることがあります。あなたをご存知のことを次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

- (1) 平成15年8月から、自分の住民票を足立区以外の役所でとることができる
- (2) 国や都で行っている93の事務で、住基ネットを活用することにより住民票の提出が不要となった
- (3) 住基ネット利用の追加法案が成立したので、パスポート申請など264の事務に住民票の提出が不要となる予定である
- (4) 将来、役所の窓口へ申請に出向くことなく、自宅のコンピュータから申請(電子申請)できるようになる
- (5) 平成15年8月から、希望すれば身分証明書として活用できる住基カードを取得することができる
- (6) 住基カードは、カード本来の機能の他に、自治体が独自サービスとして機能を盛り込むことができる

〔問7, 前ページから続き〕

ていますが、あなたは、このことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。また、選んだ理由についてもご記入下さい。(○は1つだけ及び記述)

- (1) 法律に規定がなくても、戸籍届出や住民票、戸籍謄抄本の発行の際にも本人確認を行うべきである
- (2) 法律に規定のない事務にまで本人確認を行う必要はない
- (3) どちらとも言えない

理由 (記述)

〈住民票の閲覧制度について〉

問8 住民基本台帳法では、住民票の記載項目のうち「住所・氏名・生年月日・性別」の4項目については、不当な理由でない限り、だれでも閲覧することが可能になっています。あなたは、このことをご存知ですか。次の中から1つ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) 知っている
- (2) 知らない

問9 住民票の閲覧制度を活用して、ダイレクトメールなどが送付されることがあると思います。このようなことを不快に思う場合もあるかも知れません。しかし、一方では、入園・入学や成人式を迎える人にとっては、関係する情報が得られるということもあります。

個人情報が見られることについて、あなたは、どのようにお考えになりますか。この制度のこれからのあり方について、次の中から1つ選んでください。また、選択肢(1)を選ばれた方はその理由を、選択肢(2)を選ばれた方は、制限の仕方について具体的な案がありましたらご記入下さい。(○は1つだけ及び記述)

- (1) 現状のままでよい

理由 (記述)

〔問9, 次ページへ続く〕

問4 問3の選択肢(5)(6)にあるように、住基カードは、身分証明書としても活用できます。また、自治体が独自サービスとしての機能を盛り込むこともできます。平成15年8月から、希望者に有料で住基カードを発行します。あなたは、住基カードを申し込みたいとお考えですか。個人負担を1,000円くらいと仮定して、次の中から1つ選んでください。

(○は1つだけ)

- (1) 申し込みたい
- (2) 将来は申し込むかもしれない
(自宅に居ながら電子申請ができる等、利用価値が高まれば使いたい)
- (3) 申し込む気はない
- (4) わからない

問5 住基ネットについて、あなたのご意見をお聞かせください。(記述)

記述

《届出や申請の際の本人確認について》

本人確認とは、戸籍や住民異動届(転入・転出等)の届出者や申請者が本当に本人であるかどうかを、身分証明書等で確認すること。
--

問6 現在の法律(住民基本台帳法、戸籍法)では、住民票の写しや戸籍謄抄本の交付はもちろん、戸籍届出(出生、死亡、結婚、離婚、養子縁組等)や住民異動届(転入・転出等)における本人確認は義務付けられていません。あなたは、このことをご存知ですか。次の中から1つ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) 知っている
- (2) 知らない

問7 虚偽の届出等の防止と、個人情報を守る立場から、区では法律に規定がなくても住民異動に本人確認を行っています。今後、本人確認のあり方について検討していきたいと考え

(問7, 次ページへ続く)

〔問9、前ページから続き〕

(2) 公開を制限する方向を検討してほしい（法改正を含む）

具体案（記述）

(3) どちらとも言えない。

問10 足立区の戸籍、住民記録、印鑑登録等の事務について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）

ありがとうございました。

集 計 表

(%)

住民基本台帳事務及び戸籍事務の改善に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	198	63	135	97	101
問1 住基ネット制度の周知度 N=198					
1 よく知っている	7.1	14.3	3.7	4.1	9.9
2 だいたい知っている	69.2	74.6	66.7	64.9	73.3
3 あまり知らない	22.2	11.1	27.4	28.9	15.8
4 まったく知らない	1.5	-	2.2	2.1	1.0
回答者数(人)	195	63	132	95	100
問2 住基ネットの内容の周知度 N=195					
住基ネットに登録されている個人情報、以下の限られた情報だけである {11桁の住民票コード、住所氏名、生年月日、性別、異動情報(転出・出生等)}	80.5	87.3	77.3	78.9	82.0
住基ネットに登録された個人情報は、国や地方自治体の機関等だけが、利用することができる	62.1	66.7	59.8	56.8	67.0
住基ネットに登録された個人情報を国等の機関が利用する場合であっても、法律で決められた事務に限り利用が認められ、目的外の利用は禁止されている	54.9	71.4	47.0	43.2	66.0
住基ネットに登録された情報を、国等の機関が利用する場合は、利用料を支払う	3.1	6.3	1.5	3.2	3.0
住民票コードを民間で利用することは、法律で禁止されている	53.8	63.5	49.2	44.2	63.0
住民票コードは、一生変えられない番号ではなく、変更することができる	45.6	52.4	42.4	40.0	51.0
住基ネットは、国等の機関を専用回線で結んでいるため、民間や個人から接続することはできないが、さらに、不正を防止するため、各種の安全対策が講じられている	40.0	57.1	31.8	26.3	53.8
住基ネットシステムの一部に大きな障害がおこり、個人情報漏洩の危険が生じたとき、足立区は住基ネットへの接続を切断することができる	29.7	47.6	21.2	15.8	43.0
問3 住基ネットの利便性の周知度 N=195					
1 平成15年8月から、自分の住民票を足立区以外の役所でとることができる	73.8	64.2	69.7	64.2	83.0
2 国や都で行っている93の事務で、住基ネットを活用することにより住民票の提出が不要となった	34.4	39.7	31.8	30.5	38.0

集 計 表						(%)
住民基本台帳事務及び戸籍事務の改善に向けて	全員	性別		年齢別		
		男	女	40歳未満	40歳以上	
3 住基ネット利用の追加法案が成立したので、パスポート申請など264の事務に住民票の提出が不要となる予定である	19.5	25.4	16.7	12.6	26.0	
4 将来、役所の窓口申請に出向くことなく、自宅のコンピュータから申請（電子申請）できるようになる	45.1	54.0	40.9	36.8	53.0	
5 平成15年8月から、希望すれば身分証明書として活用できる住基カードを取得することができる	44.1	54.0	39.4	30.5	57.0	
6 住基カードは、カード本来の機能の他に、自治体が独自サービスとして機能を盛り込むことができる	26.7	41.3	19.7	15.8	37.0	
回答者数(人)	198	63	135	97	101	
問4 住基カードの申し込み意向 N=198						
1 申し込みたい	11.6	22.2	6.7	3.1	19.8	
2 将来は申し込むかもしれない（自宅に居ながら電子申請ができる等、利用価値が高まれば使いたい）	46.5	44.4	47.4	48.5	44.6	
3 申し込む気はない	29.3	27.0	30.4	37.1	21.8	
4 わからない	12.6	6.3	15.6	11.3	13.9	
問6 本人確認が義務付けでないことの周知度 N=198						
1 知っている	66.2	63.5	67.4	61.9	70.3	
2 知らない	33.8	36.5	32.6	38.1	29.7	
問7 本人確認のあり方 N=198						
1 法律に規定がなくても、戸籍届出や住民票、戸籍謄抄本の発行の際にも本人確認を行うべきである	87.4	92.1	85.2	81.4	93.1	
2 法律に規定のない事務にまで本人確認を行う必要はない	3.0	-	4.4	3.1	3.0	
3 どちらとも言えない	9.6	7.9	10.4	15.5	4.0	
問8 住民票閲覧制度の周知度 N=198						
1 知っている	53.0	69.8	45.2	40.2	65.3	
2 知らない	47.0	30.2	54.8	59.8	34.7	
問9 住民票閲覧制度のあり方 N=198						
1 現状のままでよい	21.2	36.5	14.1	12.4	29.7	
2 公開を制限する方向を検討してほしい（法改正を含む）	69.2	50.8	77.8	77.3	61.4	
3 どちらとも言えない	9.6	12.7	8.1	10.3	8.9	

1 アンケート集計結果の今後の活用

【戸籍住民課の説明】 今回の調査では、住基ネットにつきまして、個人情報保護・セキュリティ対策に多くのご意見をいただきました。区もより一層の強化に努力するとともに、情報提供を充実する等事業の改善に努めてまいります。また、今回いただいたご意見等を本人確認の基準作成の参考として活用させていただきます。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

住基カードについて（主な意見）

- (1) 自治体の独自機能とはどんな機能が不明（30代 女性）
- (2) 運転免許証やパスポートでも偽造があるので不正使用が怖い（30代 女性）
- (3) カード発行手数料 1,000 円は高い。無料にしてほしい（60代 男性）

【戸籍住民課の説明】

- (1) 自治体の独自サービスについて総務省では、「印鑑登録カード・施設予約カード・図書カード・医療情報等の機能」を追加することができるとしています。これらの機能を追加すると何枚ものカードを持たなくてもよいというメリットもありますが、足立区では、先行自治体の結果や費用対効果を考慮し、慎重に検討していく予定です。
- (2) 住基カードは、身分証明書として活用できるカードですので、発行につきましては、印鑑登録と同じ様に厳密な本人確認をし、安全性の確保や悪用防止に努めていきたいと考えています。
- (3) 各証明書等の手数料につきましては、証明書等を必要な人に応分の負担をしていただいております（受益者負担の原則）。現状では、23区ほぼ同額の手数料となっております。住基カードの手数料につきましては、カード単価が現状では1,000円を超えているため、設問では、手数料を1,000円と仮定させていただきました。しかし、カード発行に要する実際の個人負担金は、議会の議決による手数料条例で決めていくこととなります。

届出や申請の際の本人確認について（主な意見）

* 本アンケート設問7の集計結果、記述回答をひまえて

【戸籍住民課の説明】 本人確認が必要という多くのご意見をいただきました

た。区独自の規定を制定して本人確認を実施していきたいと考えます。

なお、一部の方に誤解を生じていたことについて、以下の通りご説明します。

(1) 「本人が直接申請できない場合に家族等に委任する場合もあり、不都合が生じる場合もある」というご意見がありました。

本人確認は窓口申請に来た方について身分証明で確認させていただくことを考えておりますので、代理人の申請を拒否するものではありません。代理人につきましては、委任状で本人の意思を確認し、窓口に来た代理人の身分を確認のうえ、申請を受理します。

(2) 「本人（家族）の承諾なしに住民票を発行するのは論外だ。」というご意見がありました。

住民票の発行や閲覧の申請については、本人や家族以外の者からの申請であっても受付ける場合があります。例えば、貸借関係について、貸主から申請があった場合、借用書等で住民票の申請理由を確認のうえ発行することとなります。

住民票の閲覧制度について

* 本アンケート設問9の集計結果、記述回答をふまえて

【戸籍住民課の説明】 たくさんのダイレクトメールに不愉快な気持ちになっている方が多く、公開を制限する方向での様々なご提案をいただきました。しかし、「このままでよい」という意見も約20%程度あり、これも大切な見解がたくさん含まれていたように思います。

閲覧項目等の制限や閲覧の可否を本人の選択性にしてほしい等のご意見がありましたが、法的な制約等があり、すぐに実行することは困難であることをご理解いただきたいと思います。

なお、住基ネットに関して、「住基ネット稼働後にダイレクトメールが増えた。業者に聞いたところ住基ネットで調べた」というご意見がありましたので、これについてお答えします。

住基ネットで業者が調べることはできません。法律でも禁止されていること、また、コンピュータを接続できないことから、調べる方法もありませんので、住基ネットの稼働が原因でダイレクトメールが増えたということは無いと思われます。

住基ネットの安全対策について（主な意見）

- (1) 自分の情報が漏れそうな不安がある。もし、職員が悪用した場合には、
嚴重に処罰すべきだ（60代 男性）
- (2) 個人情報漏えいの問題が無ければ便利だ（40代 女性ほか）
- (3) 漏えい、悪用等の不安感が拭いきれない（20代 男性ほか）

【戸籍住民課の説明】 安全対策につきましては、技術面、運用面、制度面において様々な対策が講じられています。今後とも安全対策に留意して個人情報の保護に努めてまいります。

《技術上の対策》

- ・専用回線を使用している。
- ・不正侵入を制御している。
- ・不正プログラムを制御している。
- ・データを暗号化している。

《運用対策》 セキュリティ対策委員会を設置し、以下の対策を講じている。

- ・責任体制を明確にしている。
- ・住基ネットを操作する職員全員に研修を行っている。
- ・緊急時に的確に対応するため、緊急時対応計画書を策定している。

《制度面での対策》

- ・住民基本台帳法

住民基本台帳事務に関する秘密の漏えいの場合の罰則は、1年以下の懲役又は3万円以下の罰金となっていました。しかし、住基ネットを利用しての秘密漏えいに関する罰則には、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金という重い罰則を設けました。また、民間が契約の取引条件として住民票コードを聞いたり、データベースを作成することに対し、知事による中止の勧告・命令権を設け、命令違反には1年以下の懲役又は50万円以下の罰金という罰則を設けました。

- ・足立区職員の懲戒処分に関する指針（平成14年10月決定）

不正アクセスや情報漏えいを行った場合には、免職も含め嚴重に処罰されます。

住基ネットの個人情報について（主な意見）

- (1) 住所、氏名、生年月日の情報はよい。しかし、個人のプライバシーが載ると聞いたがどうか（30代 女性）
- (2) 将来、4項目に止まらず、所得や資産管理等の情報も盛り込まれれば、今まで分散していた情報が一元管理できる。個人情報の管理がこのような展望で進んでいくことに反対だ（50代 女性）

【戸籍住民課の説明】 住基ネットの情報に、個人の人格に係わる情報や税情報が追加されるのではないかと危惧されているご意見がございましたが、現在の法律では、住民票コードのほかは「住所、氏名、生年月日、性別、異動情報（転出、出生等）」に限られています。今後、さらに他の情報を追加する場合には、法改正が必要です。また、個人の人格に係わる情報を住基ネットに追加するといったことは、技術的にもその他の面においても困難であると思えます。

なお、足立区個人情報保護条例では、思想、信条、宗教に関する情報や、社会的差別の原因となる社会的身分に関する事項の情報収集を禁じています。

コンピュータに不慣れな方や高齢者へのフォローについて（主な意見）

- (1) 将来、必ずコンピュータと向き合わねばならないと思うと、ついていけない人はどうなるのか（20代 女性）
- (2) 便利になるのは結構だが、高齢者には飲み込めないようになる心配がある（70代 女性）

【戸籍住民課の説明】 電子自治体の推進で、自宅に居ながら申請が行えるという便利な仕組みができたとしても、従来通りの窓口申請をなくすことは考えておりません。区民の方々の選択肢が増えると考えております。

住民票コードについて（主な意見）

- (1) 自分の住民票コードを忘れてしまった場合はどうなるのか（30代 女性）
- (2) 住民票コードさえ判明すれば、全国どこでも住民票が入手できることは、便利な反面危険だ（60代 女性）

【戸籍住民課の説明】

- (1) 住民票コードを忘れてしまった場合、住民票コード記載の住民票を有料

でお取りいただければ、番号は分かります。ただし、本人又は同居のご家族だけしか申請できません。

- (2) 住民票コードと本人確認は別と考えています。住民票コードの番号を知っているからといって住民票を取得できるということはありません。なお、コード番号の使い道につきましては、区民の皆様が住民票を添付するかわりに、コード番号を記載して申請できるということが一部（パスポート申請）検討されています。

住基ネットの広報について（主な意見）

- (1) 住基ネットには賛成だが、便利になる点や事務効率化による公務員の削減など、メリットをもっと伝えていかないといけない（30代 男性）
- (2) 住基ネットの利用法について、知らないことが多くある。分かりやすい説明を区民にアピールしてほしい（40代 男性）

【戸籍住民課の説明】 区の広報紙を通じて広報活動を行ってまいりましたが、住民票コードが変更できるということの周知度が半数を下回る等、広報活動が十分ではなかったと感じました。今後、より一層、広報活動の強化に務めてまいります。

サービスアップ及び接客態度について（主な意見）

- (1) コンビニエンスストアに設置されている機械では、いろいろな情報が24時間365日取りだせる。戸籍謄本や住民票なども便利な場所で24時間取りだせるようにしてほしい（30代 男性）
- (2) 区役所及び各センターの窓口で行う事務は、どこでもできるようになっているので便利だ。戸籍が足立区外にある場合でも区で取ってほしい（60代 女性）

【戸籍住民課の説明】

現在実施しているサービス

《夜間サービス》

北千住サービスセンターにおいて、平日19時（月末を除く）までと土曜日に別紙1のサービスを行っています。

《予約住民票の土曜日発行サービス》

金曜日の4時までに区民事務所で電話予約をお受けした住民票を土曜日に

公社等の窓口で発行しています（別紙2）。

《住民票の宅配サービス》

電話で申請を受理し、郵便で自宅（住民登録地に限る）にお届けします。ただし、代金引換郵便料等も申請人の負担となり、1通をとる場合700円かかります。

※ 現状で行っているサービスの外、職員の接客態度等についても、現在、サービスアップ検討委員会を設置して討議中です。また、平成14年12月のオンライン3法案の可決により、自宅のパソコンから各種の申請ができる電子申請の法的整備ができました。戸籍謄抄本の発行につきましては、本籍地で証明発行することに変更ありませんが、戸籍が区外にある方は、今後、このようなサービスを利用することができるよう検討してまいります。

サービスアップや、接客態度向上に向けて努力してまいりますので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

第5回アンケート

これからの生涯スポーツ振興
に向けて

1 調査の概要

この報告書は、平成14年度第5回区政モニターアンケート「これからの生涯スポーツ振興に向けて」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

平成14年9月策定の「足立区生涯スポーツ振興計画」の推進にあたり、区政モニターの皆様のご要望や意見等を伺い、今後の施策の指針とすることを目的として調査を行いました。

3 実施時期

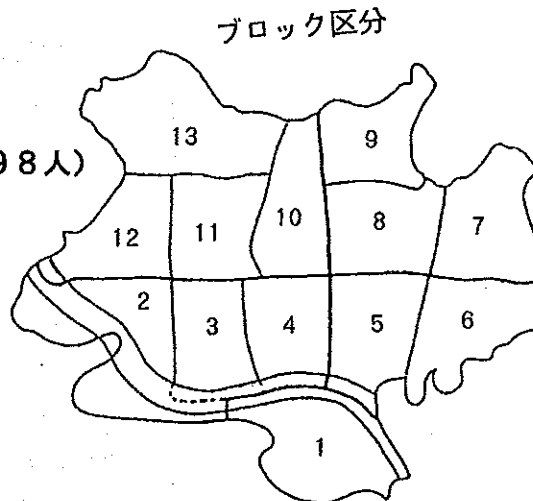
平成15年2月21日～3月4日

4 対象者数、回答者数（2名区外転出のため、対象者は198人）

対象者 198人 回答者 194人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

- ・郵便 145人
- ・ファクス 7人
- ・インターネット 46人



6 回答者の構成

(1) 地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	11	16	2	6	8	3	8	11	3	8	11	7	10	17
ファクス	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
インターネット	2	6	8	1	2	3	0	3	3	1	1	2	1	1	2
合計	7	18	25	3	9	12	3	11	14	4	9	13	9	11	20

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	13	15	4	6	10	2	9	11	3	3	6	6	8	14
ファクス	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
インターネット	5	3	8	0	1	1	0	3	3	1	2	3	2	4	6
合計	8	16	24	4	8	12	2	12	14	4	6	10	8	13	21

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	5	6	11	1	4	5	2	5	7	45	97	142
ファクス	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	7	9
インターネット	2	1	3	0	0	0	0	1	1	15	28	43
合計	7	7	14	1	5	6	2	7	9	62	132	194

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	13	14	7	43	50	5	11	16	4	11	15	19	15	34
ファクス	0	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	2	1	3
インターネット	3	7	10	3	14	17	5	3	8	2	2	4	2	2	4
合計	4	21	25	10	61	71	10	15	25	6	13	19	23	18	41

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	3	12	0	1	1	45	97	142
ファクス	0	0	0	0	0	0	2	7	9
インターネット	0	0	0	0	0	0	15	28	43
合計	9	3	12	0	1	1	62	132	194

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	7	10	0	1	1	8	7	15	0	66	66	14	10	24
ファクス	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0
インターネット	0	6	6	0	0	0	2	2	4	0	14	14	12	5	17
合計	3	14	17	0	1	1	10	10	20	0	85	85	26	15	41

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	20	6	26	45	97	142
ファクス	2	0	2	2	7	9
インターネット	1	1	2	15	28	43
合計	23	7	30	62	132	194

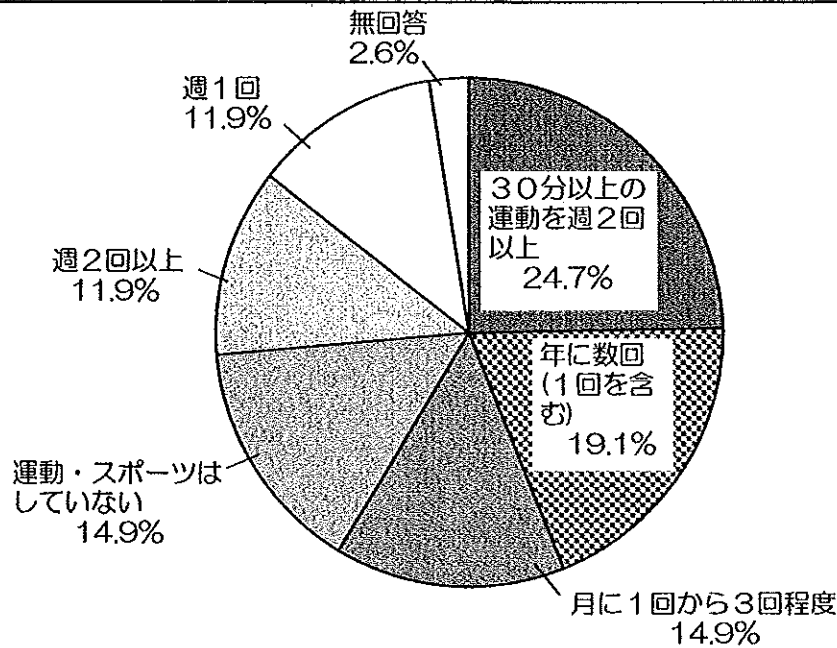
7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要 旨

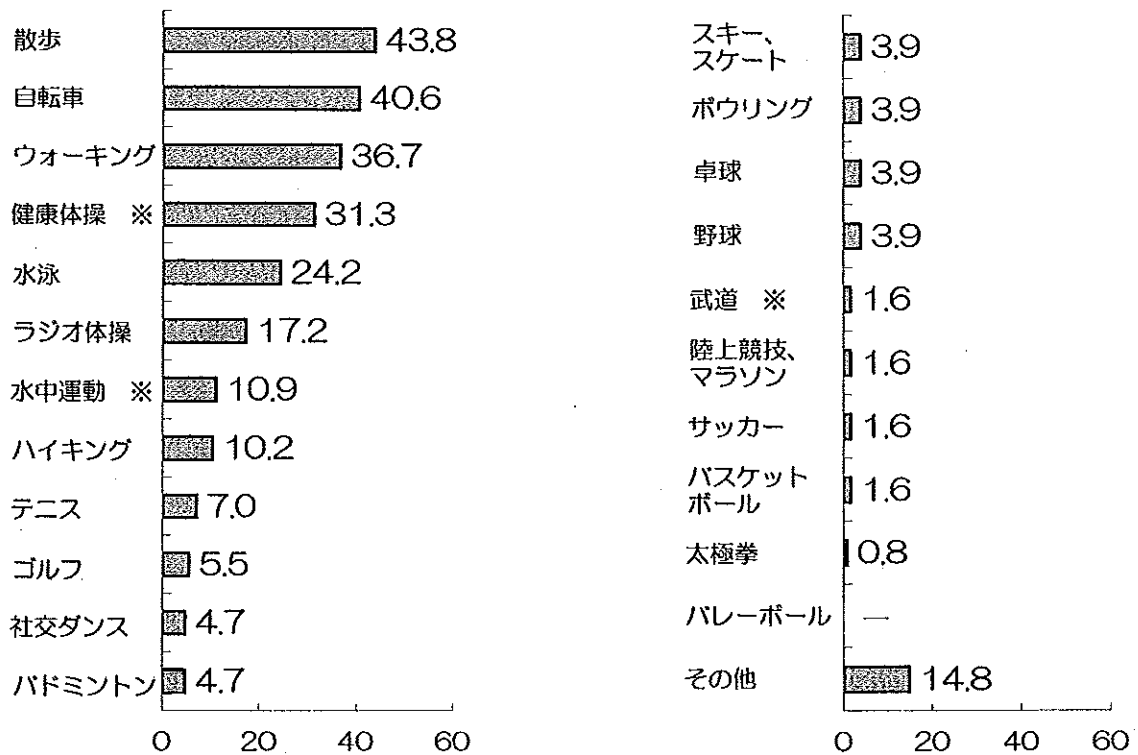
問 1	行った運動・スポーツの頻度	「30分以上の運動を週2回以上」	24.7% (人)
問 2	行った運動・スポーツの種類	「散歩」	43.8% (人)
問 3	運動・スポーツを行わなかった理由	「仕事(家事・育児)が忙しく時間がない」	78.8% (人)
問 4	今後行いたい運動・スポーツ	「健康体操(エアビクス、ストレッチ、リズム体操など)」	50.0% (人)
問 5	地域活動・行事への参加頻度	「時々参加する」	38.1% (人)
問 6	総合型地域スポーツクラブの周知度	「今回のアンケートで初めて知った」	62.4% (人)
問 7	総合型地域スポーツクラブを知った媒体	「あだち広報(スパーアップ)」	68.5% (人)
問 8	魅力を感じる総合型地域スポーツクラブの特徴	「学校、住区センター等の身近な施設で気軽に参加できる」	53.6% (人)
問 9	適当な総合型地域スポーツクラブの会費	「500円～1,000円未満」	38.7% (人)
問 10	KITクラブ21の周知度	「今回のアンケートで初めて知った」	78.4% (人)
問 11	総合型地域スポーツクラブへの参加意向	「一般の会員として参加したい」	55.7% (人)
問 12	総合型地域スポーツクラブ育成の必要度	「必要だと思う」	43.8% (人)
問 13	地域スポーツの効果	「地域のコミュニティの形成」	57.7% (人)
問 14	生涯スポーツ振興の力点	「スポーツ教室の充実」	52.1% (人)
※	問15は記述回答のため割愛		

問1 あなたはこの1年間で、散歩やウォーキングを含めてどの程度運動・スポーツを行いましたか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つだけ)



問2 問1で(1)~(4)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたがこの1年間に行った運動・スポーツで主なものを次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)



※ 健康体操 (エアロビクス、ストレッチ、リズム体操など) 水中運動 (ウォーキング、エクササイズ)

武道 (柔道、剣道、空手など)

【問2、次ページに続く】

【問2、前ページからの続き】

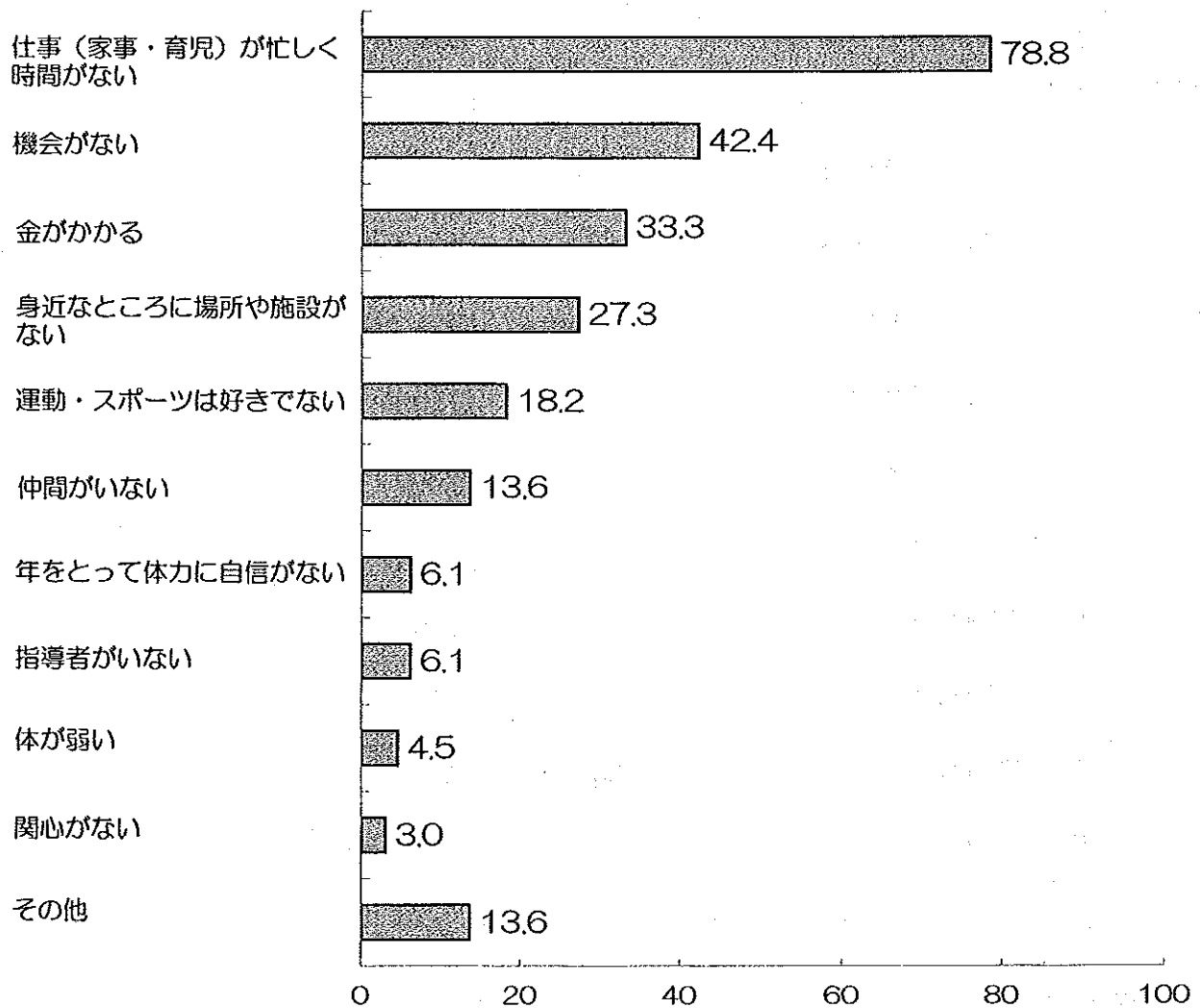
記述回答（主な運動スポーツ）

◎その他の運動・スポーツ

- ・ 乗馬（20代 女性）
- ・ ファミリーテニス（30代 女性 ほか）
- ・ 子どもと広い公園で遊ぶ。（30代 女性）
- ・ クラシックバレエ、アルゼンチンタンゴ、ダンス（40代 女性）
- ・ この6年間、ほとんど毎日、中川のサイクリングロードを歩いている。
（60代 男性）
- ・ マシントレーニング（50代 女性 ほか）
- ・ スカッシュ（60代 男性）
- ・ 気功（60代 男性）

問3 問1で(5)(6)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたが、この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった主な理由を次の中からいくつでも選んでください。（〇はいくつでも）



【問3、次ページに続く】

【問3、前ページからの続き】

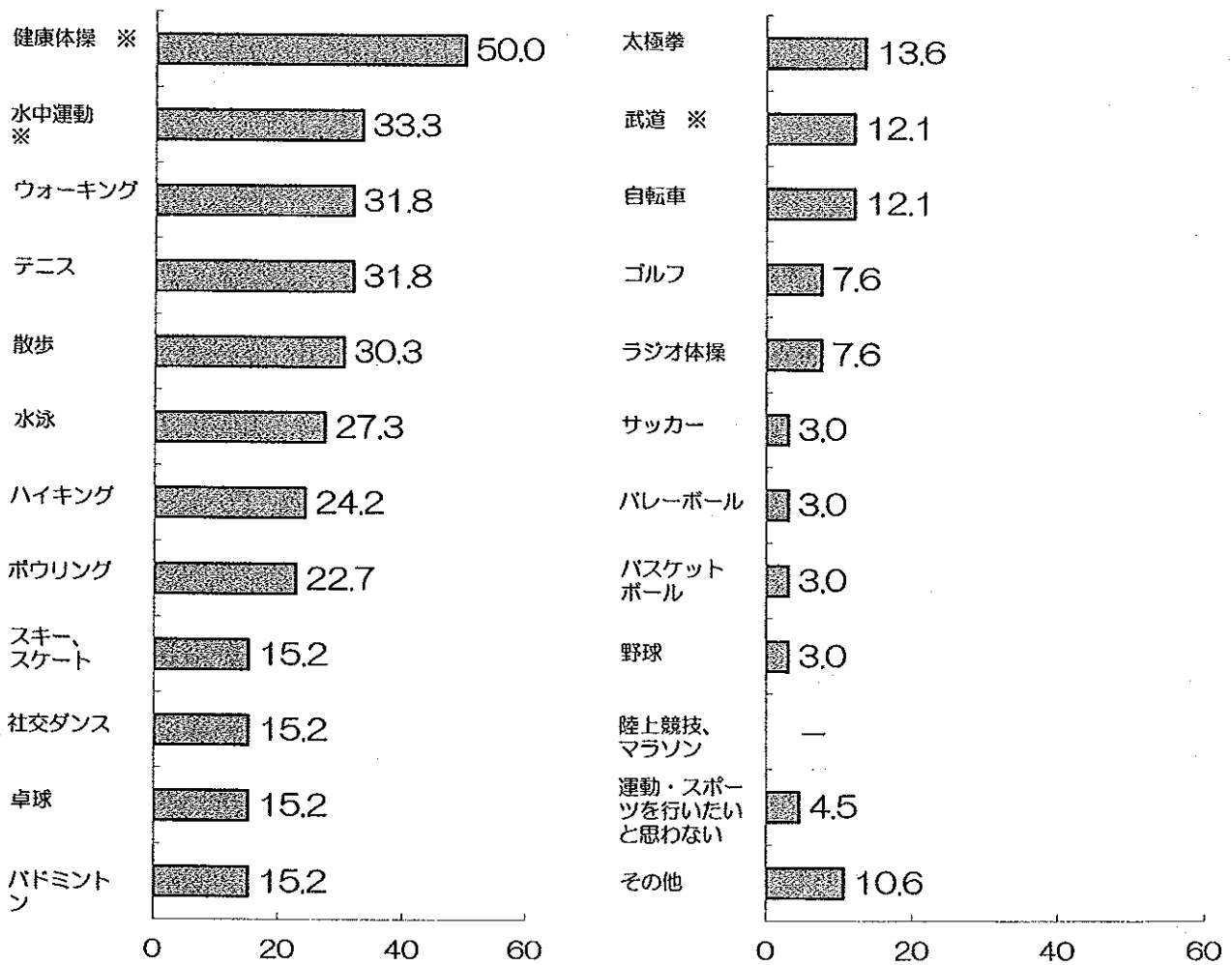
記述回答（主な理由）

◎その他の理由

- ・ 身近なところに施設はあるが、予約がとれない。（30代 男性）
- ・ 自分がやりたいと思うスポーツの指導を受けられる等の情報がない。（30代 女性）
- ・ 以前スポーツクラブに参加していたが、クラブの費用より託児代の方が高く2倍にもなってしまい、続行不能となった。育児中の人ほど体力をつけたり気分転換が必要なのに、難しいなあと思った。（30代 女性）
- ・ 水泳をしたいが、区の施設が遠い。（40代 女性）

問4 問1で(5)(6)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたが、今後行いたいと思う運動・スポーツを次の中からいくつでも選んでください。
(〇はいくつでも)



※ 健康体操（エアロビクス、ストレッチ、リズム体操など）

水中運動（ウォーキング、エクササイズ）

武道（柔道、剣道、空手など）

【問4、次ページに続く】

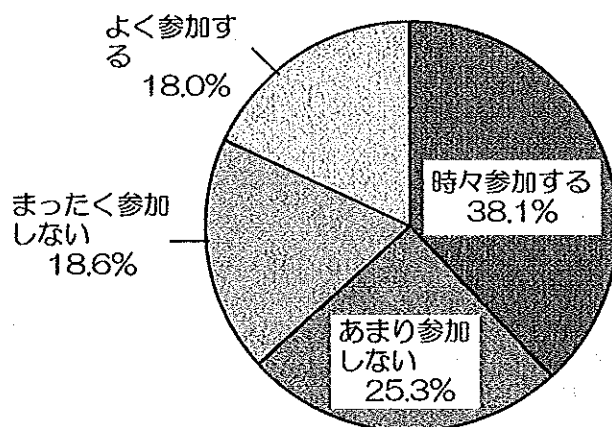
【問4、前ページからの続き】

記述回答（主な運動・スポーツ）

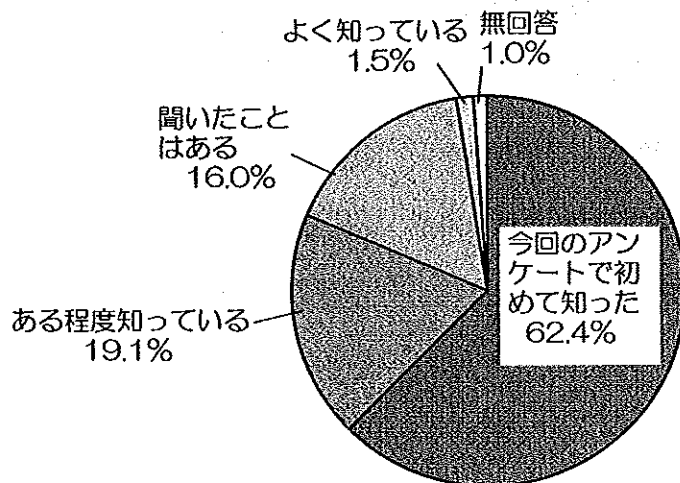
◎その他の運動・スポーツ

- ・ バレエ（20代 女性 ほか）
- ・ フラダンス（30代 女性）
- ・ ヒップホップダンス（30代 女性）
- ・ 気功（30代 女性）
- ・ ローラースケート、スノーボード、ベビースイミング（30代 女性）
- ・ バウンドテニス、ビーチボールバレー（30代 女性）
- ・ トランポリン（30代 女性）

問5 あなたは、スポーツに限らず地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

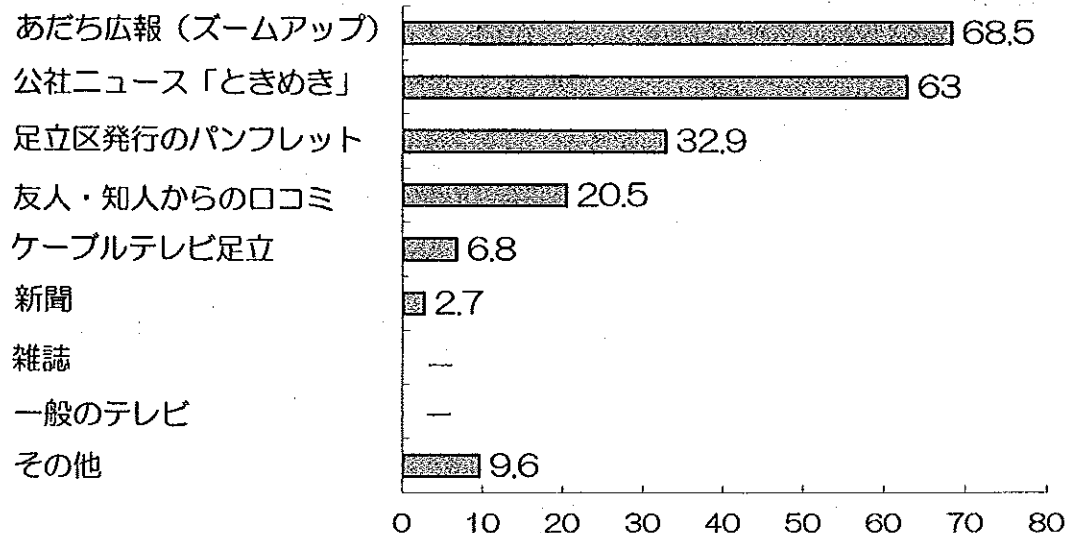


問6 あなたは総合型地域スポーツクラブについてどの程度ご存知ですか。次の中から1つだけ選んでください。（○は1つだけ）



問7 問6で(1)~(3)を選んだ方だけにお聞きします。

総合型地域スポーツクラブのことを何でお知りになりましたか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

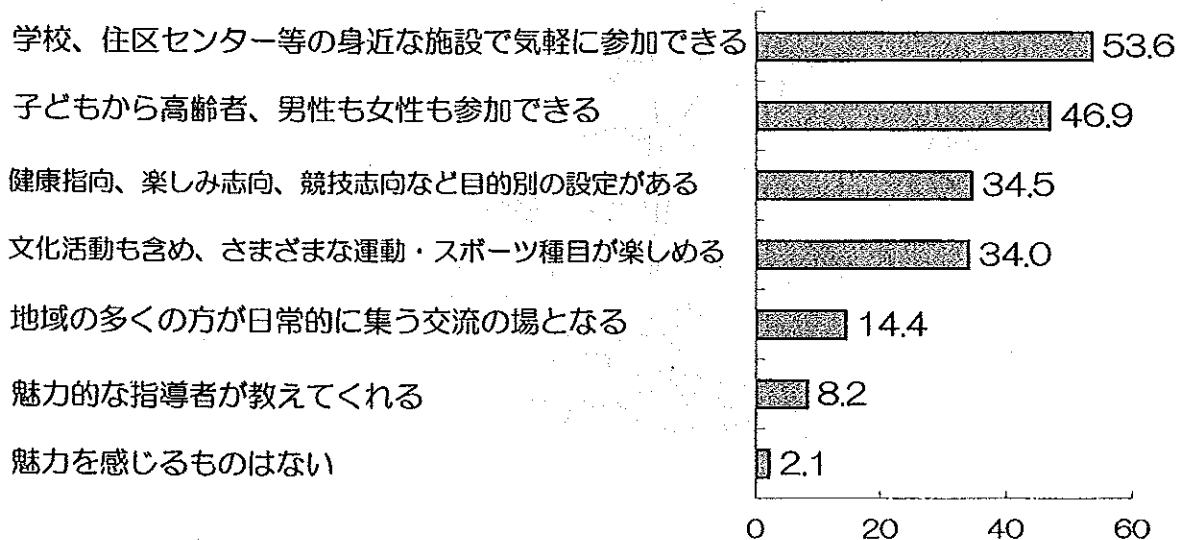


記述回答 (何で知ったか)

◎その他

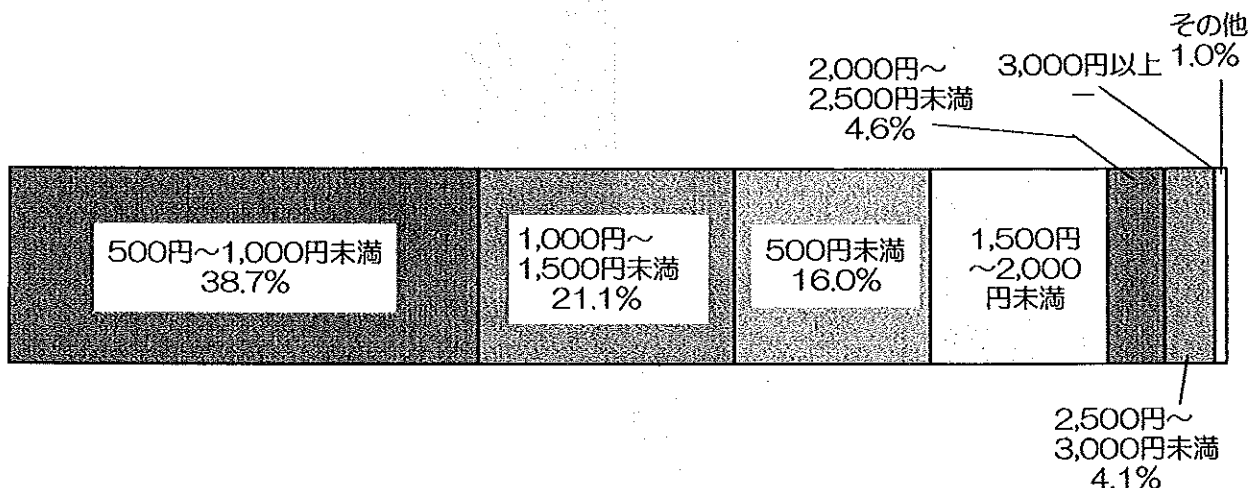
- ・ 学校開放などで知った。(30代 女性)
- ・ 子どもが通っている小学校のお知らせ。(40代 女性)
- ・ 文部科学省のホームページ。(50代 男性)
- ・ 自治会の役員会に、区の職員が来られて説明してくれたので。(50代 女性)
- ・ 足立区公認スポーツ指導員講習会や、生涯スポーツセミナー「新たなクラブづくりへのチャレンジ」で。(60代 男性)

問8 総合型地域スポーツクラブは、以下にあげるような特徴をもっています。あなたが、特に魅力を感じる内容を次の中から2つ以内で選んでください。(〇は2つまで)

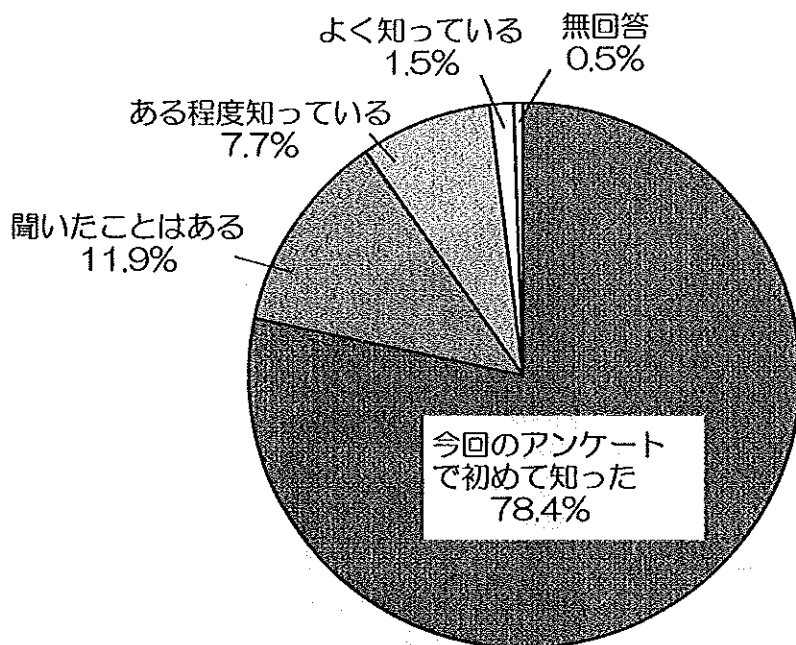


問9 総合型地域スポーツクラブの運営経費は、会員の会費、参加費や協賛金等でまかなわれています。

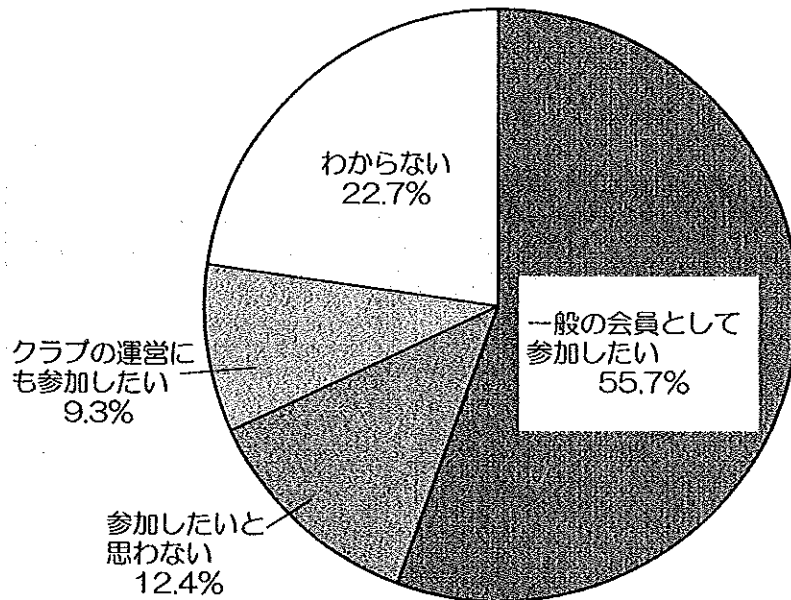
では、あなたが、総合型地域スポーツクラブに参加するとしたら、毎月どの程度の会費が適当だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)



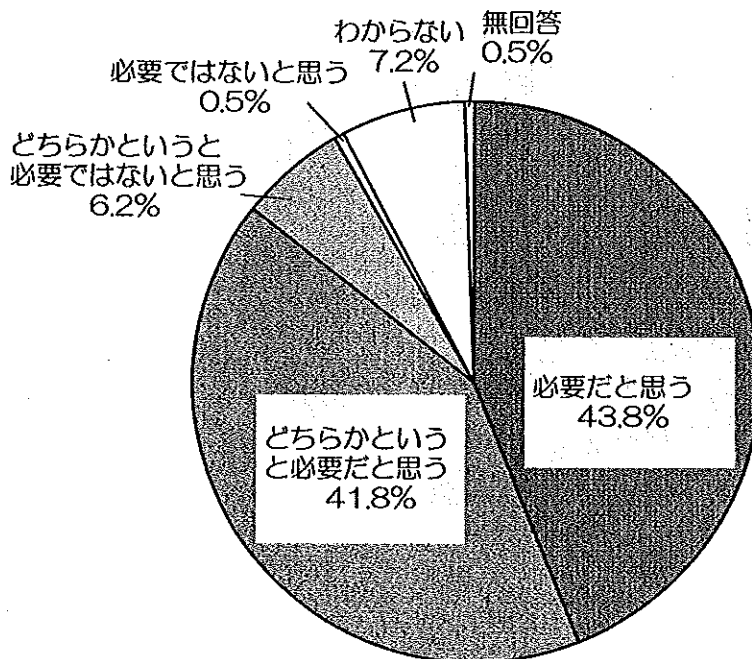
問10 足立区の総合型地域スポーツクラブの第1号として平成14年5月にKITクラブ21が設立されました。あなたは、KITクラブ21についてどの程度ご存知ですか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)



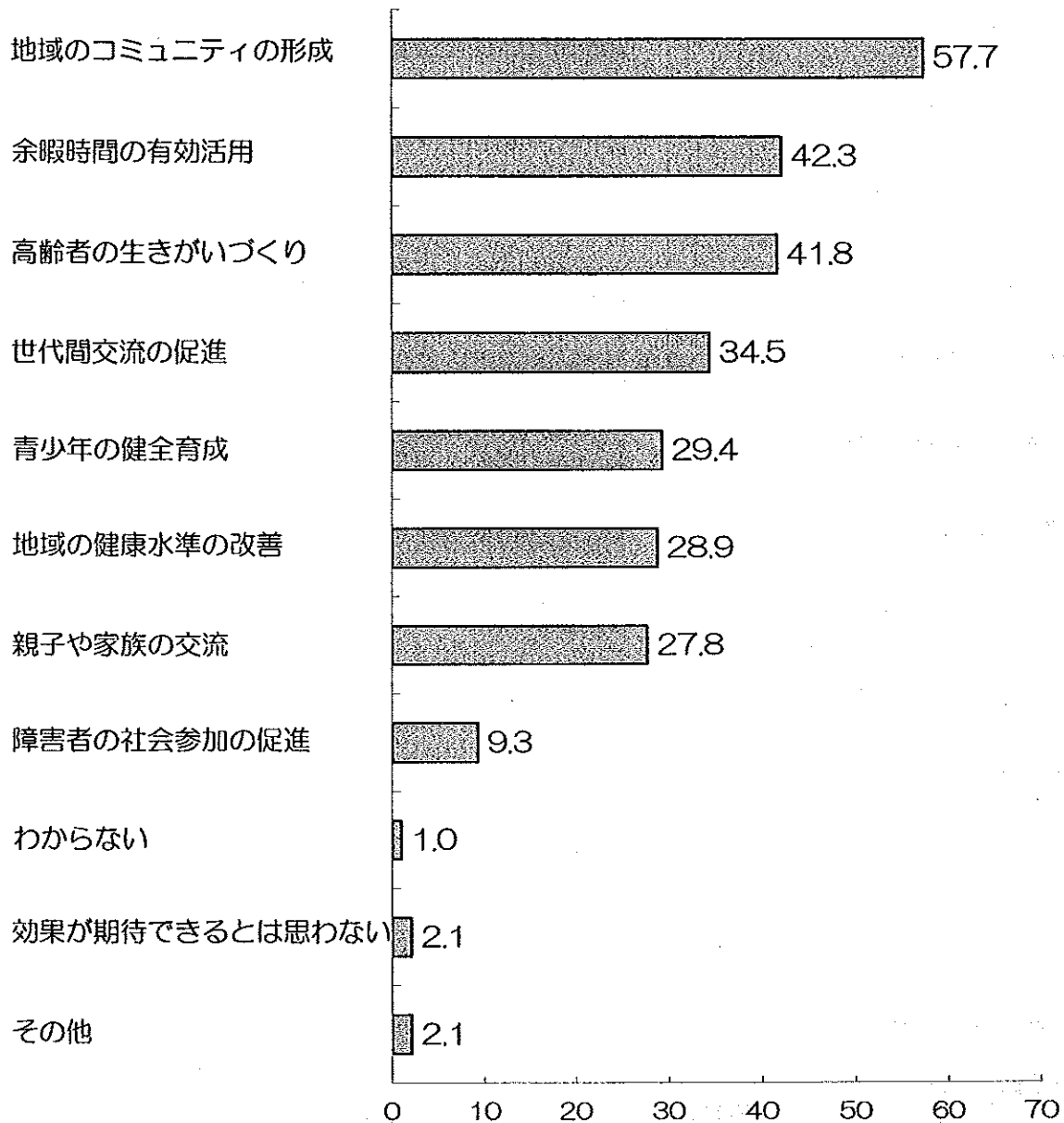
問11 あなたは、今後、総合型地域スポーツクラブに参加してみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)



問12 あなたは、今後、総合型地域スポーツクラブの育成が必要だと思いませんか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)



問13 あなたは、地域でのスポーツが盛んになると、どのような効果が期待できると思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(〇は3つまで)

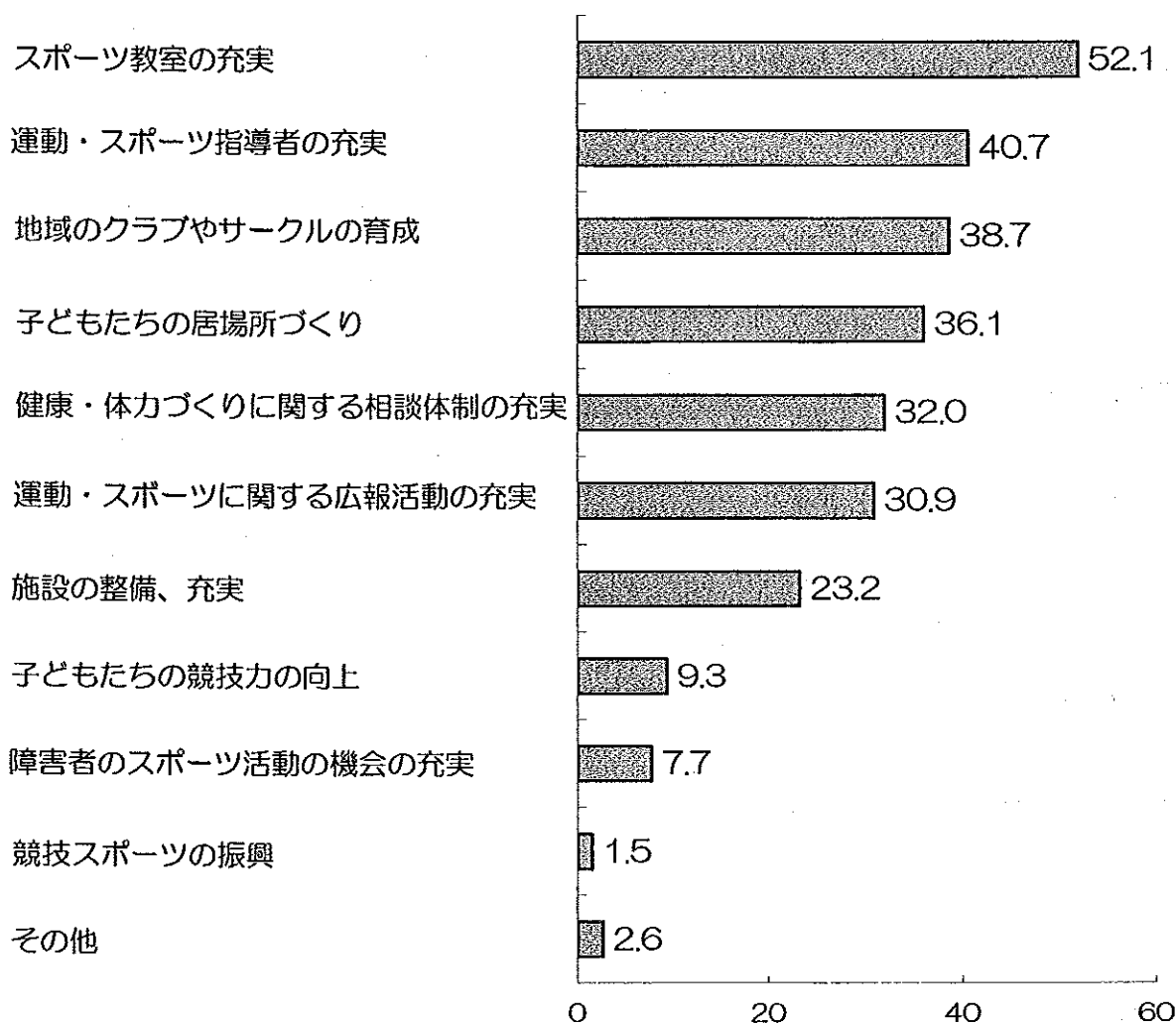


記述回答 (期待できる効果)

◎その他の効果

- ・ 土曜日に大型スーパーに集まる小学生 (特に学童保育の対象でない高学年生) が減ると思う。(20代 女性)
- ・ 65歳を過ぎると体力維持のための運動が中心になる。寝たきりにさせないためにも、地域スポーツを通じて、健康維持のスポーツが必要だ。(60代 男性)

問14 あなたは、生涯スポーツ振興について今後、どのような点に力を入れてほしいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。（〇は3つまで）



記述回答（施設の整備、充実）

◎施設の整備、充実

- ・ 全体的に数を増やす。絶対数が少ないと思う。（30代 女性 ほか）
- ・ スポーツ後のシャワー、サウナ、ジャグジー等。（30代 女性 ほか）
- ・ 区の1ヶ所に充実したものをつくるのではなく、区内のどの地域に住んでいる人でも歩いて行ける場所に多くつくり、高齢者や子どもも参加しやすくしてほしい。（30代 女性）
- ・ 廃校を含めた小中学校体育館を活用できる方法を考えてほしい。これからの地域の活性化にもつながる。（70代 男性）
- ・ 地域に、主に高齢者向けに自転車乗り入れ禁止の散歩道は作れないか。（70代 男性）

【問14、次ページに続く】

【問14、前ページからの続き】

記述回答（その他）

◎力を入れてほしい点（その他）

- ・ 勤労者向けに夜の活動を増加してほしい。（20代 女性）
- ・ いろいろな時間のコースを設定してほしい。（20代 女性）
- ・ 中学生の居場所づくり。バスケットボールのゴールだけ設置し、自由にシュートできるような空間をつくってほしい。（40代 女性）

問15 足立区の生涯スポーツ振興について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。
（自由回答）

主な意見・要望

- ・ 地域学習センターのトレーニングルームを使っているが、他の自治体と比べるとマシンの数やスペースが充実しているとは言えない。区で施設を設置するのが困難であれば、企業と提携し民間の施設を区の優待施設としたり、民間の指導員を常駐させる等して、もっとスポーツを区民に身近にしてはどうか。（20代 男性）
- ・ 施設を特定のサークルや団体が使っていて、気軽に使えないという印象が強い。スポーツをやりたいと思った時に、誰もができる環境づくりをしてほしい。（20代 女性）
- ・ 試し期間等を設けて、様々なスポーツに挑戦し自分に合ったものを選べると安心できると思う。地域で、子どもたちの運動能力を向上させることができた方が良いと思う。1人1つ、自信をもってできるスポーツがあったら良いと思う。（20代 女性）
- ・ 地域スポーツ教室の利点は、近所にあることと費用が安いことだ。そしてその副産物として、世代間の交流が生まれ、地域コミュニティが形成される。区は、そういう機会を作り、どんどん宣伝することが望ましい。（20代 女性）
- ・ とても興味があるが、会社員なので夜遅くなる場合が多く、通うのは難しそう。夜9時くらいから始まるコースがあると嬉しい。（20代 女性）
- ・ KITクラブ21ができたのは知っていたが、こんなに充実したものとは知らなかった。しかし育児中であり、幼児参加型がないので参加できない。幼児でも参加できる体操教室や、託児施設があれば親も気軽に参加できる。お年寄りを介護している人のためにデイサービスとの連携も。（20代 女性）
- ・ スポーツに興味があるが長続きしないのは、どこでどんなスポーツができるかという情報不足と、利用料金がネックになっているからだ。また、身近な場所でやりたいスポーツができないという地理的な要因がある。1回300円程度で、近所の学校の体育館等を夜間や週末に利用できればありがたい。（30代 男性）
- ・ 区の花や木があるように、区民ぐるみのスポーツが区に1つあっても良いと思う。区のスポーツとして区民の多くがそれに親しみ、競技人口が増え、ハイレベルの競技者が育っていくような取り組みはどうか。（30代 男性）
- ・ 総合型地域スポーツクラブと区のスポーツセンターやプールなどを連携させて運営すると良い。例えば、会員にはプールの料金を割引にしたりすると良い。また、共同企画のイベントなども良いと思う。（30代 男性）

- 総合型地域スポーツクラブの着目点、発想はとても良いと思った。これからの運営活動に期待する。低料金、わかりやすいシステム、内容の充実等、多くの人に参加できるものに。そしてそれを多くの人に広報で伝えてほしいと思う。
(30代 女性)
- スポーツに関心はあっても、情報があまりないので機会を逃しがちになる。もっとPRしても良い。また、会員制より自由に参加できるシステムの方が参加者も増え、スポーツに縁遠い人も親しみを持てるようになる。小サークルをある程度まとめた方が、人数も増えてわかりやすいと思う。
(30代 女性)
- KITクラブ21のことは「ときめき」を読んで知っていた。ぜひ千住地域でもやってほしい。学校が週5日制となり、土曜日の午前中など参加できる小中学校も多いのではないかな。
(30代 女性)
- 総合型地域スポーツクラブの母体は、各地域の子ども会や町会になるのか。現状の地域活動を大きくするだけとなると地域下での問題もある。また、全く別のものを立ち上げるにしても、現状の町会等ともめてしまいそうだ。うまくお互いがバランスを取れるかが心配だ。
(30代 女性)
- 区が行事や事業を考えても、それを知らない区民が多い。「機会があれば参加したい」という人たちに、情報をくまなく伝える手段を確立すべきだ。今後行うスポーツ情報などを小学校の生徒に配布してみてもどうか。また、開かれた学校づくり協議会やその活動を利用したらどうか。
(30代 女性)
- 以下の2点が心配である。①現在すでに学校等の施設でスポーツをしている者の活動が制限を受けてしまわないか。②「気軽に」という点で、その分運営の負担は誰が負うのか。担い手がなく、町会行事等に献身しているボランティアの仕事が増えるのなら考えものだ。
(30代 女性)
- 現在は公社ニュースで紹介されているものを利用している。KITクラブ21のパンフレットを見て、とても良いと思うが、それより既存の施設（総合スポーツセンター等）の講座を充実させるのも良いのではないかな。一番望むことは、いろいろな年代同士のふれあいがもてることである。
(30代 女性)
- 足立区の端に住んでいるので、他の区のスポーツ教室を利用した。立派な施設がありながら区民が利用できないのは残念だ。大きな施設を1つ作るより、小さくても各地域で集まれる施設がある方がありがたい。子をもつ親やお年寄りの方々にとっては、近くていつでも行けることが重要だと思う。
(30代 女性)
- 総合型地域スポーツクラブを初めて知ったが、とてもすばらしいと思う。私設のクラブより、区が支援し新たな地域の交流の場が広がり、安心できると感じた。各地域のクラブが交流すれば、区全体の活性化につながる。自分たちも運営に参加できるなど、発展が見えてくるクラブだと思う。
(30代 女性)
- 高齢者や子どもが気軽に参加できるようなスポーツが企画されれば良いと思う。もっと気軽に参加できるように、学校などの場所を利用できれば行きやすくなるのではないかな。
(30代 女性)
- 高齢者や障害者も含めて、住民が気軽に参加でき楽しめるものであってほしい。
(40代 男性)
- 足立区のスポーツ施設はハード面では水準に達していると思う。これからはソフト面をどうすべきか、ではないだろうか。充実した施設も、一部の固定した利用者で、一度も使ったことがない圧倒的多数の人たちがいるようでは、地域の施設とは呼べないのではないだろうか。
(40代 男性)

- ・ 財政難の折、広く薄くよりも、必要だが自力では恒常的に運動することが困難な人に対象を絞り込んで支援していくべきと思う。家にこもりがちな障害者や、高齢者のためのプログラムを用意し、そのような人々専門の指導者の派遣を検討してはどうか。 (40代 女性)
- ・ 初めてKITクラブ21を知った。身近な小学校で大人も子どもも参加できるのが魅力的だ。区としての教室は、施設が遠かったりして、子どもの送迎はかなりの負担である。近くの小学校で、というのであれば大いに利用したいと思う。 (40代 女性)
- ・ 北千住・綾瀬のプールを利用しているが、指導員が少ない。各施設ごとに利用者にアンケートをするのも必要と思う。「はるかぜ」をスポーツ施設付近に走らせ、利便性の向上を総合的に検討する必要がある。 (50代 男性)
- ・ 総合型地域スポーツクラブの発想は、何より健康的であり素晴らしいと思う。ただし、運営はとても難しいと思う。地域の実力者に気兼ねして、意見が言えないようでは困る。広報活動を積極的に行い、運営委員は広い年齢層からやる気のある方を立候補で選出してほしい。 (50代 女性)
- ・ 「見るスポーツ」から「参加するスポーツ」といわれ、各自治体でその場所作りが行われ、それぞれの世代が効果的に利用することができ、住民の健康づくりに役立っている。医療費削減にも生涯スポーツ振興は大切だ。息の長い施策を期待している。 (60代 男性)
- ・ 働いているとどうしても時間的制約があるので、平日の夜や土日ということになる。しかし、土日等は混んでいて利用できない。そうしたことに対応した施設の充実、気軽に相談できる指導者の必要性を感じる。 (60代 男性)
- ・ 若い時は遠くても足を運んだかせ、加齢とともに地域の文化・スポーツクラブに関心を持ち、70、80代でも通える自分に合った場所を探している。1人暮らしの高齢者になった時、スポーツセンターで若者や子どもたちを眺めているだけでも楽しいかもしれない。通える範囲にKITクラブ21のような場所を探してみたい。 (60代 女性)
- ・ 施設の整備・充実はもちろん必要だ。しかし、既存の施設の有効利用など、お金をかければ必ずしも良い環境を生むとは思わないので、その点は十分に考慮してほしい。 (60代 女性)
- ・ 区民が主体となって自主的にスポーツの振興を図るため、スポーツ諸団体のNPO化が望まれる。足立区には下町特有の連帯がある。この連帯をスポーツ振興に結びつけるため、区民スポーツフォーラム委員会を設置し、21世紀の総合型地域スポーツクラブを創出するべきである。 (70代 男性)

平成14年度 第5回区政モニターアンケート

《これからの生涯スポーツ振興に向けて》

モニター番号 _____ 番

足立区では、総合スポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設の整備や、学校施設の地域への開放などによる活動の場の拡大、(財)足立区生涯学習振興公社によるスポーツ教室の充実、また、体育協会や体育指導委員会の充実等による民間活力の活用など、区民の生涯スポーツ活動の普及・発展に努めてきました。

しかし近年、固定団体による施設利用の飽和状態や、スポーツ教室への参加者の固定化などが進行し、スポーツ活動の広がりが難しくなっています。また、社会環境の新たな変化や高齢者・障害者などにも配慮した生涯スポーツ振興策が求められるようになりました。

こうした中、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて運動・スポーツ活動に親しみ、生涯にわたり健康的で明るく活力ある生活を送ることのできる、生涯スポーツ社会の創出を目指して、平成14年9月に「足立区生涯スポーツ振興計画」を策定しました。

計画では、区民の自主的、主体的な取り組みを基本としつつ、区民のニーズに適切に応え、一人ひとりが運動・スポーツ活動を継続的に実践できるような環境整備について、行政の役割を明確にするとともに、区民等の参加と協働による生涯スポーツ社会の創出を目指しています。

この計画の推進にあたり、皆様の日常活動の実態や生涯スポーツ振興に対するご要望・ご意見をいただき、今後の施策の指針としていきたいと存じます。よろしくご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間で、散歩やウォーキングを含めてどの程度運動・スポーツを行いましたか。次の中から1つ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 30分以上の運動を週2回以上 _____ | → 問2へ |
| (2) 週2回以上 _____ | |
| (3) 週1回 _____ | |
| (4) 月1回から3回程度 _____ | → 問3へ |
| (5) 年に数回(1回を含む) _____ | |
| (6) 運動・スポーツはしていない _____ | |

問2 問1で(1)～(4)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたがこの1年間に行った運動・スポーツで主なものを次の中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| (1) 野球 | (13) ゴルフ |
| (2) バスケットボール | (14) ハイキング |
| (3) バレーボール | (15) ボウリング |
| (4) サッカー | (16) 自転車 |
| (5) テニス | (17) 社交ダンス |
| (6) バドミントン | (18) 武道(柔道、剣道、空手など) |
| (7) 卓球 | (19) 太極拳 |
| (8) 陸上競技、マラソン | (20) スキー、スケート |
| (9) 健康体操(エアロビクス、
ストレッチ、リズム体操など) | (21) ウォーキング |
| (10) ラジオ体操 | (22) 散歩 |
| (11) 水泳 | (23) その他 |
| (12) 水中運動
(ウォーキング、エクササイズ) | (種目：) |

問3 問1で(5)(6)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたが、この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった主な理由を次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- (1) 仕事(家事・育児)が忙しく時間がない
- (2) 年をとって体力に自信がない
- (3) 体が弱い
- (4) 運動・スポーツは好きでない
- (5) 仲間がない
- (6) 身近なところに場所や施設がない
- (7) 金がかかる
- (8) 指導者がいない
- (9) 機会がない
- (10) 関心がない
- (11) その他(具体的に)

問4 問1で(5)(6)を選んだ方だけにお聞きします。

あなたが、今後行いたいと思う運動・スポーツを次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| (1) 野球 | (13) ゴルフ |
| (2) バスケットボール | (14) ハイキング |
| (3) バレーボール | (15) ボウリング |
| (4) サッカー | (16) 自転車 |
| (5) テニス | (17) 社交ダンス |
| (6) バドミントン | (18) 武道(柔道、剣道、空手など) |
| (7) 卓球 | (19) 太極拳 |
| (8) 陸上競技、マラソン | (20) スキー、スケート |
| (9) 健康体操(エアロビクス、
ストレッチ、リズム体操など) | (21) ウォーキング |
| (10) ラジオ体操 | (22) 散歩 |
| (11) 水泳 | (23) その他
(種目：) |
| (12) 水中運動
(ウォーキング、エクササイズ) | (24) 運動・スポーツを行いたいと思わない |

今、足立区では、「総合型地域スポーツクラブ」※育成に取り組んでいます。「総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ・健康体づくり活動をまちぐるみで活性化させることを目的とし、地域の人々によって運営されます。

※総合型地域スポーツクラブについては、同封の別紙1およびパンフレット「総合型地域スポーツクラブ」をご参照ください。

問5 あなたは、スポーツに限らず地域の活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) よく参加する
- (2) 時々参加する
- (3) あまり参加しない
- (4) まったく参加しない

問6 あなたは総合型地域スポーツクラブについてどの程度ご存知ですか。次の
中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) よく知っている
 - (2) ある程度知っている
 - (3) 聞いたことはある
 - (4) 今回のアンケートで初めて知った
- 問7へ
- 問8へ

問7 問6で(1)~(3)を選んだ方だけにお聞きします。

総合型地域スポーツクラブのことを何でお知りになりましたか。次の中から
いくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- (1) あだち広報(ズームアップ)
- (2) 公社ニュース「ときめき」
- (3) ケーブルテレビ足立
- (4) 一般のテレビ
- (5) 新聞
- (6) 雑誌
- (7) 足立区発行のパンフレット
- (8) 友人・知人からの口コミ
- (9) その他(具体的に—)

問8 総合型地域スポーツクラブは、以下にあげるような特徴をもっています。あ
なたが、特に魅力を感じる内容を次の中から2つ以内で選んでください。(○は
2つまで)

- (1) 文化活動も含め、さまざまな運動・スポーツ種目が楽しめる
- (2) 健康志向、楽しみ志向、競技志向など目的別の設定がある
- (3) 子どもから高齢者、男性も女性も参加できる
- (4) 学校、住区センター等の身近な施設で気軽に参加できる
- (5) 地域の多くの方が日常的に集う交流の場となる
- (6) 魅力的な指導者が教えてくれる
- (7) 魅力を感じるものはない

問9 総合型地域スポーツクラブの運営経費は、会員の会費、参加費や協賛金等でまかなわれています。

では、あなたが、総合型地域スポーツクラブに参加するとしたら、毎月どの程度の会費が適当だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) 500円未満
- (2) 500円～1,000円未満
- (3) 1,000円～1,500円未満
- (4) 1,500円～2,000円未満
- (5) 2,000円～2,500円未満
- (6) 2,500円～3,000円未満
- (7) 3,000円以上
- (8) その他(具体的に)

問10 足立区の総合型地域スポーツクラブの第1号として平成14年5月にKITクラブ21※が設立されました。あなたは、KITクラブ21についてどの程度ご存知ですか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

※KITクラブ21については、同封のパンフレット「KITクラブ21」をご参照ください。

- (1) 良く知っている
- (2) ある程度知っている
- (3) 聞いたことはある
- (4) 今回のアンケートで初めて知った

問11 あなたは、今後、総合型地域スポーツクラブに参加してみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) クラブの運営にも参加したい
- (2) 一般の会員として参加したい
- (3) 参加したいと思わない
- (4) わからない

問 12 あなたは、今後、総合型地域スポーツクラブの育成が必要だと思いますか。

次の中から1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- (1) 必要だと思う
- (2) どちらかという必要だと思う
- (3) どちらかという必要ではないと思う
- (4) 必要ではないと思う
- (5) わからない

問 13 あなたは、地域でのスポーツが盛んになると、どのような効果が期待できる

と思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つまで)

- (1) 高齢者の生きがいがづくり
- (2) 地域のコミュニティの形成
- (3) 親子や家族の交流
- (4) 余暇時間の有効活用
- (5) 青少年の健全育成
- (6) 世代間交流の促進
- (7) 障害者の社会参加の促進
- (8) 地域の健康水準の改善
- (9) その他(具体的にー)
- (10) 効果が期待できると思わない
- (11) わからない

問 14 あなたは、生涯スポーツ振興について今後、どのような点に力を入れてほし

いと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つまで)

- (1) 運動・スポーツ指導者の充実
- (2) スポーツ教室の充実
- (3) 施設の整備、充実
(具体的にー)
- (4) 運動・スポーツに関する広報活動の充実
- (5) 健康・体力づくりに関する相談体制の充実
- (6) 地域のクラブやサークルの育成
- (7) 子どもたちの居場所づくり

〔問14, 次ページへ続く〕

〔問14, 前ページから続き〕

- (8) 子どもたちの競技力の向上
- (9) 競技スポーツの振興
- (10) 障害者のスポーツ活動の機会の充実
- (11) その他(具体的にー)

問15 足立区の生涯スポーツ振興について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。(自由回答)

ありがとうございました。

集 計 表

(%)

これからの生涯スポーツ振興に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	198	62	132	95	99
問1 行った運動・スポーツの頻度	N=198				
1 30分以上の運動を週2回以上	24.7	11.3	13.4	6.7	18.0
2 週2回以上	11.9	4.1	7.7	3.6	8.2
3 週1回	11.9	4.1	7.7	3.6	8.2
4 月1回から3回程度	14.9	5.7	9.3	9.3	5.7
5 年に数回(1回を含む)	19.1	3.0	15.5	13.4	5.7
6 運動・スポーツはしていない	14.9	2.1	12.9	11.3	3.6
無回答	2.6	1.0	1.5	1.0	1.5
回答者数(人)	128	51	77	47	81
問2 行った運動・スポーツの種類	N=128				
1 野球	3.9	2.3	1.6	3.1	0.8
2 バスケットボール	1.6	0.8	0.8	1.6	-
3 バレーボール	-	-	-	-	-
4 サッカー	1.6	0.8	0.8	1.6	-
5 テニス	7.0	3.9	3.1	2.3	4.7
6 バドミントン	4.7	-	4.7	3.1	1.6
7 卓球	3.9	0.8	3.1	1.6	2.3
8 陸上競技、マラソン	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8
9 健康体操(エアロビクス、ストレッチ、リズム体操など)	31.3	7.0	24.2	14.8	16.4
10 ラジオ体操	17.2	7.8	9.4	4.7	12.5
11 水泳	24.2	9.4	14.8	13.3	10.9
12 水中運動(ウォーキング、エクササイズ)	10.9	3.1	7.8	3.1	7.8
13 ゴルフ	5.5	5.5	-	0.8	4.7
14 ハイキング	10.2	6.3	3.9	1.6	8.6
15 ボウリング	3.9	2.3	1.6	2.3	1.6
16 自転車	40.6	14.8	25.8	18.0	22.7
17 社交ダンス	4.7	2.3	2.3	-	4.7
18 武道(柔道、剣道、空手など)	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8
19 太極拳	0.8	-	0.8	-	0.8
20 スキー、スケート	3.9	0.8	3.1	1.6	2.3
21 ウォーキング	36.7	14.1	22.7	7.0	29.7
22 散歩	43.8	16.4	27.3	12.5	31.3
23 その他	14.8	9.4	5.5	4.7	10.2

集 計 表

(%)

これからの生涯スポーツ振興に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	66	11	55	48	18
問3 運動・スポーツを行わなかった理由	N=66				
1 仕事(家事・育児)が忙しく時間がない	78.8	10.6	68.2	65.2	13.6
2 年をとって体力に自信がない	6.1	-	6.1	3.0	3.0
3 体が弱い	4.5	-	4.5	3.0	1.5
4 運動・スポーツは好きでない	18.2	-	18.2	15.2	3.0
5 仲間がいない	13.6	1.5	12.1	12.1	1.5
6 身近なところに場所や施設がない	27.3	3.0	24.2	18.2	9.1
7 金がかかる	33.3	4.5	28.8	25.8	7.6
8 指導者がいない	6.1	-	6.1	3.0	3.0
9 機会がない	42.4	6.1	36.4	25.8	16.7
10 関心がない	3.0	-	3.0	3.0	-
11 その他	13.6	6.1	7.6	9.1	4.5
問4 今後行いたい運動・スポーツ	N=66				
1 野球	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5
2 バスケットボール	3.0	-	3.0	3.0	-
3 バレーボール	3.0	-	3.0	3.0	-
4 サッカー	3.0	1.5	1.5	3.0	-
5 テニス	31.8	1.5	30.3	31.8	1.5
6 バドミントン	15.2	1.5	13.6	13.6	1.5
7 卓球	15.2	1.5	13.6	10.6	4.5
8 陸上競技、マラソン	-	-	-	-	-
9 健康体操(エアロビクス、ストレッチ、リズム体操など)	50.0	1.5	48.5	40.9	9.1
10 ラジオ体操	7.6	-	7.6	1.5	6.1
11 水泳	27.3	1.5	25.8	25.8	1.5
12 水中運動(ウォーキング、エクササイズ)	33.3	-	33.3	25.8	7.6
13 ゴルフ	7.6	4.5	3.0	4.5	3.0
14 ハイキング	24.2	4.5	19.7	10.6	13.6
15 ボウリング	22.7	4.5	18.2	15.2	7.6
16 自転車	12.1	3.0	9.1	6.1	6.1
17 社交ダンス	15.2	1.5	13.6	9.1	6.1
18 武道(柔道、剣道、空手など)	12.1	-	12.1	12.1	-
19 太極拳	13.6	4.5	9.1	7.6	6.1
20 スキー、スケート	15.2	3.0	12.1	13.6	1.5

集 計 表

(%)

これからの生涯スポーツ振興に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
21 ウォーキング	31.8	7.6	24.2	15.2	16.7
22 散歩	30.3	4.5	25.8	16.7	13.6
23 その他	10.6	-	10.6	10.6	-
24 運動・スポーツを行ないたいと思わない	4.5	-	4.5	3.0	1.5
回 答 者 数 (人)	198	62	132	95	99
問5 地域活動・行事への参加頻度 N=198					
1 よく参加する	18.0	8.2	9.8	2.6	15.5
2 時々参加する	38.1	13.9	24.2	17.0	21.1
3 あまり参加しない	25.3	4.6	20.6	14.4	10.8
4 まったく参加しない	18.6	5.2	13.4	14.9	3.6
問6 総合型地域スポーツクラブの周知度 N=198					
1 よく知っている	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2 ある程度知っている	19.1	7.2	1.0	-	1.5
3 聞いたことはある	16.0	6.2	11.9	6.2	12.9
4 今回のアンケートで初めて知った	62.4	17.5	9.8	8.8	7.2
無回答	1.0	0.5	44.8	33.5	28.9
問7 総合型地域スポーツクラブを知った媒体 N=198					
1 あだち広報 (ズームアップ)	68.5	28.8	39.7	28.8	39.7
2 公社ニュース「ときめき」	63.0	28.8	27.4	21.9	41.1
3 ケーブルテレビ足立	6.8	27.0	4.1	1.4	5.5
4 一般のテレビ	-	-	-	-	-
5 新聞	2.7	1.4	1.4	-	2.7
6 雑誌	-	-	-	-	-
7 足立区発行のパンフレット	32.9	17.8	15.1	5.5	27.4
8 友人・知人からの口コミ	20.5	6.8	13.7	6.8	13.7
9 その他	9.6	4.1	5.5	1.4	8.2
問8 魅力を感じる総合型地域スポーツクラブの特徴 N=198					
1 文化活動も含め、さまざまな運動・スポーツ種目が楽しめる	34.0	9.8	24.2	16.5	17.5
2 健康志向、楽しみ志向、競技志向など目的別の設定がある	34.5	14.9	19.6	15.5	19.1
3 子どもから高齢者、男性も女性も参加できる	46.9	15.5	31.4	24.7	22.2
4 学校、住区センター等の身近な施設で気軽に参加できる	53.6	12.4	41.2	31.4	22.2
5 地域の多くの方が日常的に集う交流の場となる	14.4	7.2	7.2	5.2	9.3

集 計 表

(%)

これからの生涯スポーツ振興に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
6 魅力的な指導者が教えてくれる	8.2	2.1	6.2	2.6	5.7
7 魅力を感じるものはない	2.1	0.5	1.5	1.0	1.0
問9 適当な総合型地域スポーツクラブの会費 N=198					
1 500円未満	16.0	2.6	13.4	9.3	6.7
2 500円～1,000円未満	38.7	12.4	26.3	19.6	19.1
3 1,000円～1,500円未満	21.1	8.2	12.9	8.8	12.4
4 1,500円～2,000円未満	14.4	4.6	9.8	7.2	7.2
5 2,000円～2,500円未満	4.6	1.0	3.6	2.6	2.1
6 2,500円～3,000円未満	4.1	2.1	2.1	1.0	3.1
7 3,000円以上	-	-	-	-	-
8 その他	1.0	1.0	-	0.5	0.5
問10 KITクラブ21の周知度 N=198					
1 良く知っている	0.5	-	0.5	-	0.5
2 ある程度知っている	1.5	0.5	1.0	0.5	1.0
3 聞いたことはある	7.7	3.6	4.1	3.1	4.6
4 今回のアンケートで初めて知った	11.9	4.6	7.2	4.6	7.2
無回答	78.4	23.2	55.2	40.7	37.6
問11 総合型地域スポーツクラブへの参加意向 N=198					
1 クラブの運営にも参加したい	9.3	5.2	4.1	3.1	6.2
2 一般の会員として参加したい	55.7	15.5	40.2	29.9	25.8
3 参加したいと思わない	12.4	5.2	7.2	5.7	6.7
4 わからない	22.7	6.2	16.5	10.3	12.4
問12 総合型地域スポーツクラブ育成の必要度 N=198					
1 必要だと思う	43.8	13.4	30.4	18.6	25.3
2 どちらかという必要だと思う	41.8	11.9	29.9	24.7	17.0
3 どちらかという必要ではないと思う	6.2	3.6	2.6	1.5	4.6
4 必要ではないと思う	0.5	-	0.5	0.5	-
5 わからない	7.2	2.6	4.6	3.6	3.6
無回答	0.5	0.5	-	-	0.5
問13 地域スポーツの効果 N=198					
1 高齢者の生きがいづくり	41.8	12.9	28.9	14.9	26.8
2 地域のコミュニティの形成	57.7	19.6	38.1	29.4	28.4
3 親子や家族の交流	27.8	6.2	21.6	20.6	7.2
4 余暇時間の有効活用	42.3	12.9	29.4	19.1	23.2

集 計 表

(%)

これからの生涯スポーツ振興に向けて	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
5 青少年の健全育成	29.4	8.2	21.1	16.0	13.4
6 世代間交流の促進	34.5	14.9	19.6	16.0	18.6
7 障害者の社会参加の促進	9.3	3.1	6.2	2.6	6.7
8 地域の健康水準の改善	28.9	10.8	18.0	9.8	19.1
9 その他	2.1	0.5	1.5	1.5	0.5
10 効果が期待できると思わない	2.1	1.0	1.0	1.5	0.5
11 わからない	1.0	0.5	0.5	-	1.0
問14 生涯スポーツ振興の力点 N=198					
1 運動・スポーツ指導者の充実	40.7	12.9	27.8	21.6	19.1
2 スポーツ教室の充実	52.1	13.9	38.1	30.9	21.1
3 施設の整備、充実	23.2	9.3	13.9	12.9	10.3
4 運動・スポーツに関する広報活動の充実	30.9	11.9	19.1	9.8	21.1
5 健康・体力づくりに関する相談体制の充実	32.0	12.9	19.1	10.8	21.1
6 地域のクラブやサークルの育成	38.7	14.4	24.2	14.4	24.2
7 子どもたちの居場所づくり	36.1	7.7	28.4	21.1	14.9
8 子どもたちの競技力の向上	9.3	2.6	6.7	5.7	3.6
9 競技スポーツの振興	1.5	0.5	1.0	0.5	1.0
10 障害者のスポーツ活動の機会の充実	7.7	2.1	5.7	3.1	4.6
11 その他	2.6	-	2.6	1.5	1.0

1 アンケート集計結果の今後の活用

【体育振興担当課の説明】

区では、少子高齢社会の到来や一層の余暇時間の増大、学校週五日制などの社会環境の新たな変化や高齢者・障害者などにも配慮した、生涯スポーツ振興策の再構築を図り、中・長期的な見通しに立って生涯スポーツの振興をめぐる諸課題に体系的・計画的に取り組むために「足立区生涯スポーツ振興計画」（以下「計画」）を策定いたしました。

計画では、区民の自主的・主体的な取り組みを基本としつつ、行政の役割と地域の役割を明確にし、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、「いつでもどこでもだれもがいつまでも」気軽に運動・スポーツ活動に親しめる生涯スポーツ社会の創出を目指しています。そして、将来、何れかのスポーツサークルなどに所属し、日常的に運動・スポーツ活動を実践している区民の人口の割合が30%になることを目指すとともに、成人の運動習慣者(*)の割合が50%になることを目標としています。

今回の調査結果につきましては、計画の中で明らかにしている、総合型地域スポーツクラブを中心とした環境整備や指導者の育成、情報提供、公共施設の活用促進などの事業を行う上での基礎資料として活用させていただきます。

また、「健康あだち21」の推進、「高齢者施策」「保健衛生施策」などの区民の生涯にわたる健康づくり行政分野においても活用させていただきます。

*運動習慣者⇒区では「1日30分以上の運動を週2回以上、概ね半年以上継続している人」としています。

2 主な集計結果・意見・疑問等に関する説明

地域でのスポーツが盛んになることによる効果について

*本アンケート設問13の集計結果、記述回答をひまえて

【体育振興担当課の説明】

期待される効果として、「地域のコミュニティの形成」「余暇時間の有効活用」「高齢者の生きがいづくり」が上位にあげられています。計画では活力ある健全な地域社会の創出のために、次の7つの目標を掲げています。

- ◆健康の維持増進と生活習慣病の予防
- ◆高齢者の社会参加促進と医療費の削減
- ◆障害者の社会参加促進
- ◆健やかな子どもの発育促進
- ◆青少年の健全育成
- ◆地域における教育力の向上
- ◆活力ある地域社会の創出

これらの目標達成に向けた地域づくりを促進するため、サークル育成やスポーツボランティア養成、施設の有効活用などについて、教育委員会の枠を越え、衛生部、地域振興部、福祉部などと連携し、効果的な地域スポーツ振興事業を推進していきます。

また、現在育成に取り組んでいる「総合型地域スポーツクラブ」は、地域住民の日常的な交流や親睦が図れるコミュニケーションの場であったり、地域への様々な情報発信なども期待できる場でもあります。

広報活動について

* 本アンケート設問6、10の集計結果、設問15自由回答をふまえて

(主な意見)

- ・もっと効果的な広報活動があれば良いと思う。(20代 女性)
- ・スポーツに関心はあっても、情報があまりないので機会を逃しがちになる。もっとPRしても良い。(30代 女性)
- ・今後行うスポーツ情報などを小学校の生徒に配布してみてもどうか。

(30代 女性)

【体育振興担当課の説明】

今回のアンケート結果から「総合型地域スポーツクラブ」(以下「総合型」)について周知度が低いことが読み取れました。

「総合型」は、平成7年度から文部科学省の提唱で全国展開されており、区でも12年度から取り組み始めました。当初からモデル地区を指定し育成に努めてきた関係で、その地域を中心にPR活動を展開してきました。そのため、全区的にはご存じの方が少ない結果になっていると考えています。

「KITクラブ」に続き、平成15年度には綾瀬地区に発足する予定ですが、モデル地域の指定はこの2つの地域で終わりになります。その他の地域は、地域の方々の自主的な育成活動を区が支援する形で行っていきます。そのための条件整備として、足立区体育指導委員の方々に「総合型」への理解を深めてもらうとともに、育成に向けたノウハウの研修活動を12年度から実施しています。また、将来、「総合型」運営の中心的役割を担うクラブマネージャーの育成事業も14年度から行っています。

これらの方々を中心とした活動により、地域での周知度も高まると考えておりますが、「総合型」育成には、何といたっても地域の人たちの理解と協力が欠かせませんので、今後は様々な媒体を利用して、モデル地域の実情を紹介しつつ「総合型」育成事業の広報活動を充実していきます。

小・中学生のスポーツ環境充実について

* 本アンケート設問14の記述回答、設問15自由回答をひまえて

(主な意見)

- ・中学生の居場所づくりとしてバスケットボールゴールの設置を。(40代 女性)
- ・地域で、子どもたちの運動能力を向上させることができれば良いと思う。

(20代 女性)

【体育振興担当課の説明】

青少年の健全育成の観点から、小・中学生が積極的にスポーツ活動に参加することは大きな意義があります。子どもたちのスポーツ環境を充実していくため、指導者の育成や地域スポーツクラブの活性化、中学校の部活動の充実などの事業を推進していきます。

それらとあわせて、地域の中で気軽に、日常的に運動する場があれば、自分達で仲間をつくり、継続的に活動できると考えています。

現在、スポーツセンターに、3on3コートがあり、毎日のように、多くの小・中学生が集まって楽しんでいます。この他、公園などにバスケットボールのリングやテニスの練習用ボードが設置されていますが、その数は限られています。近隣の理解を得る必要があるなどの課題もありますが、子どもの居場所となる施設の充実を、関係機関と調整し促進していきます。

また、学校施設は、少年野球や少年サッカー、ミニバスケットボールなど様々な団体が利用していますが、特定の子どもたちの参加が前提のサークルがほとんどです。地域の子どもたちが、気軽に参加できる事業として、現在、「開かれた学校づくり協議会」が主体となった地域ボランティアによる「土曜事業」が実施され、その中のプログラムに運動・スポーツ活動が盛り込まれています。

今後、「土曜事業」を全区的に展開するとともに、小・中学生を対象とした「土日スポーツクラブ」を、体育指導委員や青少年委員などの協力を得ながら育成していく予定です。

～設問15自由回答の集計結果をひまえて～

幼児が参加できるプログラムについて (主な意見)

- ・小さな子どもがいるので、親子で参加できるスポーツクラブがあると良い。

(20代 女性ほか)

・「総合型」に家族で参加したいと思ったが、子どもが3歳で参加できるプログラムがない。(20代 女性)

【体育振興担当課の説明】

計画では、乳・幼児期の身体活動の重要性は基より、親や兄弟など家族とのふれあいや仲間との交流を通じた基本的な生活習慣や人間形成の基礎を養うなどの効果とともに、行政や地域において乳幼児と親を対象とした事業を展開することは子育て支援や地域コミュニティの育成の観点からも重要であると位置付けています。

現在、親子対象事業は、主に、生涯学習振興公社が中心となって展開しています。平成14年度は、親子トランポリン、親子体操教室、親子水遊び教室など、スポーツセンターや地域体育館で75事業を実施していますが、指導者の確保や場の設定などの関係で事業の拡大が難しいのが現状です。

今後は、幼児と親を対象にした親子プログラムの指導員養成を図るとともに、それらの指導員が住区センター(児童館)や学校施設を利用した活動ができる条件を整備し、事業の拡大を図っていくこととしています。また、地域のニーズに応じて、「総合型」のプログラムの中に幼児が参加できるものが増えることも期待されます。

高齢者・障害者を対象としたプログラムについて(主な意見)

・高齢者や障害者も含めて、気楽に参加でき楽しめるものであってほしい。

(40代 男性)

・家にこもりがちな障害者、高齢者のためのプログラムを用意し、専門の指導者の派遣を検討してはどうか。(40代 女性)

【体育振興担当課の説明】

高齢者の健康維持増進を目的として、生涯スポーツ分野においても、温水プール等区立スポーツ施設の無料化や、生涯学習振興公社事業として、スポーツセンターや地域体育館において「60才からの健康体操教室」を年間59事業実施し、運動・スポーツ活動への参加を促進しています。しかし、身近な施設で気軽に参加という点では、まだまだ充分ではないと考えています。

高齢者に対しては、生涯学習振興公社事業の充実に加え、次のような体制を整備し、拡充を図っていきます。

○ビーチボールバレーやファミリーテニスなど高齢者でも手軽に取り組むことのできる種目を、体育協会加盟の競技団体や足立区公認スポーツ指導員連絡会が自主

活動として展開していく。

○高齢者に適切なアドバイスができる指導者を育成し、住区センター（老人館）や学校施設などを活用した地域の中での活動を充実していく。

また、障害者の場合は、個別性が大きく、きめ細かな対応が求められます。高齢者同様、施設使用料の無料化を実施していますが、利用者数がなかなか伸びないのが現状です。生涯学習振興公社の事業も、対象者の設定や適切な対応が可能なボランティア確保の難しさから、年間4事業にとどまっています。

今後は、平成13年度から実施している、障害者のためのスポーツボランティア育成を充実するとともに、障害福祉センターや障害者団体と連携し、活動の場を広げるための施策を検討していきます。

施設の利用者、教室などの参加者の固定化について（主な意見）

- ・参加している人が大体決まっているので、普段参加していない人が気楽に参加できるようにしてほしい。（20代 男性ほか）
- ・充実した施設も、一部の固定した利用者と、1度も使ったことがない圧倒的多数の人たちがいるようでは、区の施設とは呼べないのではないか。（40代 男性）

【体育振興担当課の説明】

生涯スポーツ振興の一環としてのスポーツ教室の実施は、生涯学習振興公社が中心となり、年間332事業を実施しています。ご意見のように、ほとんどの事業に多くの方が継続的に参加しているのが実情です。

また、学校施設も含めたスポーツ施設についても、特定のサークルが、定期的に活動しており、利用者の固定化が大きな課題であると認識しています。

スポーツ教室については、生涯学習振興公社事業の増設には限界があることから、計画では次の方針で取り組むこととしています。

○生涯学習振興公社で実施してきた一般向け事業については、生涯スポーツ振興の一翼を担っている「体育協会」「足立区体育指導委員会」「足立区公認スポーツ指導者連絡会」などとの連携を深め、順次それらの団体の主催事業に移行し、多くのボランティアの協力を得て区民サービスの拡大を図っていく。

○生涯学習振興公社は、主体的に団体を組織し継続的な生涯スポーツ活動を続けていくことが難しい幼児、高齢者、障害者などを対象とした事業に重点を移していく。

このことにより、区民の多様なニーズに応えるとともに、多くの方が気軽に参加で

きるプログラムの充実を図っていきます。

さらに、特定のサークルによる施設利用の飽和状態を改善するため、施設ごとに設置されている利用者懇談会や各学校の施設管理運営委員会で問題提起し、小規模サークルの合流、同一種目の合同練習など色々工夫をする中で、多くの団体が利用できる条件を整備し、効率的な運用を促進していきます。

また、施設の利用団体による、会員以外の地域住民を交えた事業の実施を奨励するなど、サークルの枠を超え、より多くの区民が有効に活用できる施設運営を目指します。

「総合型地域スポーツクラブ」の運営について（主な意見）

- ・母体は、地域の子ども会や町会になるのか。現状の地域活動を大きくするだけだと地域の中での問題もある。別のものを立ち上げるにしても、町会などともめてしまいそうだ。（30代 女性）
- ・運営の負担は誰が負うのか。町会行事などに献身しているボランティアの仕事が増えるのなら考えものだ。（30代 女性）

【体育振興担当課の説明】

「総合型」の設立は、行政主導ではなく地域住民のボランティアシップがベースにあります。地域の自主的・主体的な取り組みによる育成を基本とし、関心と熱意のある多くの方々の参加が、地域に根ざし着実に成長するクラブづくりの鍵と考えています。

現時点では、モデル事業展開の過程では、「総合型」への理解や協力者の発掘等を、地域の既存団体（町連や地区対、PTA、子ども会など）の協力のもとに進めてきた関係で、既存団体の関係者が多数参加した組織として運営されているのが実情です。

しかし、「KITクラブ」の発展とともに、指導スタッフや運営スタッフとして新たな人たちの参加も多数見られるようになってきました。スポーツをキーワードに新しい人たちも参加する新たな団体としての活動が定着してきています。

今までの過程の中では、ご意見のような状況も確かにありましたが、現在参加している人たちは、新しい活動への魅力と将来性に大きな期待を寄せながら、それぞれの立場で積極的に関わり、お互いを尊重した活動をしています。

「総合型」が地域の中で理解され、活力に満ちた活動として定着するには、多くの地域のボランティアの支えが必要になります。それらの条件づくりとして、ボランティアの発掘やその方々の活動の定着に向けて、クラブマネージャーの育成や体育指導

委員の地域コーディネーターとしての活動を充実させていきます。

総合型地域スポーツクラブの拡大について（主な意見）

- ・足立区全域に、住区センター、学校などを拠点に拡大したら良い。（60代 男性）
- ・近くに「KITクラブ21」のようなものができれば参加したい。是非近くにつくってほしい。（60代 女性ほか）

【体育振興担当課の説明】

文部科学省は、町会や学校区域、活動拠点となる施設などの地域の実情を踏まえ、クラブ設立準備会や地域住民の意見などを参考にして総合型地域スポーツクラブの活動エリアを決めて行くことが望ましいとしています。言い換えれば、会員となる地域の皆さんが、徒歩や自転車で日常的に無理なく参加できる活動エリアが望ましいとされています。

足立区の計画では、区内25町連区域を基本にし、各町連区域に1ヵ所のクラブ立ち上げを目標としています。活動拠点は、地域の小・中学校に加え、住区センターや、公園なども予定しています。

「総合型」の活動は、スポーツ教室をはじめとした様々なプログラムの提供が大きな魅力となります。具体的には、学校施設を活用した活動が中心となることから、平日の夜間や土曜、日曜に設定されていくこととなります。生涯学習振興公社のスポーツ教室などの事業に加え、「総合型」の事業が充実することによって、身近な施設で、それぞれのライフスタイルにあわせた活動の広がりが可能となります。

また、「総合型」の拠点施設として、学校や区のスポーツ施設内などにクラブハウス（*）の設置に力を入れていきます。「総合型」は、このクラブハウスを拠点として運営され、地域の情報、ご意見・ご要望などを取り入れ、既存団体との調整を図り、協力を得ながら、身近な施設での活動の場の確保やプログラムを充実していきます。

※クラブハウス⇒総合型地域スポーツクラブの事務局や会員の交流の場となる会議室、談話室、相談室などを備えた施設

ご協力ありがとうございました。

足立区政モ二夕一設置要綱

足立区区政モニター設置要綱

1 目 的

区政に対する区民の情報、要望、意見などを組織的、継続的に収集し、区政執行の参考とするため、足立区区政モニター（以下「モニター」という）をおく。

2 職 務

モニターの職務は次のとおりとする。

- (1) 区が依頼する「モニターアンケート」に回答すること。
- (2) 区政全般についての情報、要望、意見等を随時提供すること。
- (3) モニター連絡会議等に出席すること。
- (4) その他、区が依頼する広聴業務に協力すること。

3 定 数

50名以内とする。

4 選 任

モニター制度の効果的な運営を図るため地域、年齢、性別などが偏在しないよう考慮して区内在住者より適当と認める者に委嘱する。

5 モニターの資格要件

区政に関心と積極的協力の意志のある区民で、次の全てに該当すること。

- (1) 満20歳以上で、本区に引き続き3か月以上居住していること。
- (2) 本区に住民登録または、外国人登録をしていること。
- (3) 東京都および東京都区内地方公共団体の職員ではないこと。

6 任 期

モニターの任期は1年とする。

ただし、補充により選任されたモニターの任期は前任者の残任期間とする。

7 委嘱の取消

モニターが次の各号に該当したときは、委嘱を取消するものとする。

- (1) モニターが資格要件を満たさなくなったとき。
- (2) モニターが辞退を申し出たとき。
- (3) モニターがその職務を遂行できないと認められるとき。

8 謝 礼

年額15,000円以内とする。

ただし、アンケート一回答につき1,000円、連絡会への出席一回につき3,000円

とする。

9 事務の処理

モニターに関する事務は広報課が所掌する。

10 その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項については別に定めるところによる。

附 則

- 1 この要綱は、昭和47年4月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、昭和63年4月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、平成元年4月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、平成3年4月1日から実施する。

附 則

- 1 この要綱は、平成7年4月1日から実施する。

平成14年度
区政モニターアンケート
平成15年5月発行

編集・発行・印刷

足立区政策経営部広報課

足立区中央本町一丁目17番1号

TEL (3880) 5111
